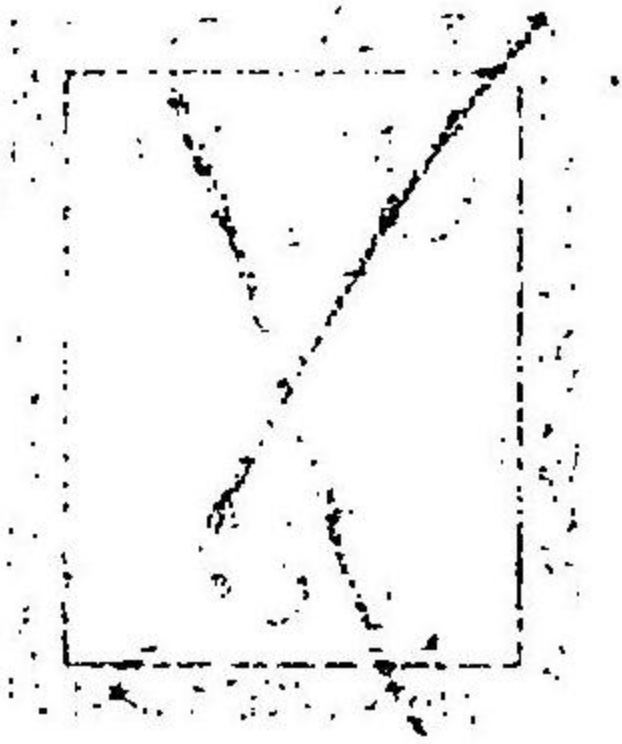


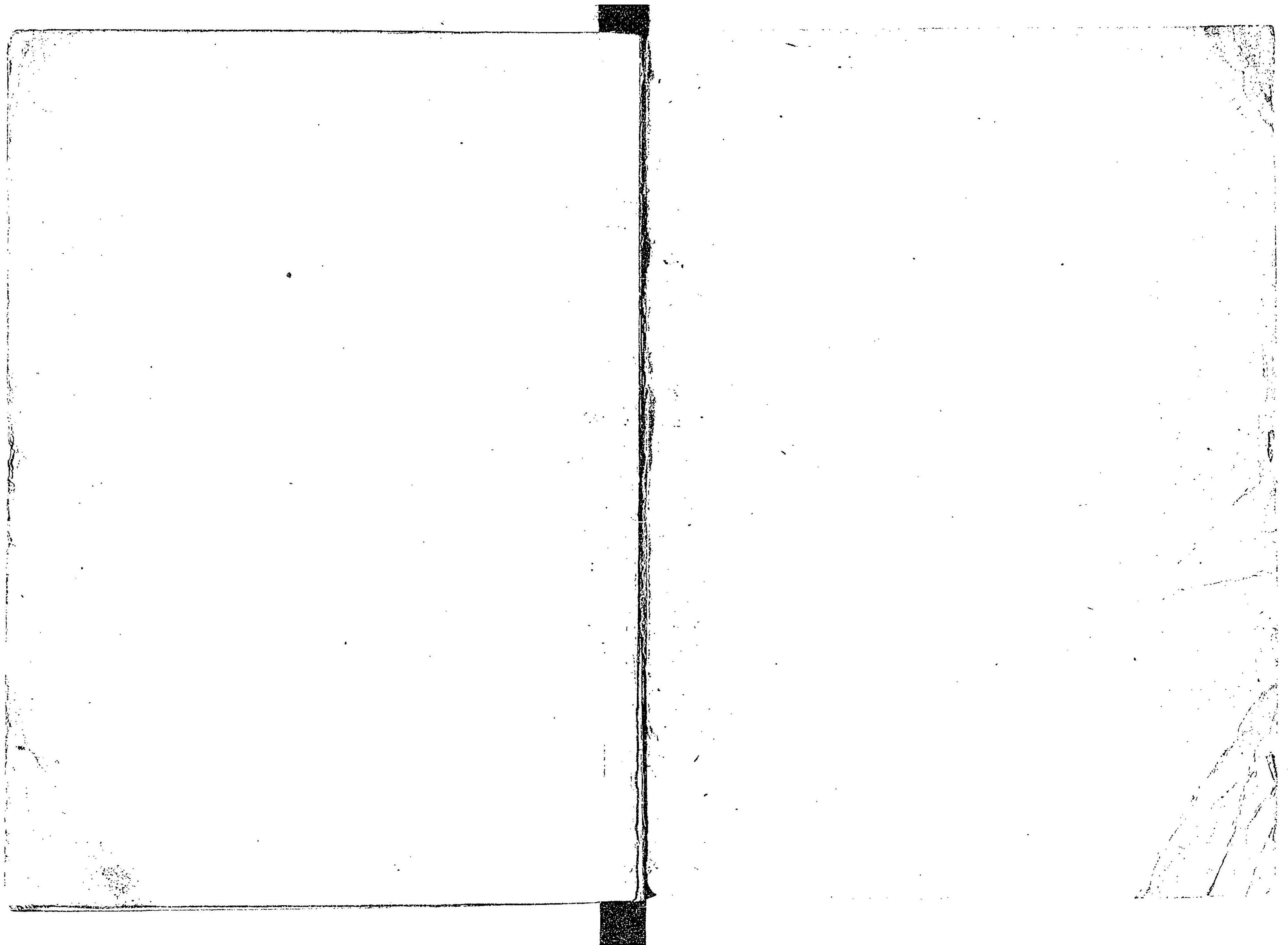
正 政

町 村 制 並 關 係 法 令 集

71

730





改正
町村制並關係法令集



5/730

正改 町村制並關係法令集目次

町村制(法律).....一

市制及町村制施行期日ノ件(勅令).....六三

市制町村施行ニ關スル件(勅令).....六三

市税及町村税ノ賦課ニ關スル件(勅令).....七三

市税及町村税ノ徴收ニ關スル件(勅令).....七五

附 國稅徴收法.....七五

市町村吏員ノ賠償責任並身元保證ニ關スル件(勅令).....七九

市町村、市町村組合及町村組合ノ廢置分合ノ場合ニ於ケル事務ニ關スル件(勅令).....八一

市町村財務規程(內務省令).....八二

市町村吏員服務紀律(內務省令).....八七

市町村吏員事務引繼ニ關スル件(內務省令).....九〇

市町村吏員事務引繼ニ關スル細則(埼玉縣令).....九二

南町村會議員選舉人名簿及選舉錄書式(內務省令).....一〇三

町村會議錄樣式(埼玉縣訓令).....一一四

目次

(一)

第七章 町村組合
第八章 町村ノ監督
第九章 雜則

町村制

第一章 總則

第一款 町村及其ノ區域

第一條 町村ハ從來ノ區域ニ依ル

第二條 町村ハ法人トス官ノ監督ヲ承ケ法令ノ範圍内ニ於テ其ノ公共事務並從來法令又ハ慣例ニ依リ及將來法律勅令ニ依リ町村ニ屬スル事務ヲ處理ス

第三條 町村ノ廢置分合又ハ境界變更ヲ爲サムトスルトキハ府縣知事ハ關係アル市町村會ノ意見ヲ徵シ府縣參事會ノ議決ヲ經内務大臣ノ許可ヲ得テ之ヲ定ム所屬未定地ヲ町村ノ區域ニ編入セムトスルトキ亦同シ
前項ノ場合ニ於テ財産アルトキハ其ノ處分ニ關シテハ前項ノ例ニ依ル

第一項ノ場合ニ於テ市ノ廢置分合ヲ伴フトキハ市制第三條ノ規定ニ依ル

第四條 町村ノ境界ニ關スル爭論ハ府縣參事會之ヲ裁定ス其ノ裁定ニ不服アル町村ハ行政裁判所ニ出訴スルトヲ得

町村ノ境界判明ナラサル場合ニ於テ前項ノ爭論ナキトキハ府縣知事ハ府縣參事會ノ決定ニ付スヘシ其ノ決定ニ不服アル町村ハ行政裁判所ニ出訴スルトヲ得

第一項ノ裁定及前項ノ決定ハ文書ヲ以テ之ヲ爲シ其ノ理由ヲ附シ之ヲ關係町村ニ交付スヘシ
第一項ノ裁定及第二項ノ決定ニ付テハ府縣知事ヨリモ訴訟ヲ提起スルトヲ得

第五條 町村ノ名稱ヲ變更シ又ハ村ヲ町ト爲シ若ハ町ヲ村ト爲サムトスルトキハ町村ハ内務大臣ノ許可ヲ受クヘシ

町村役場ノ位置ヲ定メ又ハ之ヲ變更セムトスルトキハ町村ハ府縣知事ノ許可ヲ受クヘシ

第二款 町村住民及其ノ權利義務

第六條 町村内ニ住所ヲ有スル者ハ其ノ町村住民トス

町村住民ハ本法ニ從ヒ町村ノ財産及營造物ヲ共用スル權利ヲ有シ町村ノ負擔ヲ分任スル義務ヲ負フ

第七條 帝國臣民ニシテ獨立ノ生計ヲ營ム年齢二十五年以上ノ男子二年以來町村ノ住民ト爲リ其ノ町村ノ負擔ヲ分任シ且其ノ町村内ニ於テ地租ヲ納メ若ハ直接國稅年額貳圓以上ヲ納ムルトキハ其ノ町村公民トス但シ貧困ノ爲公費ノ救助ヲ受ケタル後二年ヲ經サル者、禁治産者、準禁治産者及六年ノ懲役又ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者ハ此ノ限ニアラス

町村ハ前項二年ノ制限ヲ特免スルコトヲ得
家督相續ニ依リ財産ヲ取得シタル者ニ付テハ其ノ財産ニ付被相續人ノ爲シタル納稅ヲ以テ其ノ者ノ納稅シタルモノト看做ス

町村公民ノ要件中其ノ年限ニ關スルモノハ市町村ノ廢置分合又ハ境界變更ノ爲中斷セララル、コトナシ

町村稅ヲ賦課セサル町村ニ於テハ町村公民ノ要件中町村ノ負擔分任ニ關スル規定ヲ適用セス

町村公民ノ數町村會議員定數ノ三倍ヨリ少キ場合ニ於テハ町村ハ町村公民ノ要件ニ關シ町村條例ヲ以テ別段ノ規定ヲ設クルコトヲ得

第八條

町村公民ハ町村ノ選舉ニ參與シ町村ノ名譽職ニ選舉セララル、權利ヲ有シ町村ノ名譽職ヲ擔任スル義務ヲ負フ

左ノ各號ノ一ニ該當セサル者ニシテ名譽職ノ當選ヲ辭シ又ハ其ノ職ヲ辭シ若ハ其ノ職務ヲ實際ニ執行セサルトキハ町村ハ一年以上四年以下其ノ町村公民權ヲ停止シ場合ニ依リ其ノ停止期間以内其ノ者ノ負擔スヘキ町村稅ノ十分ノ一以上四分ノ一以下ヲ增課スルコトヲ得

一 疾病ニ罹リ公務ニ堪ヘサル者

二 業務ノ爲常ニ町村内ニ居ルコトヲ得サル者

三 年齢六十一年以上ノ者

四 官公職ノ爲町村ノ公務ヲ執ルコトヲ得サル者

五 四年以上名譽職町村吏員町村會議員又ハ區會議員ノ職ニ任シ爾後同一ノ期間ヲ經過セサル者

六 其ノ他町村會ノ議決ニ依リ正當ノ理由アリト認ムル者

前項ノ處分ヲ受ケタル者其ノ處分ニ不服アルトキハ府縣參事會ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第二項ノ處分ハ其ノ確定ニ至ル迄執行ヲ停止ス

第三項ノ裁決ニ付テハ府縣知事又ハ町村長ヨリモ訴訟ヲ提起スルコ

トヲ得

第九條 町村公民第七條第一項ニ掲ケタル要件ノ一ヲ闕キ又ハ同項但書ニ當ルニ至リタルトキハ其ノ公民權ヲ失フ
町村公民租稅滯納處分中ハ其ノ公民權ヲ停止ス家資分散若ハ破産ノ宣告ヲ受ケ其ノ確定シタルトキヨリ復權ノ決定確定スルニ至ル迄又ハ禁錮以上ノ刑ノ宣告ヲ受ケタルトキヨリ其ノ執行ヲ終リ若ハ其ノ執行ヲ受クルコトナキニ至ル迄亦同シ
陸海軍ノ現役ニ服スル者ハ町村ノ公務ニ參與スルコトヲ得ス其ノ他ノ兵役ニ在ル者ニシテ戰時又ハ事變ニ際シ召集セラレタルトキ亦同シ

第三款 町村條例及町村規則

第十條 町村ハ町村住民ノ權利義務又ハ町村ノ事務ニ關シ町村條例ヲ設クルコトヲ得
町村ハ町村ノ營造物ニ關シ町村條例ヲ以テ規定スルモノ、外町村規則ヲ設クルコトヲ得
町村條例及町村規則ハ一定ノ公告式ニ依リ之ヲ告示スヘシ

第二章 町村會

第一款 組織及選舉

第十一條 町村會議員ハ其被選舉權アル者ニ就キ選舉人之ヲ選舉ス議員ノ定數左ノ如シ

- 一 人口千五百未滿ノ町村 八 人
- 二 人口千五百以上五千未滿ノ町村 十二 人
- 三 人口五千以上一萬未滿ノ町村 十八 人
- 四 人口一萬以上二萬未滿ノ町村 二十四 人
- 五 人口二萬以上ノ町村 三十 人

議員ノ定數ハ町村條例ヲ以テ特ニ之ヲ増減スルコトヲ得
議員ノ定數ハ總選舉ヲ行フ場合ニ非サレハ之ヲ増減セス但シ著シク人口ノ増減アリタル場合ニ於テ內務大臣ノ許可ヲ得タルトキハ此ノ限ニ在ラス

第十二條 町村公民ハ總テ選舉權ヲ有ス但シ公民權停止中ノ者又ハ第九條第三項ノ場合ニ當ル者ハ此ノ限ニ在ラス
帝國臣民ニシテ直接町村稅ヲ納ムル者其ノ額町村公民ノ最多ク納稅スル者三人中ノ一人ヨリモ多キトキハ第七條第一項ノ要件ニ當ラスト雖選舉權ヲ有ス但シ六年ノ懲役又ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル

者及第九條第二項ノ公民權停止ノ條件又ハ同條第三項ノ場合ニ當ル者ハ此ノ限ニ在ラス

法人ニ關シテモ亦前項ノ例ニ依ル

直接町村稅ヲ賦課セサル町村ニ於テハ其ノ町村内ニ於テ納ムル直接國稅額ニ依リ前二項ノ規定ヲ適用ス

前三項ノ直接町村稅及直接國稅ノ納額ハ選舉人名簿調製期日ノ屬スル會計年度ノ前年度ノ賦課額ニ依ルヘシ

第十三條 選舉人ハ分チテ二級トス

選舉人中直接町村稅ノ納額最多キ者ヲ合セテ選舉人全員ノ納ムル總額ノ半ニ當ルヘキ者ヲ一級トシ其ノ他ノ選舉人ヲ二級トス但シ一級選舉人ノ數議員定數ノ二分ノ一ヨリ少キトキハ納額最多キ者議員定數ノ二分ノ一ト同數ヲ以テ一級トス

一級二級ノ間納稅額兩級ニ跨ル者アルトキハ一級ニ入ルヘシ兩級ノ間ニ同額ノ納稅者二人以上アルトキハ其ノ町村内ニ住所ヲ有スル年數ノ多キ者ヲ以テ一級ニ入ル住所ヲ有スル年數同シトキハ年長者ヲ以テシ年齡ニ依リ難キトキハ町村長抽籤シテ之ヲ定ムヘシ
選舉人ハ每級各別ニ議員定數ノ半數ヲ選舉ス

被選舉人ハ各級ニ通シテ選舉セラル、コトヲ得

直接町村稅ヲ賦課セサル町村ニ於テハ第二項及第三項ノ納稅額ハ選舉人ノ町村内ニ於テ納ムル直接國稅額ニ依ルヘシ

第二項第三項及前項ノ直接町村稅及直接國稅ノ納額ニ關シテハ前條第五項ノ規定ヲ適用ス

特別ノ事情アリテ前七項ノ例ニ依リ難キ町村ニ於テハ町村條例ヲ以テ特別ヲ設クルコトヲ得

第十四條 特別ノ事情アルトキハ町村ハ郡長ノ許可ヲ得區劃ヲ定メテ選舉分會ヲ設クルコトヲ得二級選舉ノ爲ノミニ付亦同シ

第十五條 選舉權ヲ有スル町村公民ハ被選舉權ヲ有ス

左ニ掲クル者ハ被選舉權ヲ有セス其ノ之ヲ罷メタル後一月ヲ經過セサル者亦同シ

一 所屬府縣郡ノ官吏及有給吏員

二 其ノ町村ノ有給吏員

三 檢事警察官吏及收稅官吏

四 神官神職僧侶其ノ他諸宗教師

五 小學校教員

町村ニ對シ請負ヲ爲ス者及其ノ支配人又ハ主トシテ同一ノ行爲ヲ爲ス法人ノ無限責任社員、重役及支配人ハ其ノ町村ニ於テ被選舉權ヲ有セス

父子兄弟タル緣故アル者ハ同時ニ町村會議員ノ職ニ在ルコトヲ得ス其ノ同時ニ選舉セラレタルトキハ同級ニ在リテハ得票ノ數ニ依リ其ノ多キ者一人ヲ當選者トシ同數ナルトキ又ハ等級ヲ異ニシテ選舉セラレタルトキハ年長者ヲ當選者トス其ノ時ヲ異ニシテ選舉セラレタルトキハ後ニ選舉セラレタル者議員タルコトヲ得ス議員ト爲リタル後前項ノ緣故ヲ生シタル場合ニ於テハ年少者其ノ職ヲ失フ

町村長又ハ助役ト父子兄弟タル緣故アル者ハ町村會議員ノ職ニ在ルコトヲ得ス

第十六條 町村會議員ハ名譽職トス

議員ノ任期ハ四年トシ總選舉ノ第一日ヨリ之ヲ起算ス
議員ノ定數ニ異動ヲ生シタル爲解任ヲ要スル者アルトキハ每級各別ニ町村長抽籤シテ之ヲ定ム但シ解任ヲ要スル等級ニ闕員アルトキハ其ノ闕員ヲ以テ之ニ充ツヘシ

議員ノ定數ニ異動ヲ生シタル爲新ニ選舉セラレタル議員ハ總選舉ニ依リ選舉セラレタル議員ノ任期滿了ノ日迄在任ス

第十七條 町村會議員中闕員ヲ生シ其ノ闕員議員定數ノ三分ノ一以上ニ至リタルトキ又ハ郡長町村長若ハ町村會ニ於テ必要ト認ムルトキハ補闕選舉ヲ行フヘシ

補闕議員ハ其ノ前任者ノ殘任期間在任ス

補闕議員ハ前任者ノ選舉セラレタル等級ニ於テ之ヲ選舉スヘシ

第十八條 町村長ハ選舉期日前六十日ヲ期トシ其ノ日ノ現在ニ依リ選舉人ノ資格ヲ記載セル選舉人名簿ヲ調製スヘシ

町村長ハ選舉期日前四十日ヲ期トシ其ノ日ヨリ七日間毎日午前八時ヨリ午後四時迄町村役場又ハ告示シタル場所ニ於テ選舉人名簿ヲ關係者ノ縦覽ニ供スヘシ關係者ニ於テ異議アルトキハ縦覽期間内ニ之ヲ町村長ニ申立ツルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ町村長ハ縦覽期間滿了後三日以内ニ町村會ノ決定ニ付スヘシ町村會ハ其ノ送付ヲ受ケタル日ヨリ七日以内ニ之ヲ決定スヘシ
前項ノ決定ニ不服アル者ハ府縣參事會ニ訴願シ其ノ裁決又ハ第四項ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第二項ノ決定及前項ノ裁決ニ付テハ町村長ヨリモ訴訟又ハ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

前二項ノ裁決ニ付テハ府縣知事ヨリモ訴訟ヲ提起スル事ヲ得

前四項ノ場合ニ於テ決定若ハ裁決確定シ又ハ判決アリタルニ依リ名簿ノ修正ヲ要スルキハ町村長ハ其ノ確定期日前ニ修正ヲ加フヘシ

選舉人名簿ハ選舉期日前三日ヲ以テ確定ス

確定名簿ハ第三條ノ處分アリタル場合ニ於テ府縣知事ノ指定スルモノヲ除クノ外其ノ確定シタル日ヨリ一年以内ニ於テ行フ選舉ニ之ヲ用ウ但シ名簿確定後裁決確定シ又ハ判決アリタルニ依リ名簿ノ修正ヲ要スルトキハ選舉ヲ終リタル後ニ於テ次ノ選舉期日前四日迄ニ之ヲ修正スヘシ

選舉人名簿ヲ修正シタルキハ町村長ハ直ニ其ノ要領ヲ告示スヘシ

選舉分會ヲ設クルトキハ町村長ハ確定名簿ニ依リ分會ノ區劃毎ニ名簿ノ抄本ヲ調製スヘシ

確定名簿ニ登録セラレサル者ハ選舉ニ參與スルコトヲ得ス但シ選舉人名簿ニ登録セララルヘキ確定裁決書又ハ判決書ヲ所持シ選舉ノ當日選舉會場ニ到ル者ハ此ノ限ニ在ラス

前項但書ノ選舉人ハ等級ノ標準タル直接町村税又ハ直接國税ニ依リ其ノ者ノ納額ニシテ名簿ニ登録セラレタル一級選舉人中ノ最少額ヨリ多キトキハ一級ニ於テ其ノ他ハ二級ニ於テ選舉ヲ行フヘシ但シ直接町村税又ハ直接國税ヲ以テ等級ノ標準ト爲サ、ル町村ニ於テハ選舉長ノ定ムル所ニ依ル

確定名簿ニ登録セラレタル者選舉權ヲ有セサルトキハ選舉ニ參與スルコトヲ得ス但シ名簿ハ之ヲ修正スル限ニ在ラス

第二項乃至第五項ノ場合ニ於テ決定若ハ裁決確定シ又ハ判決アリタルニ依リ名簿無効ト爲リタルトキハ更ニ名簿ヲ調製スヘシ其ノ名簿ノ調製、縦覽、修正、確定及異議ノ決定ニ關スル期日、期限及期間ハ郡長ノ定ムル所ニ依ル名簿ノ喪失シタルトキ亦同シ

選舉人名簿調製後ニ於テ選舉期日ヲ變更スルコトアルモ其ノ名簿ヲ用ヒ縦覽、修正、確定及異議ノ決定ニ關スル期日、期限及期間ハ前選舉期日ニ依リ之ヲ算定ス

第十九條 町村長ハ選舉期日前少クトモ七日間選舉會場、投票ノ日時及各級ヨリ選舉スヘキ議員數ヲ告示スヘシ選舉分會ヲ設クル場合ニ於テハ併セテ其ノ等級及區劃ヲ告示スヘシ

選舉分會ノ選舉ハ本會ト同日時ニ之ヲ行フヘシ天災事變等ニ依リ同日時ニ選舉ヲ行フコト能ハサルトキハ町村長ハ其ノ選舉ヲ終ラサル選舉會又ハ選舉分會ノミニ關シ更ニ選舉會場及投票ノ日時ヲ告示シ選舉ヲ行フヘシ

選舉ヲ行フ順序ハ先ツ二級ノ選舉ヲ行ヒ次ニ一級ノ選舉ヲ行フヘシ天災事變等ニ依リ選舉ヲ行フコト能ハサルニ至リタルトキハ町村長ハ其ノ選舉ヲ終ラサル等級ノミニ關シ更ニ選舉會場及投票ノ日時ヲ告示シ選舉ヲ行フヘシ

第二十條 町村長ハ選舉長ト爲リ選舉會ヲ開閉シ其ノ取締ニ任ス
選舉分會ハ町村長ノ指名シタル吏員選舉分會長ト爲リ之ヲ開閉シ其ノ取締ニ任ス

町村長ハ選舉人中ヨリ二人乃至四人ノ選舉立會人ヲ選任スヘシ但シ選舉分會ヲ設ケタルトキハ各別ニ選舉立會人ヲ設クヘシ
選舉立會人ハ名譽職トス

第二十一條 選舉人ニ非サル者ハ選舉會場ニ入ルコトヲ得ス但シ選舉會場ノ事務ニ従事スル者、選舉會場ヲ監視スル職權ヲ有スル者又ハ警察官吏ハ此ノ限ニ在ラス

選舉會場ニ於テ演說討論ヲ爲シ若ハ喧擾ニ涉リ又ハ投票ニ關シ協議若ハ勸誘ヲ爲シ其ノ他選舉會場ノ秩序ヲ紊ス者アルトキハ選舉長又ハ分會長ハ之ヲ制止シ命ニ從ハサルトキハ之ヲ選舉會場外ニ退出セシムヘシ

前項ノ規定ニ依リ退出セシメラレタル者ハ最後ニ至リ投票ヲ爲スコトヲ得但シ選舉長又ハ分會長會場ノ秩序ヲ紊スノ虞ナシト認ムル場合ニ於テ投票ヲ爲サシムルヲ妨ケス

第二十二條 選舉ハ無記名投票ヲ以テ之ヲ行フ
投票ハ一人一票ニ限ル

選舉人ハ選舉ノ當日投票時間内ニ自ラ選舉會場ニ到リ選舉人名簿又ハ其ノ抄本ノ對照ヲ經テ投票ヲ爲スヘシ
投票時間内ニ撰舉會場ニ入りタル選舉人ハ其ノ時間ヲ過クルモ投票ヲ爲スコトヲ得

選舉人ハ選舉會場ニ於テ投票用紙ニ自ラ被選舉人一人ノ氏名ヲ記載シテ投函スヘシ但シ確定名簿ニ登錄セラレタル毎級選舉人ノ數其ノ選舉スヘキ議員數ノ三倍ヨリ少キ場合ニ於テハ連名投票ノ法ヲ用ウヘシ

自ラ被選舉人ノ氏名ヲ書スルコト能ハサル者ハ投票ヲ爲スコトヲ得

投票用紙ハ町村長ノ定ムル所ニ依リ一定ノ式ヲ用ウヘシ
選舉分會ニ於テ爲シタル投票ハ分會長少クトモ一人ノ選舉立會人ト
共ニ投票函ノ儘之ヲ本會ニ送致スヘシ

第二十三條 增員選舉及補闕選舉ヲ同時ニ行フ場合ニ於テハ一ノ選舉
ヲ以テ合併シテ之ヲ行フ

第二十四條 第十二條第二項又ハ第三項ノ規定ニ依リ選舉權ヲ有スル
者ハ代人ヲ出シテ選舉ヲ行フコトヲ得但シ年齡二十五年以上ノ男子
ニ非サル者、禁治產者及準禁治產者ハ必ス代人ヲ以テスヘシ
代人ハ帝國臣民ニシテ年齡二十五年以上ノ男子ニ限ル

第七條第一項但書ニ當ル者第八條第二項ノ規定ニ依ル公民權停止中
ノ者及第九條第二項ノ公民權停止ノ條件又ハ同條第三項ノ場合ニ當
ル者ハ代人タルコトヲ得ス又一人ニシテ數人ノ代理ヲ爲スコトヲ得
ス
代人ハ委任狀其ノ他代理ヲ證スル書面ヲ選舉長又ハ分會長ニ示スヘ
シ

第二十五條 左ノ投票ハ之ヲ無効トス

- 一 成規ノ用紙ヲ用キサルモノ
- 二 現ニ町村會議員ノ職ニ在ル者ノ氏名ヲ記載シタルモノ
- 三 一投票中二人以上ノ被選舉人ノ氏名ヲ記載シタルモノ
- 四 被選舉人ノ何人タルカヲ確認シ難キモノ
- 五 被選舉權ナキ者ノ氏名ヲ記載シタルモノ
- 六 被選舉人ノ氏名ノ外他事ヲ記入シタルモノ但シ爵位職業身分住
所又ハ敬稱ノ類ヲ記入シタルモノハ此ノ限ニ在ラス

連名投票ノ法ヲ用キタル場合ニ於テハ前項第一號及第六號ニ該當ス
ルモノ並其ノ記載ノ人員選舉スヘキ定數ニ過キタルモノハ之ヲ無効
トシ前項第二號第四號及第五號ニ該當スルモノハ其ノ部分ノミヲ無
効トス

第二十六條 投票ノ拒否及効力ハ選舉立會人之ヲ決定ス可否同數ナル
トキハ選舉長之ヲ決スヘシ

選舉分會ニ於ケル投票ノ拒否ハ其ノ選舉立會人之ヲ決定ス可否同數
ナルトキハ分會長之ヲ決スヘシ

第二十七條 町村會議員ノ選舉ハ有効投票ノ最多數ヲ得タル者ヲ以テ

當選者トス但シ各級ニ於テ選舉スヘキ議員數ヲ以テ選舉人名簿ニ登錄セヨレタル各級ノ人員數ヲ除シテ得タル數ノ七分ノ一以上ノ得票アルコトヲ要ス

前項ノ規定ニ依リ當選者ヲ定ムルニ當リ得票ノ數同シキトキハ年長者ヲ取り年齡同シキトキハ選舉長抽籤シテ之ヲ定ムヘシ

第二十八條 選舉長又ハ分會長ハ選舉錄ヲ調製シテ選舉又ハ投票ノ顛末ヲ記載シ選舉又ハ投票ヲ終リタル後之ヲ朗讀シ選舉立會人ニハ以上ト共ニ之ニ署名スヘシ

選舉分會長ハ投票函ト同時ニ選舉錄ヲ本會ニ送致スヘシ
選舉錄ハ投票、選舉人名簿其ノ他ノ關係書類ト共ニ選舉及當選ノ効力確定スルニ至ル迄之ヲ保存スヘシ

第二十九條 當選者定マリタルトキハ町村長ハ直ニ當選者ニ當選ノ旨ヲ告知スヘシ
當選者當選ヲ辭セムトスルトキハ當選ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ五日以内ニ之ヲ町村長ニ申立ツヘシ
一人ニシテ兩級ニ於テ當選シタルトキハ最終ニ當選ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ五日以内ニ何レノ當選ニ應スヘキカヲ町村長ニ申立ツヘシ

其ノ期間内ニ之ヲ申立テサルトキハ町村長抽籤シテ之ヲ定ム

第十五條第二項ニ掲ケサル官吏ニシテ當選シタル者ハ所屬長官ノ許可ヲ受クルニ非サレハ之ニ應スルコトヲ得ス

前項ノ官吏ハ當選ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ二十日以内ニ之ニ應スヘキ旨ヲ町村長ニ申立テサルトキハ其ノ當選ヲ辭シタルモノト看做ス
第三項ノ場合ニ於テ何レノ當選ニ應スヘキカヲ申立テサルトキハ總テ之ヲ辭シタルモノト看做ス

第三十條 町村會議員ノ當選ヲ辭シタル者アルトキハ町村長ハ直ニ之ヲ補フヘキ當選者ヲ定ムヘシ此ノ場合ニ於テハ第二十七條ノ規定ヲ準用ス

第三十一條 選舉ヲ終リタルトキハ町村長ハ直ニ選舉錄ノ謄本ヲ添ヘ之ヲ郡長ニ報告スヘシ

第二十九條第二項ノ期間ヲ經過シタルトキ、同條第三項若ハ第五項ノ申立アリタルトキ又ハ同條第三項ノ規定ニ依リ抽籤ヲ爲シタルトキハ町村長ハ直ニ當選者ノ住所氏名ヲ告示シ併セテ之ヲ郡長ニ報告スヘシ

第三十二條 選舉ノ規定ニ違反スルコトアルトキハ選舉ノ結果ニ異動

ヲ生スルノ虞アル場合ニ限リ其ノ選舉ノ全部又ハ一部ヲ無効トス

第三十三條 選舉人選舉又ハ當選ノ効力ニ關シ異議アルトキハ選舉ニ關シテハ選舉ノ日ヨリ當選ニ關シテハ第三十一條第二項ノ告示ノ日ヨリ七日以内ニ之ヲ町村長ニ申立ツルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ町村長ハ七日以内ニ町村會ノ決定ニ付スヘシ町村會ハ其ノ送付ヲ受ケタル日ヨリ十四日以内ニ之ヲ決定スヘシ

前項ノ決定ニ不服アル者ハ府縣參事會ニ訴願スルコトヲ得

郡長ハ選舉又ハ當選ノ効力ニ關シ異議アルトキハ府縣知事ノ指揮ヲ受ケ選舉ニ關シテハ第三十一條第一項ノ報告ヲ受ケタル日ヨリ當選ニ關シテハ同條第二項ノ報告ヲ受ケタル日ヨリ二十日以内ニ之ヲ處分スルコトヲ得

前項ノ處分アリタルトキハ同一事件ニ付爲シタル異議ノ申立及町村會ノ決定ハ無効トス

第三項ノ處分ニ不服アル者ハ府縣參事會ニ訴願シ其ノ裁決又ハ第二項若ハ第六項ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルヲ得

第一項ノ決定及第二項又ハ前項ノ裁決ニ付テハ町村長ヨリモ訴願又ハ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第二項第五項又ハ前項ノ裁決ニ付テハ府縣知事ヨリモ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

町村會議員ハ選舉又ハ當選ニ關スル處分、決定若ハ裁決確定シ又ハ判決アル迄ハ會議ニ列席シ議事ニ參與スルノ權ヲ失ハス

第三十四條 當選無効ト確定シタルトキハ町村長ハ直ニ第二十七條ノ例ニ依リ更ニ當選者ヲ定ムヘシ

選舉無効ト確定シタルトキハ更ニ選舉ヲ行フヘシ

議員ノ定數ニ足ル當選者ヲ得ルコト能ハサルトキハ其ノ不足ノ員數ニ付更ニ選舉ヲ行フヘシ此ノ場合ニ於テハ第二十七條第一項但書ノ規定ヲ適用セス

第三十五條 町村會議員ニシテ被選舉權ヲ有セサル者ハ其ノ職ヲ失フ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者ヲ除クノ外其ノ被選舉權ノ有無ハ町村會之ヲ決定ス

町村長ハ町村會議員中被選舉權ヲ有セサル者アリト認ムルトキハ之ヲ町村會ノ決定ニ付スヘシ

第一項ノ決定ヲ受ケタル者其ノ決定ニ不服アルトキハ府縣參事會ニ訴願シ其ノ裁決又ハ第四項ノ裁決ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出

訴スルコトヲ得

第一項ノ決定及前項ノ裁決ニ付テハ町村長ヨリモ訴願又ハ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

前二項ノ裁決ニ付テハ府縣知事ヨリモ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第三十三條第八項ノ規定ハ第一項及前三項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第一項ノ決定ハ文書ヲ以テ之ヲ爲シ其ノ理由ヲ附シ之ヲ本人ニ交付スヘシ

第三十六條 第十八條及第三十三條ノ場合ニ於テ府縣參事會ノ決定及

(決定及ノ三字ハ適用事項ナシ)裁決ハ府縣知事、郡長ノ處分ハ郡長、町村會ノ決定ハ

町村長直ニ之ヲ告示スヘシ

第三十七條 本法又ハ本法ニ基キテ發スル勅令ニ依リ設置スル議會ノ

議員ノ選舉ニ付テハ衆議院議員選舉ニ關スル罰則ヲ準用ス

前項ノ罰則中選舉人ニ關スル規定ハ第二十四條ノ代人ニ之ヲ準用ス

第三十八條 特別ノ事情アル町村ニ於テハ郡長ハ府縣知事ノ許可ヲ得

テ其ノ町村ヲシテ町村會ヲ設ケス選舉權ヲ有スル町村公民ノ總會ヲ

以テ之ニ充テシムルコトヲ得

町村總會ニ關シテハ町村會ニ關スル規定ヲ準用ス

第二款 職務權限

第三十九條 町村會ハ町村ニ關スル事件及法律勅令ニ依リ其ノ權限ニ

屬スル事件ヲ議決ス

第四十條 町村會ノ議決スヘキ事件ノ概目左ノ如シ

一 町村條例及町村規則ヲ設ケ又ハ改廢スル事

二 町村費ヲ以テ支辨スヘキ事業ニ關スル事但シ第七十七條ノ事務

及法律勅令ニ規定アルモノハ此ノ限ニ在ラス

三 歳入出豫算ヲ定ムル事

四 決算報告ヲ認定スル事

五 法令ニ定ムルモノヲ除クノ外使用料、手数料、加入金、町村税

又ハ夫役現品ノ賦課徴收ニ關スル事

六 不動産ノ管理處分及取得ニ關スル事

七 基本財産及積立金穀等ノ設置管理及處分ニ關スル事

八 歳入出豫算ヲ以テ定ムルモノヲ除クノ外新ニ義務ノ負擔ヲ爲シ

及權利ノ拋棄ヲ爲ス事

九 財産及營造物ノ管理方法ヲ定ムル事但シ法律勅令ニ規定アルモノ

ノハ此ノ限ニ在ラス

十 町村吏員ノ身元保證ニ關スル事

十一 町村ニ係ル訴願訴訟及和解ニ關スル事

第四十一條 町村會ハ法律勅令ニ依リ其ノ權限ニ屬スル選舉ヲ行フヘ

第四十二條 町村會ハ町村ノ事務ニ關スル書類及計算書ヲ檢閲シ町村長ノ報告ヲ請求シテ事務ノ管理、議決ノ執行及出納ヲ檢査スルコトヲ得

町村會ハ議員中ヨリ委員ヲ選舉シ町村長又ハ其ノ指名シタル吏員立會ノ上實地ニ就キ前項町村會ノ權限ニ屬スル事件ヲ行ハシムルコトヲ得

第四十三條 町村會ハ町村ノ公益ニ關スル事件ニ付意見ヲ町村長又ハ監督官廳ニ提出スルコトヲ得

第四十四條 町村會ハ行政廳ノ諮問アル時ハ意見ヲ答申スヘシ
町村會ノ意見ヲ徵シテ處分ヲ爲スヘキ場合ニ於テ町村會成立セス、招集ニ應セス若ハ意見ヲ提出セス又ハ町村會ヲ招集スルコト能ハサルトキハ當該行政廳ハ其ノ意見ヲ俟タスシテ直ニ處分ヲ爲スコトヲ得

第四十五條 町村會ハ町村長ヲ以テ議長トス町村長故障アルトキハ其ノ代理者議長ノ職務ヲ代理ス町村長及其ノ代理者共ニ故障アルトキハ年長ノ議員議長ノ職務ヲ代理ス年齢同シキトキハ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム

第四十六條 町村長及其ノ委任又ハ囑託ヲ受ケタル者ハ會議ニ列席シテ議事ニ參與スルコトヲ得但シ議決ニ加ハルコトヲ得ス
前項ノ列席者發言ヲ求ムルトキハ議長ハ直ニ之ヲ許スヘシ但シ之カ爲議員ノ演說ヲ中止セシムルコトヲ得ス

第四十七條 町村會ハ町村長之ヲ招集ス議員定數三分ノ一以上ノ請求アルトキハ町村長ハ之ヲ招集スヘシ
町村長ハ必要アル場合ニ於テハ會期ヲ定メテ町村會ヲ招集スルコトヲ得

招集及會議ノ事件ハ開會ノ日ヨリ少クトモ三日前ニ之ヲ告知スヘシ但シ急施ヲ要スル場合ハ此ノ限ニ在ラス
町村會開會中急施ヲ要スル事件アルトキハ町村長ハ直ニ之ヲ其ノ會議ニ付スルコトヲ得二日前迄ニ告知ヲ爲シタル事件ニ付亦同シ
町村會ハ町村長之ヲ開閉ス

第四十八條 町村會ハ議員定數ノ半數以上出席スルニ非サレハ會議ヲ開クコトヲ得ス但シ第五十條ノ除斥ノ爲半數ニ滿タサルトキ同一ノ事件ニ付招集再回ニ至ルモ仍半數ニ滿タサルトキ又ハ招集ニ應スルモ出席議員定數ヲ缺キ議長ニ於テ出席ヲ催告シ仍半數ニ滿タサルトキハ此ノ限ニ在ラス

第四十九條 町村會ノ議事ハ過半數ヲ以テ決ス可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

第五十條 議長及議員ハ自己又ハ父母、祖父母、妻、子孫、兄弟姉妹ノ一身上ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議事ニ參與スルコトヲ得ス但シ町村會ノ同意ヲ得タルトキハ會議ニ出席シ發言スルコトヲ得

第五十一條 法律勅令ニ依リ町村會ニ於テ選舉ヲ行フトキハ一人毎ニ無記名投票ヲ爲シ有効投票ノ過半數ヲ得タル者ヲ以テ當選者トス過半數ヲ得タル者ナキトキハ最多數ヲ得タル者二人ヲ取り之ニ就キ決選投票ヲ爲サシム其ノ二人ヲ取ルニ當リ同數者アルトキハ年長者ヲ取り年齡同シキトキハ議長抽籤シテ之ヲ定ム此ノ決選投票ニ於テハ多數ヲ得タル者ヲ以テ當選者トス同數ナルトキハ年長者ヲ取り年齡同シキトキハ議長抽籤シテ之ヲ定ム

前項ノ場合ニ於テハ第二十二條及第二十五條ノ規定ヲ準用シ投票ノ効力ニ關シ異議アルトキハ町村會之ヲ決定ス

第一項ノ選舉ニ付テハ町村會ハ其ノ議決ヲ以テ指名推選又ハ連名投票ノ法ヲ用ウルコトヲ得其ノ連名投票ノ法ヲ用ウル場合ニ於テハ前二項ノ例ニ依ル

第五十二條 町村會ノ會議ハ公開ス但シ左ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス

- 一 議長ノ意見ヲ以テ傍聽ヲ禁止シタルトキ
- 二 議員二人以上ノ發議ニ依リ傍聽禁止ヲ可決シタルトキ

前項議員ノ發議ハ討論ヲ須キス其ノ可否ヲ決スヘシ

第五十三條 議長ハ會議ヲ總理シ會議ノ順序ヲ定メ其ノ日ノ會議ヲ開閉シ議場ノ秩序ヲ保持ス

第五十四條 議員ハ選舉人ノ指示又ハ委囑ヲ受クヘカラス

第五十五條 會議中本法又ハ會議規則ニ違ヒ其ノ他議場ノ秩序ヲ紊スル議員アルトキハ議長ハ之ヲ制止シ又ハ發言ヲ取消サシメ命ニ從ハサルトキハ當日ノ會議ヲ終ル迄發言ヲ禁止シ又ハ議場外ニ退去セシメ得ス

必要アル場合ニ於テハ警察官吏ノ處分ヲ求ムルコトヲ得
議場騷擾ニシテ整理シ難キトキハ議長ハ當日ノ會議ヲ中止シ又ハ之
ヲ閉ツルコトヲ得

第五十六條 傍聽人公然可否ヲ表シ又ハ喧騒ニ涉リ其ノ他會議ノ妨害
ヲ爲ストキハ議長ハ之ヲ制止シ命ニ從ハサルトキハ之ヲ退場セシメ
必要アル場合ニ於テハ警察官吏ノ處分ヲ求ムルコトヲ得

傍聽席騷擾ナルトキハ議長ハ總テノ傍聽人ヲ退場セシメ必要アル場
合ニ於テハ警察官吏ノ處分ヲ求ムルコトヲ得

第五十七條 町村會ニ書記ヲ置キ議長ニ隸屬シテ庶務ヲ處理セシム
書記ハ議長之ヲ任免ス

第五十八條 議長ハ書記ヲシテ會議録ヲ調製シ會議ノ顛末及出席議員
ノ氏名ヲ記載セシムヘシ

會議録ハ議長及議員二人以上之ニ署名スルコトヲ要ス其ノ議員ハ町
村會ニ於テ之ヲ定ムヘシ

第五十九條 町村會ハ會議規則及傍聽人取締規則ヲ設クヘシ
會議規則ニハ本法及會議規則ニ違反シタル議員ニ對シ町村會ノ議決
ニ依リ三日以内出席ヲ停止シ又ハ二圓以下ノ過怠金ヲ科スル規定ヲ

設クルコトヲ得

第三章 町村吏員

第一款 組織選舉及任免

第六十條 町村ニ町村長及助役一人ヲ置ク但シ町村條例ヲ以テ助役
ノ定數ヲ増加スルコトヲ得

第六十一條 町村長及助役ハ名譽職トス

町村ハ町村條例ヲ以テ町村長又ハ助役ヲ有給ト爲スコトヲ得

第六十二條 町村長及助役ノ任期ハ四年トス

第六十三條 町村長ハ町村會ニ於テ之ヲ選舉ス

助役ハ町村長ノ推薦ニ依リ町村會之ヲ定ム町村長職ニ在ラサルトキ
ハ前項ノ例ニ依ル

名譽職町村長及名譽職助役ハ其ノ町村公民中選舉權ヲ有スル者ニ限
ル

有給町村長及有給助役ハ第七條第一項ノ規定ニ拘ラス在職ノ間其ノ
町村ノ公民トス

第六十四條 町村長ヲ選舉シ又ハ助役ヲ定メ若ハ選舉シタルトキハ府
縣知事ノ認可ヲ受クヘシ

前項ノ場合ニ於テ府縣知事ノ不認可ニ對シ町村長又ハ町村會ニ於テ不服アルトキハ内務大臣ニ具狀シテ認可ヲ請フコトヲ得
有給町村長及有給助役ハ三月前ニ申立ツルトキハ任意退職スルコトヲ得

第六十五條 町村長及助役ハ第十五條第二項ニ掲ケタル職ト兼ヌルコトヲ得ス又其ノ町村ニ對シ請負ヲ爲シ及同一ノ行爲ヲ爲ス者ノ支配人又ハ主トシテ同一ノ行爲ヲ爲ス法人ノ無限責任社員重役及支配人タルコトヲ得ス

町村長ト父子兄弟タル緣故アル者ハ助役ノ職ニ在ル事ヲ得ス
父子兄弟タル緣故アル者ハ同時ニ助役ノ職ニ在ルコトヲ得ス第十五條第五項ノ規定ハ此ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六十六條 有給町村長及有給助役ハ郡長ノ許可ヲ受クルニ非サレハ他ノ報償アル業務ニ従事スルコトヲ得ス
有給町村長及有給助役ハ會社ノ重役又ハ支配人其ノ他ノ事務員タルコトヲ得ス

第六十七條 町村ニ收入役一人ヲ置ク但シ特別ノ事情アル町村ニ於テハ町村條例ヲ以テ副收入役一人ヲ置クコトヲ得

收入役及副收入役ハ有給吏員トシ其ノ任期ハ四年トス
收入役及副收入役ハ町村長ノ推薦ニ依リ町村會之ヲ定メ郡長ノ認可ヲ受クヘシ

前項ノ場合ニ於テ郡長ノ不認可ニ對シ町村長又ハ町村會ニ於テ不服アルトキハ府縣知事ニ具狀シテ認可ヲ請フコトヲ得

第六十三條第四項ノ規定ハ收入役ニ第六十五條第一項及前條ノ規定ハ收入役及副收入役ニ之ヲ準用ス

町村長又ハ助役ト父子兄弟タル緣故アル者ハ收入役又ハ副收入役ノ職ニ在ルコトヲ得ス

收入役ト父子兄弟タル緣故アル者ハ副收入役ノ職ニ在ルコトヲ得ス
特別ノ事情アル町村ニ於テハ郡長ノ許可ヲ得テ町村長又ハ助役ヲシテ收入役ノ事務ヲ兼掌セシムルコトヲ得

第六十八條 町村ハ處務便宜ノ爲區ヲ劃シ區長及其ノ代理者一人ヲ置クコトヲ得

區長及其ノ代理者ハ名譽職トス町村會ニ於テ町村公民中選舉權ヲ有スル者ヨリ之ヲ選舉ス

第六十九條 町村ハ臨時又ハ常設ノ委員ヲ置クコトヲ得

委員ハ名譽職トス町村會ニ於テ町村會議員又ハ町村公民中選舉權ヲ有スル者ヨリ之ヲ選舉ス但シ委員長ハ町村長又ハ其ノ委任ヲ受ケタル助役ヲ以テ之ニ充ツ
常設委員ノ組織ニ關シテハ町村條例ヲ以テ別段ノ規定ヲ設クルコトヲ得

第七十條 名譽職町村長及名譽職助役其他町村公民ニ限リテ擔任スヘキ職務ニ在ル吏員ニシテ町村公民權ヲ喪失シ若ハ停止セラレタルトキ又ハ第九條第三項ノ場合ニ當ルトキハ其ノ職ヲ失フ職ニ就キタルカ爲町村公民タル者ニシテ禁治産若ハ準禁治産ノ宣告ヲ受ケタルトキ又ハ第九條第二項若ハ第三項ノ場合ニ當ルトキ亦同シ
前項ノ職務ニ在ル者ニシテ禁錮以上ノ刑ニ當ルヘキ罪ノ爲豫審又ハ公判ニ付セラレタルトキハ監督官廳ハ其ノ職務ノ執行ヲ停止スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ停止期間報酬又ハ給料ヲ支給スルコトヲ得ス

第七十一條 前數條ニ定ムル者ノ外町村ニ必要ノ有給吏員ヲ置キ町村長之ヲ任免ス
前項吏員ノ定數ハ町村會ノ議決ヲ經テ之ヲ定ム

第二款 職務權限

第七十二條 町村長ハ町村ヲ統轄シ町村ヲ代表ス

町村長ノ擔任スル事務ノ概目左ノ如シ

- 一 町村會ノ議決ヲ經ヘキ事件ニ付其ノ議案ヲ發シ及其議決ヲ執行スル事
 - 二 財産及營造物ヲ管理スル事但シ特ニ之カ管理者ヲ置キタルトキハ其ノ事務ヲ監督スル事
 - 三 收入支出ヲ命令シ及會計ヲ監督スル事
 - 四 證書及公文書類ヲ保管スル事
 - 五 法令又ハ町村會ノ議決ニ依リ使用料、手数料、加入金、町村税又ハ夫役現品ヲ賦課徵收スル事
 - 六 其ノ他法令ニ依リ町村長ノ職權ニ屬スル事項
- 第七十三條 町村長ハ町村吏員ヲ指揮監督シ之ニ對シ懲戒ヲ行フコトヲ得其ノ懲戒處分ハ譴責及五圓以下ノ過怠金トス
- 第七十四條 町村會ノ議決又ハ選舉其ノ權限ヲ越エ又ハ法令若ハ會議規則ニ背クト認ムルトキハ町村長ハ其ノ意見ニ依リ又ハ監督官廳ノ指揮ニ依リ理由ヲ示シテ之ヲ再議ニ付シ又ハ再選舉ヲ行ハシムヘシ

其ノ執行ヲ要スルモノニ在リテハ之ヲ停止スヘシ
前項ノ場合ニ於テ町村會其ノ議決ヲ改メサルトキハ町村長ハ府縣參
事會ノ裁決ヲ請フヘシ但シ特別ノ事由アルトキハ再議ニ付セスシテ
直ニ裁決ヲ請フコトヲ得

監督官廳ハ第一項ノ議決又ハ選舉ヲ取消スコトヲ得但シ裁決ノ申請
アルトキハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ規定ニ依ル郡長ノ處分ニ不服アル町村長又ハ町村會ハ府縣參
事會ニ訴願スルコトヲ得其ノ裁決、第二項ノ裁決又ハ前項ノ規定ニ
依ル府縣知事ノ處分ニ不服アル町村長又ハ町村會ハ行政裁判所ニ出
訴スルコトヲ得

町村會ノ議決公益ヲ害シ又ハ町村ノ收支ニ關シ不適當ナリト認ムル
トキハ町村長ハ其ノ意見ニ依リ又ハ監督官廳ノ指揮ニ依リ理由ヲ示
シテ之ヲ再議ニ付スヘシ其ノ執行ヲ要スルモノニ在リテハ之ヲ停止
スヘシ

前項ノ場合ニ於テ町村會其ノ議決ヲ改メサルトキハ町村長ハ郡長ノ
處分ヲ請フヘシ
前項ノ處分ニ不服アル町村長又ハ町村會ハ府縣參事會ニ訴願シ其ノ

裁決ニ不服アルトキハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得

前項府縣參事會ノ裁決ニ付テハ府縣知事ヨリモ訴願ヲ提起スルコト
ヲ得

第二項及第四項ノ裁決ニ付テハ府縣知事ヨリモ訴訟ヲ提起スルコト
ヲ得

第七十五條 町村會成立セサルトキ又ハ第四十八條但書ノ場合ニ於テ
仍會議ヲ開クコト能ハサルトキハ町村長ハ郡長ニ具狀シテ指揮ヲ請
ヒ町村會ノ議決スヘキ事件ヲ處置スルコトヲ得

町村會ニ於テ其ノ議決スヘキ事件ヲ議決セサルトキハ前項ノ例ニ依
ル

町村會ノ決定スヘキ事件ニ關シテハ前二項ノ例ニ依ル此場合ニ於ケ
ル町村長ノ處置ニ關シテハ各本條ノ規定ニ準シ訴願又ハ訴訟ヲ提起
スルコトヲ得

前三項ノ規定ニ依ル處置ニ付テハ次回ノ會議ニ於テ之ヲ町村會ニ報
告スヘシ

第七十六條 町村會ニ於テ議決又ハ決定スヘキ事件ニ關シ臨時急施ヲ
要スル場合ニ於テ町村會成立セサルトキ又ハ町村長ニ於テ之ヲ招集

スルノ暇ナシト認ムルトキハ町村長ハ之ヲ專決シ次回ノ會議ニ於テ之ヲ町村會ニ報告スヘシ
前項ノ規定ニ依リ町村長ノ爲シタル處分ニ關シテハ各本條ノ規定ニ準シ訴願又ハ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第七十七條 町村長其ノ他町村吏員ハ法令ノ定ムル所ニ依リ國府縣其ノ他公共團體ノ事務ヲ掌ル

前項ノ事務ヲ執行スル爲要スル費用ハ町村ノ負擔トス但シ法令中別段ノ規定アルモノハ此ノ限ニ在ラス

第七十八條 町村長ハ郡長ノ許可ヲ得テ其ノ事務ノ一部ヲ助役又ハ區長ニ分掌セシムルコトヲ得但シ町村ノ事務ニ付テハ豫メ町村會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

町村長ハ町村吏員ヲシテ其ノ事務ノ一部ヲ臨時代理セシムルコトヲ得

第七十九條 助役ハ町村長ノ事務ヲ補助ス
助役ハ町村長故障アルトキ之ヲ代理ス助役數人アルトキハ豫メ町村長ノ定メタル順序ニ依リ之ヲ代理ス

第八十條 收入役ハ町村ノ出納其ノ他ノ會計事務及第七十七條ノ事務ニ關スル國府縣其ノ他公共團體ノ出納其ノ他ノ會計事務ヲ掌ル但シ法令中別段ノ規定アルモノハ此ノ限ニ在ラス

町村ハ收入役故障アルトキ之ヲ代理スヘキ吏員ヲ定メ郡長ノ認可ヲ受クヘシ但シ副收入役ヲ置キタル町村ハ此ノ限ニ在ラス

副收入役ハ收入役ノ事務ヲ補助シ收入役故障アルトキ之ヲ代理ス
町村長ハ郡長ノ許可ヲ得テ收入役ノ事務ノ一部ヲ副收入役ニ分掌セシムルコトヲ得但シ町村ノ出納其ノ他ノ會計事務ニ付テハ豫メ町村會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第八十一條 區長ハ町村長ノ命ヲ承ケ町村長ノ事務ニシテ區内ニ關スルモノヲ補助ス

區長代理者ハ區長ノ事務ヲ補助シ區長故障アルトキハ之ヲ代理ス
第八十二條 委員ハ町村長ノ指揮監督ヲ承ケ財産又ハ營造物ヲ管理シ其ノ他委託ヲ受ケタル町村ノ事務ヲ調査シ又ハ之ヲ處辨ス

第八十三條 第七十一條ノ吏員ハ町村長ノ命ヲ承ケ事務ニ從事ス

第四章 給料及給與

第八十四條 名譽職町村長、名譽職助役、町村會議員其ノ他ノ名譽職員ハ職務ノ爲要スル費用ノ辨償ヲ受クルコトヲ得

名譽職町村長、名譽職助役、區長、區長代理者及委員ニハ費用辨償ノ外勤務ニ相當スル報酬ヲ給スルコトヲ得

第八十五條 有給町村長、有給助役其ノ他ノ有給吏員ノ給料額、旅費額及其ノ支給方法ハ町村會ノ議決ヲ經テ之ヲ定ム

第八十六條 有給吏員ニハ町村條例ノ定ムル所ニ依リ退隱料、退職給與金、死亡給與金又ハ遺族扶助料ヲ給スルコトヲ得

第八十七條 費用辨償、報酬、給料、旅費、退隱料、退職給與金、死亡給與金又ハ遺族扶助料ノ給與ニ付關係者ニ於テ異議アルトキハ之ヲ町村長ニ申立ツルコトヲ得

前項ノ異議ハ之ヲ町村會ノ決定ニ付スヘシ關係者其ノ決定ニ不服アルトキハ府縣參事會ニ訴願シ其ノ裁決又ハ第三項ノ裁決ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

前項ノ決定及議決ニ付テハ町村長ヨリモ訴願又ハ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第八十八條 費用辨償、報酬、給料、旅費、退隱料、退職給與金、死

亡給與金、遺族扶助料其ノ他ノ給與ハ町村ノ負擔トス

第五章 町村ノ財務

第一款 財産營造物及町村稅

第八十九條 收益ノ爲ニスル町村ノ財産ハ基本財産トシ之ヲ維持スハ

町村ハ特定ノ目的ノ爲特別ノ基本財産ヲ設ケ又ハ金穀等ヲ積立ツルコトヲ得

第九十條 舊來ノ慣行ニ依リ町村住民中特ニ財産又ハ營造物ヲ使用スル權利ヲ有スル者アルトキハ其ノ舊慣ニ依ル舊慣ヲ變更又ハ廢止セントスルトキハ町村會ノ議決ヲ經ヘシ

前項ノ財産又ハ營造物ヲ新ニ使用セムトスル者アルトキハ町村ハ之ヲ許可スルコトヲ得

第九十一條 町村ハ前條ニ規定スル財産ノ使用方法ニ關シ町村規則ヲ設クルコトヲ得

第九十二條 町村ハ第九十條第一項ノ使用者ヨリ使用料ヲ徵收シ同條第二項ノ使用ニ關シテハ使用料若ハ一時ノ加入金ヲ徵收シ又使用料及加入金ヲ共ニ徵收スルコトヲ得

第九十三條 町村ハ營造物ノ使用ニ付キ使用料ヲ徵收スル事ヲ得

町村ハ特ニ一個人ノ爲ニスル事務ニ付手數料ヲ徵收スルコトヲ得

第九十四條 財産ノ賣却貸與、工事ノ請負及物件勞力其ノ他ノ供給ハ競争入札ニ付スヘシ但臨時急施ヲ要スルトキ、入札ノ價額其ノ費用ニ比シテ得失相償ハサルトキ又ハ町村會ノ同意ヲ得タルトキハ此ノ限ニ在ラス

第九十五條 町村ハ其ノ公益上必要アル場合ニ於テハ寄附又ハ補助ヲ爲スコトヲ得

第九十六條 町村ハ其ノ必要ナル費用及從來法令ニ依リ又ハ將來法律勅令ニ依リ町村ノ負擔ニ屬スル費用ヲ支辨スル義務ヲ負フ

町村ハ其ノ財産ヨリ生スル收入、使用料、手數料、過料、過怠金其ノ他法令ニ依リ町村ニ屬スル收入ヲ以テ前項ノ支出ニ充テ仍不足アルトキハ町村稅及夫役現品ヲ賦課徵收スルコトヲ得

第九十七條 町村稅トシテ賦課スルコトヲ得ヘキモノ左ノ如シ

- 一 國稅府縣稅ノ附加稅
- 二 特別稅

直接國稅又ハ直接府縣稅ノ附加稅ハ均一ノ稅率ヲ以テ之ヲ徵收スヘ

シ但シ第四百十七條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

國稅ノ附加稅タル府縣稅ニ對シテハ附加稅ヲ賦課スルコトヲ得ス
特別稅ハ別ニ稅目ヲ起シテ課稅スルノ必要アルトキ賦課徵收スルモノトス

第九十八條 三月以上町村内ニ滞在スル者ハ其ノ滞在ノ初ニ溯リ町村稅ヲ納ムル義務ヲ負フ

第九十九條 町村内ニ住所ヲ有セス又ハ三月以上滞在スルコトナシト雖町村内ニ於テ土地家屋物件ヲ所有シ使用シ若ハ占有シ、町村内ニ營業所ヲ設ケテ營業ヲ爲シ又ハ町村内ニ於テ特定ノ行爲ヲ爲ス者ハ其ノ土地家屋物件營業若ハ其ノ收入ニ對シ又ハ其ノ行爲ニ對シテ賦課スル町村稅ヲ納ムル義務ヲ負フ

第一百條 納稅者ノ町村外ニ於テ所有シ使用シ占有スル土地家屋物件若ハ其收入又ハ町村外ニ於テ營業所ヲ設ケタル營業若ハ其ノ收入ニ對シテハ町村稅ヲ賦課スルコトヲ得ス
町村ノ内外ニ於テ營業所ヲ設ケ營業ヲ爲ス者ニシテ其ノ營業又ハ收入ニ對スル本稅ヲ分別シテ納メサルモノニ對シ附加稅ヲ賦課スル場

合及住所滞在町村ノ内外ニ渉ル者ノ收入ニシテ土地家屋物件又ハ業所ヲ設ケタル營業ヨリ生スル收入ニ非サルモノニ對シ町村稅ヲ賦課スル場合ニ付テハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第一百一條 所得稅法第五條ニ掲クル所得ニ對シテハ町村稅ヲ賦課スルコトヲ得ス

神社寺院祠宇佛堂ノ用ニ供スル建物及其ノ境内地並教會所說教所ノ用ニ供スル建物及其ノ構内地ニ對シテハ町村稅ヲ賦課スルコトヲ得ス但シ有料ニテ之ヲ使用セシムル者及住宅ヲ以テ教會所說教所ノ用ニ充ツル者ニ對シテハ此ノ限ニ在ラス

國府縣市町村其ノ他公共團體ニ於テ公用ニ供スル家屋物件及營造物ニ對シテハ町村稅ヲ賦課スルコトヲ得ス但シ有料ニテ之ヲ使用セシムル者及使用收益者ニ對シテハ此ノ限ニ在ラス

國ノ事業又ハ行爲及國有ノ土地家屋物件ニ對シテハ國ニ町村稅ヲ賦課スルコトヲ得ス

前四項ノ外町村稅ヲ賦課スルコトヲ得サルモノハ別ニ法律勅令ノ定ムル所ニ依ル

第一百二條 數人ヲ利スル營造物ノ設置維持其ノ他ノ必要ナル費用ハ其

ノ關係者ニ負擔セシムルコトヲ得

町村ノ一部ヲ利スル營造物ノ設置維持其ノ他ノ必要ナル費用ハ其ノ部内ニ於テ町村稅ヲ納ムル義務アル者ニ負擔セシムルコトヲ得

前二項ノ場合ニ於テ營造物ヨリ生スル收入アルトキハ先ツ其ノ收入ヲ以テ其ノ費用ニ充ツヘシ

前項ノ場合ニ於テ其ノ一部ノ收入アルトキ亦同シ

數人又ハ町村ノ一部ヲ利スル財產ニ付テハ前三項ノ例ニ依ル

第一百三條 町村稅及其ノ賦課徵收ニ關シテハ本法其ノ他ノ法律ニ規定アルモノノ外勅令ヲ以テ之ヲ定ムルコトヲ得

第一百四條 數人又ハ町村ノ一部ニ對シテ利益アル事件ニ關シテハ町村ハ不均一ノ賦課ヲ爲シ又ハ數人若ハ町村ノ一部ニ對シ賦課ヲ爲ス

コトヲ得

第一百五條 夫役又ハ現品ハ直接町村稅ヲ準率ト爲シ直接町村稅ヲ賦課セサル町村ニ於テハ直接國稅ヲ準率ト爲シ且之ヲ金額ニ算出シテ賦課スヘシ但シ第百四十七條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

學藝美術及手工ニ關スル勞務ニ付テハ夫役ヲ賦課スルコトヲ得ス

夫役ヲ賦課セラレタル者ハ本人自ラ之ニ當リ又ハ適當ノ代人ヲ出スコトヲ得

夫役又ハ現品ハ金錢ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得
第一項及前項ノ規定ハ急迫ノ場合ニ賦課スル夫役ニ付テハ之ヲ適用セス

第六條 非常災害ノ爲必要アルトキハ町村ハ他人ノ土地ヲ一時使用シ又ハ其ノ土石竹木其他ノ物品ヲ使用シ若ハ收用スルコトヲ得但シ其ノ損失ヲ補償スヘシ

前項ノ場合ニ於テ危険防止ノ爲必要アルトキハ町村長、警察官吏又ハ監督官廳ハ町村内ノ居住者ヲシテ防禦ニ從事セシムルコトヲ得

第一項但書ノ規定ニ依リ補償スヘキ金額ハ協議ニ依リ之ヲ定ム協議調ハサルトキハ鑑定人ノ意見ヲ徵シ府縣知事之ヲ決定ス決定ヲ受ケタル者其ノ決定ニ不服アルトキハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得

前項ノ決定ハ文書ヲ以テ之ヲ爲シ其ノ理由ヲ附シ之ヲ本人ニ交付スヘシ

第一項ノ規定ニ依リ土地ノ一時使用ノ處分ヲ受ケタル者其ノ處分ニ不服アルトキハ郡長ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アルトキハ府縣知事ニ

訴願シ其ノ裁決ニ不服アルトキハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得

第七條 町村税ノ賦課ニ關シ必要アル場合ニ於テハ當該吏員ハ日出ヨリ日没迄ノ間營業者ニ關シテハ仍其ノ營業時間内家宅若ハ營業所ニ臨檢シ又ハ帳簿物件ノ檢査ヲ爲スコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ當該吏員ハ其ノ身分ヲ證明スヘキ證票ヲ携帯スヘシ

第八條 町村長ハ納稅者中特別ノ事情アル者ニ對シ納稅ノ延期ヲ許スコトヲ得其ノ年度ヲ越ユル場合ハ町村會ノ議決ヲ經ヘシ
町村ハ特別ノ事情アル者ニ限リ町村税ヲ減免スルコトヲ得

第九條 使用料手數料及特別税ニ關スル事項ニ付テハ町村條例ヲ以テ之ヲ規定スヘシ其ノ條例中ニハ五圓以下ノ過料ヲ科スル規定ヲ設クルコトヲ得

財産又ハ營造物ノ使用ニ關シテハ町村條例ヲ以テ五圓以下ノ過料ヲ科スル規定ヲ設クルコトヲ得

過料ノ處分ヲ受ケタル者其ノ處分ニ不服アルトキハ府縣參事會ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得
前項ノ裁決ニ付テハ府縣知事又ハ町村長ヨリモ訴訟ヲ提起スルコト

ヲ得

第一百十條 町村税ノ賦課ヲ受ケタル者其ノ賦課ニ付違法又ハ錯誤アリト認ムルトキハ徵稅令書ノ交付ヲ受ケザル日ヨリ三月以内ニ町村長ニ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得

財産又ハ營造物ヲ使用スル權利ニ關シ異議アル者ハ之ヲ町村長ニ申立ツルコトヲ得

前二項ノ異議ハ之ヲ町村會ノ決定ニ付スヘシ決定ヲ受ケタル者其ノ決定ニ不服アルトキハ府縣參事會ニ訴願シ其ノ裁決又ハ第五項ノ裁決ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第一項及前項ノ規定ハ使用料手数料及加入金ノ徵收並夫役現給ノ賦課ニ關シ之ヲ準用ス

前二項ノ規定ニ依ル決定及裁決ニ付テハ町村長ヨリモ訴願又ハ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

前三項ノ規定ニ依ル裁決ニ付テハ府縣知事ヨリモ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第一百十一條 町村税、使用料、手数料、加入金、過料、過怠金其ノ他ノ町村ノ収入ヲ定期内ニ納メサル者アルトキハ町村長ハ期限ヲ指定

シテ之ヲ督促スヘシ

夫役現品ノ賦課ヲ受ケタル者定期内ニ其ノ履行ヲ爲サス又ハ夫役現品ニ代フル金錢ヲ納メサルトキハ町村長ハ期限ヲ指定シテ之ヲ督促スヘシ急迫ノ場合ニ賦課シタル夫役ニ付テハ更ニ之ヲ金額ニ算出シ期限ヲ指定シテ其ノ納付ヲ命スヘシ

前二項ノ場合ニ於テハ町村條例ノ定ムル所ニ依リ手数料ヲ徵收スルコトヲ得

滞納者第一項又ハ第二項ノ督促又ハ命令ヲ受ケ其ノ指定ノ期限内ニ之ヲ完納セサルトキハ國稅滞納處分ノ例ニ依リ之ヲ處分スヘシ

第一項乃至第三項ノ徵收金ハ府縣ノ徵收金ニ次テ先取特權ヲ有シ其ノ追徵還付及時效ニ付テハ國稅ノ例ニ依ル

前三項ノ處分ヲ受ケタル者其ノ處分ニ不服アルトキハ府縣參事會ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

前項ノ裁決ニ付テハ府縣知事又ハ町村長ヨリモ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第四項ノ處分中差押物件ノ公賣ハ處分ノ確定ニ至ル迄執行ヲ停止ス

ヘキ支出ヲ爲ス爲又ハ天災事變等ノ爲必要アル場合ニ限リ町村債ヲ起スコトヲ得

町村債ヲ起スニ付町村會ノ議決ヲ經ル時ハ併セテ起債ノ方法利息ノ定率及償還ノ方法ニ付議決ヲ經ヘシ

町村ハ豫算内ノ支出ヲ爲ス爲一時ノ借入金ヲ爲スコトヲ得前項ノ借入金ハ其ノ會計年度内ノ收入ヲ以テ償還スヘシ

第二款 歳入出豫算及決算

第一百三條 町村長ハ毎會計年度歳入出豫算ヲ調製シ遅クトモ年度開始ノ一月前ニ町村會ノ議決ヲ經ヘシ

町村ノ會計年度ハ政府ノ會計年度ニ依ル

豫算ヲ町村會ニ提出スルトキハ町村長ハ併セテ事務報告書及財産表ヲ提出スヘシ

第十四條 町村長ハ町村會ノ議決ヲ經テ既定豫算ノ追加又ハ更正ヲ爲スコトヲ得

第十五條 町村費ヲ以テ支辨スル事件ニシテ數年ヲ期シテ其ノ費用ヲ支出スヘキモノハ町村會ノ議決ヲ經テ其ノ年期間各年度ノ支出額ヲ定メ繼續費ト爲スコトヲ得

第十六條 町村ハ豫算外ノ支出又ハ豫算超過ノ支出ニ充ツル爲豫備費ヲ設クヘシ

豫備費ハ町村會ノ否決シタル費途ニ充ツルコトヲ得ス

第十七條 豫算ハ議決ヲ經タル後直チニ之ヲ郡長ニ報告シ且其ノ要領ヲ告示スヘシ

第十八條 町村ハ特別會計ヲ設クルコトヲ得

第十九條 町村會ニ於テ豫算ヲ議決シタルトキハ町村長ヨリ其ノ臆本ヲ收入役ニ交付スヘシ

收入役ハ町村長又ハ監督官廳ノ命令アルニ非サレハ支拂ヲ爲スコトヲ得ス命令ヲ受クルモ支出ノ豫算ナク且豫備費支出ノ費目流用其ノ他財務ニ關スル規定ニ依リ支出ヲ爲スコトヲ得サルトキ亦同シ

前二項ノ規定ハ收入役ノ事務ヲ兼掌シタル町村長又ハ助役ニ之ヲ準用ス

第二十條 町村ノ支拂金ニ關スル時効ニ付テハ政府ノ支拂金ノ例ニ依ル

第二十一條 町村ノ出納ハ毎月例日ヲ定メテ之ヲ検査シ且毎會計年度少クトモ二回臨時検査ヲ爲スヘシ

検査ハ町村長之ヲ爲シ臨時検査ニハ町村會ニ於テ選舉シタル議員二人以上ノ立會ヲ要ス

第二百二十二條 町村ノ出納ハ翌年度六月三十日ヲ以テ閉鎖ス

決算ハ出納閉鎖後一月以内ニ證書類ヲ併セテ收入役ヨリ之ヲ町村長ニ提出スヘシ町村長ハ之ヲ審査シ意見ヲ付シテ次ノ通常豫算ヲ議スル會議迄ニ之ヲ町村會ノ認定ニ付スヘシ

第六十七條第八項(第七項ニ相當ス)ノ場合ニ於テハ前項ノ例ニ依ル但シ町村長ニ於テ兼掌シタルトキハ直ニ町村會ノ認定ニ付スヘシ
決算ハ其ノ認定ニ關スル町村會ノ議決ト共ニ之ヲ郡長ニ報告シ且其ノ要領ヲ告示スヘシ

決算ノ認定ニ關スル會議ニ於テハ町村長及助役共ニ議長ノ職務ヲ行フコトヲ得ス

第二百二十三條 豫算調製ノ式、費目流用其ノ他財務ニ關シ必要ナル規定ハ内務大臣之ヲ定ム

第六章 町村ノ一部ノ事務

第二百二十四條 町村ノ一部ニシテ財産ヲ有シ又ハ營造物ヲ設ケタルモノアルトキハ其ノ財産又ハ營造物ノ管理及處分ニ付テハ本法中町村

ノ財産又ハ營造物ニ關スル規定ニ依ル但シ法律勅令中別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ財産又ハ營造物ニ關シ特ニ要スル費用ハ其ノ財産又ハ營造物ノ屬スル町村ノ一部ノ負擔トス

前二項ノ場合ニ於テハ町村ノ一部ハ其ノ會計ヲ分別スヘシ

第二百二十五條 前條ノ財産又ハ營造物ニ關シ必要アリト認ムルトキハ郡長ハ町村會ノ意見ヲ徵シテ町村條例ヲ設定シ區會又ハ區總會ヲ設ケテ町村會ノ議決スヘキ事項ヲ議決セシムルコトヲ得

第二百二十六條 區會議員ハ町村ノ名譽職トス其ノ定數、任期、選舉權及被選舉權ニ關スル事項ハ前條ノ町村條例中ニ之ヲ規定スヘシ區總會ノ組織ニ關スル事項ニ付亦同シ

區會議員ノ選舉ニ付テハ町村會議員ニ關スル規定ヲ準用ス但シ選舉人名簿又ハ選舉若ハ當選ノ效力ニ關スル異議ノ決定及被選舉權ノ有無ノ決定ハ町村會ニ於テ之ヲ爲スヘシ

區會又ハ區總會ニ關シテハ町村會ニ關スル規定ヲ準用ス

第二百二十七條 第二百二十四條ノ場合ニ於テ町村ノ一部郡長ノ處分ニ不服アルトキハ府縣知事ニ訴願スルコトヲ得

第二百二十八條 第二百二十四條ノ町村ノ一部ノ事務ニ關シテハ本法ニ規定スルモノノ外勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第七章 町村組合

第二百二十九條 町村ハ其ノ事務ノ一部ヲ共同處理スル爲其ノ協議ニ依リ府縣知事ノ許可ヲ得テ町村組合ヲ設クルコトヲ得此ノ場合ニ於テ組合内各町村ノ町村會又ハ町村吏員ノ職務ニ屬スル事項ナキニ至リタルトキハ其ノ町村會又ハ町村吏員ハ組合成立ト同時ニ消滅ス
町村ハ特別ノ必要アル場合ニ於テハ其ノ協議ニ依リ府縣知事ノ許可ヲ得テ其ノ事務ノ全部ヲ共同處理スル爲町村組合ヲ設クルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ組合内各町村ノ町村會及町村吏員ハ組合成立ト同時ニ消滅ス
公益上必要アル場合ニ於テハ府縣知事ハ關係アル町村會ノ意見ヲ徵シ府縣參事會ノ議決ヲ經內務大臣ノ許可ヲ得テ前二項ノ町村組合ヲ設クルコトヲ得

町村組合ハ法人トス

第二百三十條 前條第一項ノ町村組合ニシテ其ノ組合町村ノ數ヲ増減シ又ハ共同事務ノ變更ヲ爲サムトスルトキハ關係町村ノ協議ニ依リ

府縣知事ノ許可ヲ受クヘシ
前條第二項ノ町村組合ニシテ其ノ組合町村ノ數ヲ減少セムトスルトキハ組合會ノ議決ニ依リ其ノ組合町村ノ數ヲ増加セムトスルトキハ其ノ町村組合ト新ニ加ハラムトスル町村トノ協議ニ依リ府縣知事ノ許可ヲ受クヘシ
公益上必要アル場合ニ於テハ府縣知事ハ關係アル町村會又ハ組合會ノ意見ヲ徵シ府縣參事會ノ議決ヲ經內務大臣ノ許可ヲ得テ組合町村ノ數ヲ増減シ又ハ一部事務ノ爲設クル組合ノ共同事務ノ變更ヲ爲スコトヲ得

第二百三十一條 町村組合ヲ設クルトキハ關係町村ノ協議ニ依リ組合規約ヲ定メ府縣知事ノ許可ヲ受クヘシ
組合規約ヲ變更セムトスルトキハ一部事務ノ爲ニ設クル組合ニ在リテハ關係町村ノ協議ニ依リ全部事務ノ爲ニ設クル組合ニ在リテハ組合會ノ議決ヲ經府縣知事ノ許可ヲ受クヘシ
公益上必要アル場合ニ於テハ府縣知事ハ關係アル町村會又ハ組合會ノ意見ヲ徵シ府縣參事會ノ議決ヲ經內務大臣ノ許可ヲ得テ組合規約ヲ定メ又ハ變更スルコトヲ得

第三百二十二條 組合規約ニハ組合ノ名稱組合ヲ組織スル町村、組合ノ共同事務及組合役場ノ位置ヲ定ムヘシ
一部事務ノ爲ニ設クル組合ノ組合規約ニハ前項ノ外組合會ノ組織及組合會議員ノ選舉、組合吏員ノ組織及選任並組合費用ノ支辨方法ニ付規定ヲ設クヘシ

第三百二十三條 町村組合ヲ解カムトスルトキハ一部事務ノ爲ニ設クル組合ニ於テハ關係ノ町村ノ協議ニ依リ全部事務ノ爲ニ設クル組合ニ於テハ組合會ノ議決ニ依リ府縣知事ノ許可ヲ受クヘシ
公益上必要アル場合ニ於テハ府縣知事ハ關係アル町村會又ハ組合會ノ意見ヲ徵シ府縣參事會ノ議決ヲ經内務大臣ノ許可ヲ得テ町村組合ヲ解クコトヲ得

第三百二十四條 第三百三十條第一項第二項及前條第一項ノ場合ニ於テ財産ノ處分ニ關スル事項ハ關係町村ノ協議、關係町村ト組合トノ協議又ハ組合會ノ議決ニ依リ府縣知事ノ許可ヲ受クヘシ
第三百三十條第三項及前條第二項ノ場合ニ於テ財産ノ處分ニ關スル事項ハ關係アル町村會又ハ組合會ノ意見ヲ徵シ府縣參事會ノ議決ヲ經内務大臣ノ許可ヲ得テ府縣知事之ヲ定ム

第三百二十五條 第二百二十九條第一項及第二項第三百三十條第一項及第二項第三百三十一條第一項及第二項第三百三十三條第一項並前條第一項ノ規定ニ依ル府縣知事ノ處分ニ不服アル町村又ハ町村組合ハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得

組合費ノ分賦ニ關シ違法又ハ錯誤アリト認ムル町村ハ其ノ告知アリタル日ヨリ三月以内ニ組合ノ管理者ニ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得
前項ノ異議ハ之ヲ組合會ノ決定ニ付スヘシ其ノ決定ニ不服アル町村ハ府縣參事會ニ訴願シ其ノ裁決又ハ第四項ノ裁決ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得
前項ノ決定及裁決ニ付テハ組合ノ管理者ヨリモ訴願又ハ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

前二項ノ裁決ニ付テハ府縣知事ヨリモ訴訟ヲ提起スルコトヲ得
第三百三十六條 町村組合ニ關シテハ法律勅令中別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外町村ニ關スル規定ヲ準用ス

第八章 町村ノ監督

第三百三十七條 町村ハ第一次ニ於テ郡長之ヲ監督シ第二次ニ於テ府縣知事之ヲ監督シ第三次ニ於テ内務大臣之ヲ監督ス

第三十八條 本法中別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外町村ノ監督ニ關スル郡長ノ處分ニ不服アル町村ハ府縣知事ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アルトキハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得

第三十九條 本法中行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得ヘキ場合ニ於テハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得ス

第四十條 異議ノ申立又ハ訴願ノ提起ハ處分決定又ハ裁決アリタル日ヨリ二十一日以内ニ之ヲ爲スヘシ但シ本法中別ニ期間ヲ定メタルモノハ此限ニ在ラス

行政訴訟ノ提起ハ處分決定裁定又ハ裁決アリタル日ヨリ三十日以内ニ之ヲ爲スヘシ

異議ノ申立ニ關スル期間ノ計算ニ付テハ訴願法ノ規定ニ依ル

異議ノ申立ハ期限經過後ニ於テモ宥恕スヘキ事由アリト認ムルトキ

ハ仍之ヲ受理スルコトヲ得

異議ノ決定ハ文書ヲ以テ之ヲ爲シ其ノ理由ヲ附シ之ヲ申立人ニ交付スヘシ

異議ノ申立アルモ處分ノ執行ハ之ヲ停止セス但シ行政廳ハ其ノ職權ニ依リ又ハ關係者ノ請求ニ依リ必要ト認ムルトキハ之ヲ停止スルコ

トヲ得

第四十一條 監督官廳ハ町村ノ監督上必要アル場合ニ於テハ事務ノ報告ヲ爲サシメ書類帳簿ヲ徴シ及實地ニ就キ事務ヲ視察シ又ハ出納ヲ檢閲スルコトヲ得

監督官廳ハ町村ノ監督上必要ナル命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

上級監督官廳ハ下級監督官廳ノ町村ノ監督ニ關シテ爲シタル命令又ハ處分ヲ停止シ又ハ取消スコトヲ得

第四十二條 内務大臣ハ町村會ノ解散ヲ命スルコトヲ得

町村會解散ノ場合ニ於テハ三月以内ニ議員ヲ選舉スヘシ

第四十三條 町村ニ於テ法令ニ依リ負擔シ又ハ當該官廳ノ職權ニ依リ命スル費用ヲ豫算ニ載セザルトキハ郡長ハ理由ヲ示シテ其ノ費用ヲ豫算ニ加フルコトヲ得

町村長之ノ他ノ吏員其ノ執行スヘキ事件ヲ執行セザルトキハ郡長又ハ其ノ委任ヲ受ケタル官吏吏員之ヲ執行スルコトヲ得但シ其ノ費用ハ町村ノ負擔トス

前二項ノ處分ニ不服アル町村又ハ町村長其ノ他ノ吏員ハ府縣知事ニ

訴願シ其ノ裁決ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得
 第四百四十四條 町村長、助役、收入役又ハ副收入役ニ故障アルトキハ
 監督官廳ハ臨時代理者ヲ選任シ又ハ官吏ヲ派遣シ其ノ職務ヲ管掌セ
 シムルコトヲ得但シ官吏ヲ派遣シタル場合ニ於テハ其ノ旅費ハ町村
 費ヲ以テ辨償セシムヘシ
 臨時代理者ハ有給ノ町村吏員トシ其給料額旅費額等ハ監督官廳之ヲ
 定ム

第四百四十五條 左ニ掲クル事件ハ内務大臣ノ許可ヲ受クヘシ

- 一 町村條例ヲ設ケ又ハ改廢スル事
- 二 學藝美術又ハ歷史上貴重ナル物件ヲ處分シ又ハ之ニ大ナル變更
ヲ加フル事

第四百四十六條 左ニ掲クル事件ハ内務大臣及大藏大臣ノ許可ヲ受クヘ
シ

- 一 町村債ヲ起シ竝起債ノ方法、利息ノ定率及償還ノ方法ヲ定メ又
ハ之ヲ變更スル事但シ第十二條第三項ノ借入金ハ此ノ限ニ在
ラス
- 二 特別稅ヲ新設シ増額シ又ハ變更スル事

三 間接國稅ノ附加稅ヲ賦課スル事

四 使用料手數料及加入金ヲ新設シ増額シ又ハ變更スル事

第四百四十七條 左ニ掲クル事件ハ郡長ノ許可ヲ受クヘシ

- 一 基本財産ノ管理及處分ニ關スル事
 - 二 特別基本財産及積立金穀等ノ管理及處分ニ關スル事
 - 三 第九十條ノ規定ニ依リ舊慣ヲ變更又ハ廢止スル事
 - 四 寄附又ハ補助ヲ爲ス事
 - 五 不動産ノ管理及處分ニ關スル事
 - 六 均一ノ稅率ニ依ラスシテ國稅又ハ府縣稅ノ附加稅ヲ賦課スル事
 - 七 第二百二條第一項第二項及第四項ノ規定ニ依リ數人又ハ町村ノ一
部ニ費用ヲ負擔セシムル事
 - 八 第四百四條ノ規定ニ依リ不均一ノ賦課ヲ爲シ又ハ數人若ハ町村ノ
一部ニ對シ賦課ヲ爲ス事
 - 九 第四百五條ノ準率ニ依ラスシテ夫役現品ヲ賦課スル事但シ急迫ノ
場合ニ賦課スル夫役ニ付テハ此ノ限ニ在ラス
 - 十 繼續費ヲ定メ又ハ變更スル事
- 第四百四十八條 監督官廳ノ許可ヲ要スル事件ニ付テハ監督官廳ハ許可

申請ノ趣旨ニ反セスト認ムル範圍内ニ於テ更正シテ許可ヲ與フルコトヲ得

第四百十九條 監督官廳ノ許可ヲ要スル事件ニ付テハ勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ許可ノ職權ヲ下級監督官廳ニ委任シ又ハ輕易ナル事件ニ限リ許可ヲ受ケシメサルコトヲ得

第五十條 府縣知事又ハ郡長ハ町村長、助役、收入役、副收入役區長、區長代理者、委員其ノ他ノ町村吏員ニ對シ懲戒ヲ行フコトヲ得其ノ懲戒處分ハ譴責、二十五圓以下ノ過怠金及解職トス但シ町村長、助役、收入役及副收入役ニ對スル解職ハ懲戒審査會ノ議決ヲ經テ府縣知事之ヲ行フ

懲戒審査會ハ内務大臣ノ命シタル府縣高等官三人及府縣名譽職參事會員ニ於テ互選シタル者三人ヲ以テ其ノ會員トシ府縣知事ヲ以テ會長トス知事故障アル時ハ其ノ代理者會長ノ職務ヲ行フ府縣名譽職參事會員ノ互選スヘキ會員ノ選舉補闕及任期並懲戒審査會ノ招集及會議ニ付テハ府縣制中名譽職參事會員及府縣參事會ニ關スル規定ヲ準用ス但シ補充員ハ之ヲ設クルノ限ニ在ラス
解職ノ處分ヲ受ケタル者其ノ處分ニ不服アルトキハ郡長ノ處分ニ付

テハ府縣知事ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アルトキ又ハ府縣知事ノ處分ニ付テハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得

府縣知事ハ町村長、助役、收入役及副收入役ノ解職ヲ行ハムトスル前其ノ停職ヲ命スルコトヲ得此場合ニ於テハ其ノ停職期間報酬又ハ給料ヲ支給スルコトヲ得ス

懲戒ニ依リ解職セラレタル者ハ二年間市町村ノ公職ニ選舉セラレ又ハ任命セララルコトヲ得ス

第五十一條 町村吏員ノ服務紀律、賠償責任、身元保證及事務引繼ニ關スル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

前項ノ命令ニハ事務引繼ヲ拒ミタル者ニ對シ二十五圓以下ノ過料ヲ科スル規定ヲ設クルコトヲ得

第九章 雜 則

第五十二條 郡長ノ職權ニ屬スル事件ニシテ數郡ニ涉ルモノアルトキハ府縣知事ハ關係郡長ノ具狀ニ依リ其ノ事件ヲ管理スヘキ郡長ヲ指定スヘシ其ノ數府縣ニ涉ルモノアルトキハ内務大臣ハ關係郡長ノ具狀ニ依リ其ノ事件ヲ管理スヘキ郡長ヲ指定スヘシ

第五十三條 府縣知事又ハ府縣參事會ノ職權ニ屬スル事件ニシテ數

府縣ニ涉ルルモノアルトキハ内務大臣ハ關係府縣知事ノ具狀ニ依リ

其ノ事件ヲ管理スヘキ府縣知事又ハ府縣參事會ヲ指定スヘシ

第一百五十四條 第十一條ノ人口ハ内務大臣ノ定ムル所ニ依ル

第一百五十五條 本法ニ於ケル直接税及間接税ノ種類ハ内務大臣及大藏

大臣之ヲ定ム

第一百五十六條 町村又ハ町村組合ノ廢置分合又ハ境界變更アリタル場

合ニ於テ町村ノ事務ニ付必要ナル事項ハ本法ニ規定スルモノノ外勅

令ヲ以テ之ヲ定ム

第一百五十七條 本法ハ北海道沖繩縣其ノ他勅令ヲ以テ指定スル島嶼ニ

之ヲ施行セス

前項ノ地域ニ付テハ勅令ヲ以テ別ニ本法ニ代ハルヘキ制ヲ定ムルコ

トヲ得

附 則

第一百五十八條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第一百五十九條 本法施行ノ際現ニ町村會議員、區會議員又ハ全部事務

ノ爲ニ設クル町村組合會議員ノ職ニ在ル者ハ從前ノ規定ニ依ル最近

ノ定期改選期ニ於テ總テ其ノ職ヲ失フ

第一百六十條 舊刑法ノ重罪ノ刑ニ處セラレタル者ハ本法ノ適用ニ付

テハ六年ノ懲役又ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者ト看做ス但シ復

權ヲ得タル者ハ此ノ限ニ在ラス

舊刑法ノ禁錮以上ノ刑ハ本法ノ適用ニ付テハ禁錮以上ノ刑ト看做ス

第一百六十一條 本法施行ノ際必要ナル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

市制及町村制施行期日ノ件

(明治四十四年九月 勅令第二百三十八號)

市制及町村制ハ明治四十四年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

參照

町村制第一百五十八條

市制町村制施行ニ關スル件

(明治四十四年九月 勅令第二百四十三號)

第一條 市制町村制施行前舊市制町村制ニ依リ爲シタル手續其他ノ行

爲ハ本令ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外之ヲ市制町村制ニ依リ爲

シタルモノト看做ス

市制及町村制施行期日ノ件 市制町村制施行ニ關スル件 (六三)

第二條 町村ノ境界ニ關スル爭論ニシテ郡參事會ニ於テ受理シタルモノハ之ヲ府縣參事會ニ於テ受理シタルモノト看做ス其郡參事會ニ於テ爲シタル裁決ニ不服アル者ハ從前ノ規定ニ依ル訴願期間内ニ府縣參事會ノ裁定ヲ請フコトヲ得

郡參事會ノ裁決ニ不服アルカ爲府縣參事會ニ爲シタル訴願ハ之ヲ其裁定ヲ請ヒタルモノト看做ス

市町村ノ境界ニ關スル爭論ニ付府縣參事會ノ爲シタル裁決ハ之ヲ裁定ト看做ス

第三條 町村名譽職ノ當選ヲ辭シ又ハ其職ヲ辭シ若クハ其職務ヲ實際ニ執行セサルカ爲受ケタル町村公民權停止及町村費增課ノ處分ニ關スル訴願ニシテ郡參事會ニ於テ受理シタルモノハ之ヲ府縣參事會ニ於テ受理シタルモノト看做ス其郡參事會ニ於テ爲シタル裁決ニ不服アル者ハ從前ノ規定ニ依ル訴願期間内ニ府縣參事會ニ訴願スルコトヲ得

市制町村制施行前市町村ニ於テ爲シタル市町村公民權停止及ヒ市町村費增課ノ處分ニ對スル訴願ノ期間ニ付テハ前項ノ規定ヲ準用ス

第四條 市町村營造物ニ關スル從前ノ市町村規則中市町村條例ヲ以テ

規定スヘキ事項ニ關スル規定ハ市町村條例ト同一ノ効力ヲ有ス

第五條 市會議員ノ定數市制第十三條ノ議員ノ定數ニ滿タサルニ依リ其ノ不足ヲ補フカ爲選舉シタル議員ハ從前ノ規定ニ依ル最近ノ定期改選期ニ於テ其ノ職ヲ失フ

第六條 市町村會議員區會議員又ハ全部事務ノ爲ニ設ケタル町村組合會議員ノ補闕又ハ増員ニ付從前ノ規定ニ依ル最近ノ定期改選期前ニ於テ其選舉ヲ行ヒタルトキハ其補闕議員又ハ増員議員ハ從前ノ規定ニ依ル最近ノ定期改選期ニ於テ其職ヲ失フ當選ヲ辭シ又ハ選舉若クハ當選無効ト爲リタルカ爲選舉セラレタル議員ニ付亦同シ

第七條 市制町村制施行前ノ選舉ニ關スル選舉人名簿又ハ選舉若クハ當選ノ効力ニ付テハ從前ノ規定ニ依ル

選舉人名簿又ハ選舉若クハ當選ノ効力ニ關スル訴願ニシテ市制町村制施行前市町村長ニ於テ受理シタルモノ又ハ市町村會ニ附議シタルモノハ之ヲ市町村會ノ決定ニ附シタルモノト看做ス其決定及市町村會ニ於テ爲シタル裁決ハ之ヲ異議ノ決定ト看做シ其市制町村制施行前ニ爲シタル裁決ニ對スル訴願ハ從前ノ規定ニ依ル訴願期間内ニ之ヲ提起スヘシ

市制町村制施行前ニ於ケル選舉又ハ當選ノ効力ニ關スル異議ハ從前ノ規定ニ依ル訴願期間内ニ之ヲ申立ツヘシ

第二項ノ裁決ニ不服アル者ノ提起シタル訴願ニシテ郡參事會ニ於テ受理シタルモノハ之ヲ府縣參事會ニ於テ受理シタルモノト看做ス其郡參事會ニ於テ爲シタル裁決ニ不服アル者ハ從前ノ規定ニ依ル訴願期間内ニ府縣參事會ニ訴願スルコトヲ得

第八條 市制町村制施行前家資分散若ハ破産ノ宣告ヲ受ケ又ハ禁錮以上ノ刑ニ當ルヘキ罪ノ爲公判ニ付セラレタル者ノ選舉權及ヒ被選舉權ノ有無ニ關シテハ前條ノ規定ヲ準用ス

第九條 選舉又ハ當選ノ効力ニ關スル府縣知事ノ異議ニシテ市制施行前府縣參事會ニ付議シタルモノハ之ヲ府縣參事會ノ決定ニ付シタルモノト看做シ其ノ府縣參事會ニ於テ爲シタル裁決ハ之ヲ決定ト看做ス
選舉又ハ當選ノ効力ニ關スル郡長ノ異議ニシテ町村制施行前郡參事會ニ付議シタルモノアルトキハ郡長ニ於テ直ニ府縣知事ノ指揮ヲ受ケ之ヲ處分スヘシ其郡參事會ニ於テ爲シタル裁決ハ之ヲ郡長ノ處分ト看做シ之ニ對スル訴願ハ從前ノ規定ニ依ル訴願期間内ニ之ヲ提起ス

スヘシ

第十條 市制施行ノ際現ニ市會議長及ヒ其代理者タル者ノ任期ハ從前ノ規定ニ依ル

前項ノ議長代理者ハ之ヲ副議長ト看做ス

第十一條 從前ノ規定ニ依ル市町村助役ノ選舉及收入役ノ選任ニ付テハ市町村長ノ推薦ニ依リ市町村會ニ於テ定メタルモノト看做ス

第十二條 町村長ニ於テ町村會ノ議決其ノ權限ヲ越エ又ハ法令ニ背クト認メ裁決ノ申請ヲ爲シ郡參事會ニ於テ受理シタルモノハ之ヲ府縣參事會ニ於テ受理シタルモノト看做ス其ノ郡參事會ニ於テ爲シタル裁決ニ不服アル者ハ從前ノ規定ニ依ル訴願期間内ニ府縣參事會ニ訴願スルコトヲ得

町村長ニ於テ町村會ノ議決公衆ノ利益ヲ害スト認メ裁決ノ申請ヲ爲シ郡參事會ニ於テ受理シタルモノハ之ヲ郡長ニ於テ受理シタルモノト看做ス其郡參事會ニ於テ爲シタル裁決ハ之ヲ郡長ノ處分ト看做シ之ニ對スル訴願ハ從前ノ規定ニ依ル訴願期間内ニ之ヲ提起スヘシ

前項ノ事件ニ付町村制施行前府縣參事會ノ爲シタル裁決ニ不服アル者ハ從前ノ規定ニ依ル訴願期間内ニ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得

市參事會ニ於テ市會ノ議決公衆ノ利益ヲ害スト認メ府縣參事會ニ爲シタル裁決ノ申請ハ之ヲ市長ノ申請ト看做ス市制施行前其ノ府縣參事會ニ於テ爲シタル裁決ニ不服アル者ニ付テハ前項ノ規定ヲ準用ス

第十三條 市制施行前市ノ有給吏員ノ給料若ハ退隱料又ハ名譽職員ノ實費辨償若ハ報酬ノ給與ニ關シ府縣參事會ニ於テ受理シタル異議ハ之ヲ訴願ト看做シ其府縣參事會ニ於テ爲シタル異議ノ裁決ハ之ヲ訴願ノ裁決ト看做ス

町村ノ有給吏員ノ給料若クハ退隱料、名譽職員ノ實費辨償若クハ報酬又ハ町村長ノ書記料ノ給與ニ關スル異議ノ申立ニシテ郡參事會ニ於テ受理シタルモノハ之ヲ府縣參事會ニ於テ受理シタルモノト看做ス其郡參事會ニ於テ爲シタル裁決ニ不服アル者ハ從前ノ規定ニ依ルテ訴願期間内ニ府縣參事會ニ訴願スルコトヲ得

町村長ノ書記料ノ給與ニ關スル異議訴願及ヒ訴訟ニ付テハ給料ニ關スル規定ヲ準用ス

市制町村制施行前前三項ノ給與ニ關シ爲シタル處分ニ對スル異議ノ申立期間ハ市制町村制施行ノ日ヨリ之ヲ起算ス

第十四條 從前ノ使用料手數料及特別税ニシテ市町村條例ニ依ラサル

モノハ之ヲ市町村條例ヲ以テ規定シタルモノト看做ス

使用料、手數料及特別税ニ關シ從前市町村條例ニ規定シタル料料ハ之ヲ過料ト看做ス但シ市町村制施行前料料ノ處分ヲ受クル者ノ出訴ニ付テハ從前ノ規定ニ依ル

第十五條 市制町村制施行前市町村税ノ賦課又ハ市町村ノ營造物市町村有財產若クハ其所得ヲ使用スル權利ニ關シ市參事會又ハ町村長ニ申立テタル訴願ハ之ヲ市長又ハ町村長ニ爲シタル異議ノ申立ト看做シ其爲シタル裁決ニ不服アル者ハ從前ノ規定ニ依ル訴願期間内ニ府縣參事會ニ訴願スルコトヲ得

前項ノ事件ニ關スル訴願ニシテ郡參事會ニ於テ受理シタルモノハ之ヲ府縣參事會ニ於テ受理シタルモノト看做シ其郡參事會ニ於テ爲シタル裁決ニ不服アル者ハ從前ノ規定ニ依ル訴願期間内ニ府縣參事會ニ訴願スルコトヲ得

市制町村制施行前市町村ノ營造物市町村有財產又ハ其所得ヲ使用スル權利ニ付爲シタル處分ニ對スル異議ハ從前ノ規定ニ依ル訴願期間内ニ之ヲ申立ツヘシ

第十六條 手數料ノ徵收及市町村税ノ滯納處分ニ關スル訴願ニシテ郡

長又ハ府縣知事ニ於テ受理シタルモノハ之ヲ府縣參事會ニ於テ受理シタルモノト看做ス其内務大臣ノ受理シタルモノニ付テハ從前ノ規定ニ依ル

市制町村制施行前ノ手数料ノ徵收ニ付テハ從前ノ規定ニ依ル訴願期間内ニ市町村長ニ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得其ノ郡長ニ於テ爲シタル訴願ノ裁決ニ不服アル者ハ從前ノ規定ニ依ル訴願期間内ニ府縣參事會ニ訴願スルコトヲ得其ノ府縣知事ニ於テ爲シタル裁決ハ府縣參事會ニ於テ爲シタル裁決ト看做ス

市制町村制施行前ノ市町村税ノ滯納處分又ハ町村税ノ滯納處分ニ關スル郡長ノ裁決ニ不服アル者ニ付テハ前項ノ規定ヲ準用ス

第十七條 市町村ノ一部ニ屬スル財産又ハ營造物ニ關シ區會又ハ區總會ヲ設クルカ爲市町村條例ノ設定ニ付府縣參事會又ハ郡參事會ヨリ内務大臣ニ提出シタル申請ハ之ヲ府縣知事又ハ郡長ノ申請ト看做ス

第十八條 町村組合ヲ解カントスルノ申請ニシテ郡長ニ於テ受理シタルモノハ之ヲ府縣知事ニ於テ受理シタルモノト看做ス

第十九條 舊市制第百十六條第一項ノ府縣參事會ノ處分又ハ裁決ニ不服アル者ハ從前ノ規定ニ依ル訴願期間内ニ内務大臣ニ訴願スルコト

ヲ得

舊町村制第百二十條第一項ノ郡參事會ノ處分又ハ裁決ニ對スル訴願ニシテ府縣參事會ニ於テ受理シタルモノハ府縣知事ニ於テ受理シタルモノト看做ス其ノ府縣參事會ニ於テ爲シタル裁決ニ不服アル者ニ付テハ前項ノ規定ヲ準用ス

前項郡參事會ノ處分又ハ裁決ハ郡長ニ於テ爲シタル處分ト看做シ之ニ不服アル者ハ從前ノ規定ニ依ル訴願期間内ニ府縣知事ニ訴願スルコトヲ得

舊市制第百十六條第一項又ハ舊町村制第百二十條第一項ノ郡長又ハ府縣知事ノ處分又ハ裁決ニ不服アルカ爲提起スル訴願ノ期間ニ付テハ從前ノ規定ニ依ル

舊市制第百十六條第五項又ハ舊町村制第百二十條第五項ノ執行ノ停止ニ付テハ從前ノ規定ニ依ル

第二十條 舊町村制第百二十二條ノ規定ニ依リ郡長ノ爲シタル處分ニ對スル訴願ニシテ府縣參事會ニ於テ受理シタルモノハ府縣知事ニ於テ受理シタルモノト看做シ府縣參事會ニ於テ爲シタル裁決ハ之ヲ府縣知事ノ裁決ト看做ス

前項郡長ノ處分ニ不服アル者ノ提起スル訴願ノ期間ニ付テハ從前ノ規定ニ依ル

第二十一條 市町村會ノ議決ニ付許可ヲ要スル事件中府縣參事會又ハ郡參事會ニ申請シタルモノニシテ府縣知事又ハ郡長ノ職權ト爲リタルモノハ之ヲ府縣知事又ハ郡長ニ申請シタルモノト看做ス

第二十二條 市制町村制施行前ニ爲シタル市町村吏員ノ解職ニ付テハ總テ從前ノ規定ニ依ル

第二十三條 第三條第七號第四項第十二條第一項第十三條第二項第十五條第一項若ハ第二項又ハ第十六條第二項若ハ第三項ノ規定ニ依リ府縣參事會ニ提起シタル訴願ハ之ヲ市制又ハ町村制ニ依リタルモノト看做ス

第二十四條 市制町村制施行前ノ處分決定裁定又ハ裁決ニ對スル行政訴訟ノ提起期間ハ從前ノ規定ニ依ル

附 則

本令ハ明治四十四年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

市稅及町村稅ノ賦課ニ關スル件

(明治四十四年九月勅令第二百四十一號)

第一條 市町村ノ内外ニ於テ營業所ヲ設ケ營業ヲ爲スモノニシテ其營業又ハ收入ニ對スル本稅ヲ分別シテ納メサル者ニ對シ附加稅ヲ賦課セントスルトキハ市町村長ハ關係市長(北海道沖繩縣ノ區長ヲ含ム)又ハ町村長(戶長又ハ之ニ準スヘキモノヲ含ム)ト協議ノ上其本稅額ノ歩合ヲ定ムヘシ
前項ノ協議調ハサルトキハ其郡内ニ止マルモノハ郡長之ヲ定メ其ノ郡(島ヲ含ム)以下之ニ做フ)市又ハ數郡若クハ數市ニ涉ルモノハ府縣知事之ヲ定メ其ノ數府縣(北海道ヲ含ム)以下之ニ做フ)ニ涉ルモノハ内務大臣及大藏大臣之ヲ定ムヘシ
第一項ノ場合ニ於テ直接ニ收入ヲ生スルコトナキ營業所アルトキハ他ノ營業所ト收入ヲ共通スルモノト認メ前二項ノ規定ニ依リ本稅額ノ歩合ヲ定ムヘシ
府縣ニ於テ數府縣ニ涉ル營業ニ對シ營業稅附加稅賦課ノ歩合ヲ定メタルモノアルトキハ其歩合ニ依ル本稅額ヲ以テ其ノ府縣ニ於ケル本稅額ト看做ス

第二條 鑛區（砂鑛區ヲ含ム以下之ニ做フ）カ市町村ノ内外ニ涉ル場合ニ於テ鑛區稅（砂鑛區稅ヲ含ム）ノ附加稅ヲ賦課セントスルトキハ鑛區ノ屬スル地表ノ面積ニ依リ其本稅額ヲ分割シ其一部ニノミ賦課スヘシ

市町村ノ内外ニ於テ鑛業ニ關スル事務所其ノ他ノ營業所ヲ設ケタル場合ニ於テ鑛產稅ノ附加稅ヲ賦課セントスルトキハ前項ノ例ニ依ル鑛區カ營業所所在市町村ノ内外ニ涉ル場合亦同シ

第三條 住所滞在市町村ノ内外ニ涉ルモノ、收入ニシテ土地家屋物件又ハ營業所ヲ設ケタル營業ヨリ生スル收入ニ非ラサルモノニ對シ市町村稅ヲ賦課セントスルトキハ其收入ヲ平分シ其ノ一部ニノミ賦課スヘシ

前項ノ住所又ハ滞在在時ヲ異ニシタルトキハ納稅義務ノ發生シタル翌月ノ初ヨリ其ノ消滅シタル月ノ終迄月割ヲ以テ賦課スヘシ但賦課後納稅義務者ノ住所又ハ滞在ニ異動ヲ生スルモ賦課額ハ之ヲ變更セズ其ノ新ニ住所ヲ有シ又ハ滞在スル市町村ニ於テハ賦課ナキ部分ニノミ賦課スヘシ

附 則

本令ハ明治四十四年十月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ明治四十四年度ノ課稅ニ關シテハ從前ノ例ニ依ル

參照 町村制第百條

市稅及町村稅ノ徵收ニ關スル件

（明治四十四年九月勅令第二百四十二號）

市稅及町村稅徵收ニ關シテハ國稅徵收法第四條ノ一及第四條ノ三乃至第四條ノ八ノ規定ヲ準用ス

附 則

本令ハ明治四十四年十月一日ヨリ之ヲ施行ス
參照 町村制第百三條

參照

町村制第一百五十一條

國稅徵收法

(明治三十年三月二十六日法律第二十號)

第四條ノ一 納税人左ノ場合ニ該當スルトキハ未タ納期ノ到ラサルモ既ニ納稅義務ノ確定シタル國稅ハ總テ之ヲ徵收スルコトヲ得

(三十五年三月法律第二十六號改正)

- 一、國稅ノ滯納ニ因リ滯納處分ヲ受クルトキ
 - 二、府縣稅其ノ他ノ公課ノ滯納ニ因リ滯納處分ヲ受クルトキ
 - 三、強制執行ヲ受クルトキ
 - 四、破産ノ宣告ヲ受クルトキ
 - 五、競賣ノ開始アリタルトキ
 - 六、法人カ解散ヲ爲シタルトキ
 - 七、納税人脫稅又ハ逋稅ヲ謀ルノ所爲アリト認ムルトキ
- 第四條ノ二 前條第二號乃至第五號ノ場合ニ於テ徵收スヘキ國稅ハ府縣稅其ノ他ノ公課ノ督促手數料、延滞金及滯納處分費強制執行費用、破産手續上ノ費用又ハ競賣費用ニ先チテ之ヲ徵收セス(同上及四)

(十四年三月法律第三十七號改正)

督促手數料、延滞金及滯納處分費ハ國稅其ノ他總テノ公課及債權ニ先チテ之ヲ徵收ス但シ第四條ノ一第二號乃至第五號ノ場合ニ於ケル府縣稅其ノ他ノ公課ノ督促手數料、延滞金及滯納處分費、強制執行費用、破産手續上ノ費用又ハ競賣費用ニ先チテ之ヲ徵收セス

第四條ノ三 相續開始ノ場合ニ於テハ國稅、督促手數料、延滞金及滯納處分費ハ相續財團又ハ相續人ヨリ之ヲ徵收ス但シ戸主ノ死亡以外ノ原因ニ依リ家督相續ノ開始アリタルトキハ被相續人ヨリモ之ヲ徵收スルコトヲ得(同上改正)

國籍喪失ニ因ル相續人又ハ限定承認ヲ爲シタル相續人ハ相續ニ因リテ得タル財産ヲ限度トシテ國稅、督促手數料、延滞金及滯納處分費ヲ納付スルノ義務ヲ有ス(同上改正)

第四條ノ四 共有物、共同事業又ハ共同事業ニ因リ生シタル物件ニ係ル國稅、督促手數料、延滞金及滯納處分費ハ納稅者連帶シテ其ノ義務ヲ負擔ス(同上改正)

第四條ノ五 同年ノ地租、營業稅、所得稅、醬油稅及同酒造年度ノ

市稅及町村稅ノ徵收ニ關スル件

酒造税ニシテ既納ノ税金過納ナルトキハ爾後ノ納期ニ於テ徴收ス
ヘキ同一税目ノ税金充ニツルコトヲ得(三十五年三月法律第三十六號改正)

第四條ノ六 納税義務者納税地ニ住所又ハ居所ヲ有セサルトキハ納
税ニ關スル事項ヲ處理セシムル爲納税管理人ヲ定メ政府ニ申告ス
ヘシ其納税管理人ヲ變更シタルトキ亦同シ但シ他ノ法令ニ特別ノ
規定アルモノハ各其ノ法令ニ依ル(同上改正)

第四條ノ七 納税ノ告知、督促及滞納處分ニ關スル書類ハ名宛人ノ
住所又ハ居所ニ送達ス名宛人カ相續財團ニシテ財産管理人アルト
キハ財産管理人ノ住所又ハ居所ニ送達ス(同上改正)

納税管理人アルトキハ納税ノ告知及督促ニ關スル書類ニ限り其住
所又ハ居所ニ送達ス(同上改正)

第四條ノ八 書類ノ送達ヲ受クヘキ者其ノ住所又ハ居所ニ於テ書類
ノ受取ヲ拒ミタルトキ又ハ帝國內ニ住所、居所アラサルトキ若ク
ハ其住所、居所共ニ不明ナルトキハ書類ノ要旨ヲ公告シ公告ノ初
日ヨリ七日ヲ經過シタルトキハ書類ノ送達アリタルモノト看做ス

(同上及三十八年三月法律第四十六號改正)

市町村吏員ノ賠償責任並身元保證ニ關スル件

(明治四十四年九月勅令第二百四十五號)

第一條 市町村吏員其管掌ニ屬スル現金證券其ノ他ノ財産ヲ亡失又ハ
毀損シタルトキハ市町村ハ期間ヲ指定シ其ノ損害ヲ賠償セシムヘシ
但シ避クヘカラサル事故ニ原因シタルトキ又ハ他ノ者ノ使用ニ供シ
タル場合ニ於テ合規ノ監督ヲ怠ラザリシトキハ市町村ハ其賠償ヲ免
除スヘシ

第二條 收入役副收入役若クハ收入役代理者又ハ收入役ノ事務ヲ兼掌
スル市町村長若クハ助役ハ市制第三百二十九條第二項町村制第一百九條
第二項ノ規定ニ違反シテ支出ヲ爲シタルトキハ市町村ハ期間ヲ指定
シ之ニ因リテ生シタル損害ヲ賠償セシムヘシ區收入役區副收入役又
ハ區收入役代理者ニ付亦同シ

第三條 市町村吏員其執務上必要ナル物品ノ交付ヲ受ケ故意又ハ怠慢
ニ因リ之ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ市町村ハ期間ヲ指定シ其損害
ヲ賠償セシムヘシ

第四條 前三條ノ處分ヲ受ケタル者其處分ニ不服アルトキハ府縣參事

市町村吏員ノ賠償責任並身元保證ニ關スル件

會ニ訴願シ其裁決ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得
前項ノ裁決ニ付テハ府縣知事又ハ市町村長ヨリモ訴訟ヲ提起スルコ
トヲ得

前二項ノ訴願及訴訟ノ提起期間ハ市制第六十條町村制第四百十條
ノ例ニ依ル

第五條 賠償金ノ徵收ニ關シテハ市制第三百三十一條町村制第一百一條
ノ例ニ依ル

第六條 市町村吏員ニ對シ身元保證ヲ徵スルノ必要アリト認メタルト
キハ市町村ハ第一次監督官廳ノ許可ヲ得テ其種類、價格、程度其他
必要ナル事項ヲ定ムヘシ

第七條 本令中市町村ニ關スル規定ハ市制第六條ノ市ノ區並市制第百
四十四條ノ市ノ一部及町村制第二百二十四條ノ町村ノ一部ニ之ヲ準用
ス

附 則

本令ハ明治四十四年十月一日ヨリ之ヲ施行ス
市制町村制施行前市町村吏員ノ賠償責任ニ付府縣參事會又ハ郡參事會
ノ爲シタル裁決ニ關シテハ従前ノ例ニ依ル

市町村、市町村組合及町村組合ノ廢置
分合等ノ場合ニ於ケル事務ニ關スル件

(明治四十四年九月
勅令第二百四十八號)

第一條 新ニ市町村ヲ置キタル場合ニ於テハ市町村長ノ臨時代表者又
ハ職務管掌ノ官吏ハ歲入出豫算カ市町村會ノ議決ヲ經テ成立スルニ
至ル迄ノ間必要ナル收支ニ付豫算ヲ設ケ第一次監督官廳ノ許可ヲ受
クヘシ

第二條 市町村ノ廢置分合アリタル場合ニ於テハ其ノ地域ノ新ニ屬シ
タル市町村其ノ事務ヲ承繼ス其ノ地域ニ依リ難キトキハ府縣知事ハ
事務ノ分界ヲ定メ又ハ承繼スヘキ市町村ヲ指定ス
前項ノ場合ニ於テ消滅シタル市町村ノ收支ハ消滅ノ日ヲ以テ打切り
其ノ市町村長タリシ者又ハ其職務ヲ行ヒタル者之ヲ決算ス

前項ノ決算ハ事務ヲ承繼シタル各市町村ノ市町村長之ヲ市町村會ノ
認定ニ附スヘシ
市制第四百二十二條第三項町村制第二百二十二條第四項ノ規定ハ前項ノ
場合ニ之ヲ準用ス

第三條 市町村ノ境界變更アリタル爲事務ノ分割ヲ要スルトキハ其ノ

市町村、市町村組合及町村組合ノ廢置
分合等ノ場合ニ於ケル事務ニ關スル件

事務ノ承繼ニ付テハ府縣知事之ヲ定ム

第四條 市町村組合町村組合、又ハ市制第六條ノ市ノ區ニ關シテハ本令ノ規定ヲ準用ス但シ市町村組合又ハ町村組合ニ付組合規約ニ別段ノ規定アルトキハ此ノ限ニ在ラス

附 則

本令ハ明治四十四年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

參照

町村制第百五十六條

市町村財務規程

(明治四十四年九月
內務省令第十五號)

第一條 市町村稅其ノ他一切ノ收入ヲ歲入トシ一切ノ經費ヲ歲出トシ歲入歲出ハ豫算ニ編入スヘシ

第二條 各年度ニ於テ決定シタル歲入ヲ以テ他ノ年度ニ屬スヘキ歲出ニ充ツルコトヲ得ス

第三條 歲入ノ年度所屬ハ左ノ區分ニ依ル

一、市町村條例又ハ豫メ市町村會ノ議決ヲ以テ納期ヲ定メタル收入

ハ其納期末日ノ屬スル年度

二、定期ニ賦課スルコトヲ得サルカ爲特ニ納期ヲ定メタル收入又ハ隨時ノ收入ニシテ徵稅令書又ハ納額告知書ヲ發スルモノハ徵稅令書又ハ納額告知書ヲ發シタル日ノ屬スル年度

三、隨時ノ收入ニシテ納額告知書ヲ發セサルモノハ領收ヲ爲シタル日ノ屬スル年度

第四條 歲出ノ所屬年度ハ左ノ區分ニ依ル

一、費用辨償、報酬、給料、旅費、退隱料、退職給與金、死亡給與金、遺族扶助料、其ノ他ノ給與、傭人料ノ類ハ其ノ支給スヘキ事實ノ生シタル時ノ屬スル年度但シ別ニ定マリタル支拂期日アルトキハ其ノ支拂期日ノ屬スル年度

二、通信運搬費、土木建築費其ノ他物件ノ購入代價ノ類ハ契約ヲ爲シタル時ノ屬スル年度但シ契約ニ依リ定メタル支拂期日アルトキハ其ノ支拂期日ノ屬スル年度

三、缺損補填ハ其補填ノ決定ヲ爲シタル日ノ屬スル年度

四、前各號ニ掲クルモノヲ除クノ外ハ總テ支拂命令ヲ發シタル日ノ屬スル年度

第五條 各年度ニ於テ歲計ニ剩餘アルトキハ翌年度ノ歲入ニ編入スヘシ但シ市町村條例ノ規定又ハ市町村會ノ議決ニ依リ剩餘金ノ全部又ハ一部ヲ基本財産ニ編入スル場合ニ於テハ繰越ヲ要セス之カ支出ヲ爲スコトヲ得

第六條 市町村税ハ徵稅令書ニ依リ使用料、手数料及物件ノ賃貸料ハ納額告知書ニ依リ之ヲ徵收ス

前項以外ノ收入ハ納付書ニ依リ收入ス

第七條 支出ハ債主ニ對スルニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第八條 左ノ經費ハ現金前渡ヲ爲スコトヲ得

一、市町村債ノ元利支拂

二、外國ニ於テ物品ヲ購入スル爲必要ナル經費

三、市町村外遠隔ノ地ニ於テ支拂ヲ必要トスル經費

前項ノ現金前渡ハ市町村吏員以外ノ者ニ之ヲ爲スコトヲ得

第九條 左ノ經費ハ概算拂ヲ爲スコトヲ得

一、旅費

二、訴訟費用

第十條 官報其ノ他前金支拂ニ非サレハ購入又ハ借入ノ契約ヲ爲シ難

キモノニ限リ前金拂ヲ爲スコトヲ得

第十一條 前三條ニ掲クルモノ、外必要アルトキハ市町村ハ府縣知事ノ許可ヲ得テ現金前渡、概算拂又ハ前金拂ヲ爲スコトヲ得

第十二條 歲入ノ誤納過納ト爲リタル金額ノ拂戻ハ各之ヲ收入シタル歲入ヨリ支拂フヘシ

歲出ノ誤拂過拂ト爲リタル金額、現金前渡、前金拂、概算拂及繰替拂ノ返納ハ各之ヲ支拂タル經費ノ定額ニ戻入スヘシ

第十三條 出納閉鎖後ノ收入支出ハ之ヲ現年度ノ歲入歲出ト爲スヘシ前條ノ拂戻金、戻入金ノ出納閉鎖後ニ係ルモノ亦同シ

第十四條 繼續費ハ毎年度ノ支拂殘額ヲ繼續年度ノ終リ迄遞次繰越使用スルコトヲ得

第十五條 歲入歲出豫算ハ必要アルトキハ經常臨時ノ二部ニ別ツヘシ歲入歲出豫算ハ之ヲ款項ニ區分スヘシ

第十六條 歲入歲出豫算ニハ豫算説明ヲ付スヘシ

第十七條 特別會計ニ屬スル歲入歲出ハ別ニ其ノ豫算ヲ調製スヘシ
第十八條 豫算ハ會計年度經過後ニ於テ更正又ハ追加ヲ爲スコトヲ得ス

第十九條 豫算ニ定メタル各款ハ彼是流用スルコトヲ得ス豫算各項ノ金額ハ市町村會ノ議決ヲ經テ之ヲ流用スルコトヲ得

第二十條 決算ハ豫算ト同一ノ區分ニ依リ之ヲ調製シ豫算ニ對スル過不足ノ説明ヲ付スヘシ

第二十一條 會計年度經過後ニ至リ歲入ヲ以テ歲出ニ充ツルニ足ラサルトキハ第一次監督官廳ノ許可ヲ得テ翌年度ノ歲入ヲ繰上ケ之ニ充用スルコトヲ得

第二十二條 市ハ歲入歲出ニ屬スル公金ノ受拂ニ付郵便振替貯金ノ法ニ依ルコトヲ得

第二十三條 市町村ハ現金ノ出納及保管ノ爲市町村金庫ヲ置クコトヲ得

第二十四條 金庫事務ノ取扱ヲ爲サシムヘキ銀行ハ市町村會之ヲ定ム

第二十五條 金庫ハ收入役ノ通知アルニ非サレハ現金ノ出納ヲ爲スコトヲ得ス

第二十六條 金庫事務ノ取扱ヲ爲ス者ハ現金ノ出納保管ニ付市町村ニ對シテ責任ヲ有ス

第二十七條 金庫事務ノ取扱ヲ爲ス者ノ保管スル現金ハ市町村ノ歲入

歲出ニ屬スルモノニ限リ支出ニ妨ケナキ限度ニ於テ市町村ハ其運用ヲ許スコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ金庫事務ノ取扱ヲ爲ス者ハ市町村ノ定ムル所ニ依リ利子ヲ市町村ニ納付スヘシ

第二十八條 市町村ハ金庫事務ノ取扱ヲ爲ス者ヨリ擔保ヲ徵スヘシ其ノ種類價格及程度ニ關シテハ第一次監督官廳ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス

第二十九條 收入役ハ定期及臨時ニ金庫ノ現金帳簿ヲ検査スヘシ

第三十條 本令ニ規定スルモノ、外市町村ハ府縣知事ノ許可ヲ得テ必要ナル規定ヲ設クルコトヲ得

附 則

本令ハ明治四十四年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

參照

町村制百二十三條

市町村吏員服務紀律

(明治四十四年四月九日
內務省令第十六號)

市町村吏員服務紀律

第一條 市町村吏員ハ忠實勤勉ヲ旨トシ法令ニ從ヒ其ノ職務ニ盡スベシ

第二條 市町村吏員ハ職務ノ内外ヲ問ハズ廉恥ヲ破リ其ノ他品位ヲ傷フノ所爲アルヘカス

市町村吏員ハ職務ノ内外ヲ問ハズ職權ヲ濫用セス懇切公平ナルコトヲ務ムヘシ

第三條 市町村吏員ハ總テ公務ニ關スル機密ヲ私ニ漏洩シ又ハ未發ノ事件又ハ文書ヲ私ニ漏示スルコトヲ得ス其ノ職ヲ退クノ後ニ於テモ亦同シ

裁判所ノ召喚ニ依リ證人又ハ鑑定人ト爲リ職務上ノ秘密ニ就キ訊問ヲ受クルトキハ指揮監督者ノ許可ヲ得タル件ニ限り供述スルコトヲ得事實參考ノ爲訊問ヲ受ケタル者ニ付テモ亦同シ

前項ノ場合ニ於テ市町村吏員ノ掌ル國府縣其ノ他公共團體ノ事務ニ付テハ國府縣其ノ他公共團體ノ代表者ノ許可又ハ承認ヲ得ルコトヲ要ス

第四條 市町村吏員ハ其ノ職務ニ關シ直接ト間接トヲ問ハズ自己若ハ其他ノ者ノ爲ニ贈與其ノ他ノ利益ヲ供給セシムルノ約束ヲ爲スコト

ヲ得ス

市町村吏員ハ指揮監督者ノ許可ヲ受クルニ非サレハ其ノ職務ニ關シ直接ト間接トヲ問ハズ自己若ハ其ノ他ノ者ノ爲ニ贈與其ノ他ノ利益ヲ受クルコトヲ得ス

第五條 左ニ掲クル者ト直接ニ關係ノ職務ニ在ル市町村吏員ハ其ノ者又ハ其ノ他ノ爲ニスル者ノ饗嚙ヲ受クルコトヲ得ス

一、市町村ニ對シ工事ノ請負又ハ物件勞力供給ノ契約ヲ爲ス者

二、市町村ニ關スル金錢ノ出納保管ヲ擔任スル者

三、市町村ヨリ補助金又ハ利益ノ保證ヲ受クル起業者

四、市町村ト土地物件ノ賣買贈與貸借又ハ交換ノ契約ヲ爲ス者

五、其ノ他市町村ヨリ現ニ利益ヲ得又ハ得ムトスル者

附則

本令ハ明治四十四年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

參照

町村市第百五十一條

市町村吏員事務引繼ニ關スル件

(明治四十四年九月
内務省令第十七號)

- 第一條 市町村長更迭ノ場合ニ於テハ前任者ハ退職ノ日ヨリ十日以内ニ其ノ擔任スル事務ヲ後任者ニ引繼クヘシ後任者ニ引繼クコトヲ得サル事情アルトキハ助役ニ引繼クヘシ此ノ場合ニ於テハ助役ハ後任者ニ引繼クコトヲ得ルニ至リタルトキハ直ニ後任者ニ引繼クヘシ
- 前項引繼ノ場合ニハ書類帳簿及財産ノ目錄ヲ調製シ處分未濟若ハ未著手又ハ將來企畫スヘキ見込ノ事項ニ付テハ其ノ順序方法及意見ヲ記載スルコトヲ要ス
- 第一項ノ期間内ニ引繼ヲ了スルコトヲ得サルトキハ其ノ事由ヲ具シ第一次監督官廳ノ許可ヲ受クヘシ
- 第二條 助役退職ノ場合ニ於テ其ノ分掌事務アルトハ之ヲ市町村長ニ引繼クヘシ前項ノ規定ハ此ノ場合ニ之ヲ準用ス
- 第三條 收入役交迭ノ場合ニ於テハ前任者ハ退職ノ日ヨリ十日以内ニ其ノ擔任スル事務ヲ後任者ニ引繼クヘシ後任者ニ引繼クコトヲ得サル事情アルトキハ副收入役又ハ收入役代理者ニ引繼クヘシ此ノ場合ニ於テハ副收入役又ハ收入役代理者ハ後任者ニ引繼クコトヲ得ルニ

- 至リタルトキハ直ニ後任者ニ引繼クヘシ
- 前項引繼ノ場合ニハ現金書類帳簿其ノ他ノ物件ニ付テハ各目録ヲ調製シ仍現金ニ付テハ各帳簿ニ對照シタル明細書ヲ添付シ帳簿ニ付テハ事務引繼ノ日ニ於テ最終記帳ノ次ニ合計高及年月日ヲ記入シ且引繼ヲ爲ス者及引繼ヲ受クル者連署スヘシ
- 第四條 副收入役退職ノ場合ニ於テ其ノ分掌事務アルトキハ之ヲ收入役ニ引繼クヘシ前條ノ規定ハ此場合ニ之ヲ準用ス
- 第五條 第一條、第三條又ハ前條ノ規定ハ市制第六條又ハ第八十二條第三項ノ市ノ區長若ハ區收入役ノ更迭又ハ分掌事務アル區副收入役ノ退職ノ場合ニ第二條ノ規定ハ分掌事務アル町村區長ノ退職ノ場合ニ之ヲ準用ス
- 第六條 市町村ノ廢置分合ニ依リ新ニ市町村ヲ置キタル場合ニ於テハ前市町村ノ吏員ノ擔任スル事務ハ之ヲ市町村長、收入役又ハ市町村長ノ臨時代理者若ハ職務管掌ノ官吏ニ引繼クヘシ第一條乃至第四條ノ規定ハ此ノ場合ニ之ヲ準用ス市町村ノ境界變更アリタル時亦同シ
- 第七條 前六條ノ場合ニ於テ引繼ヲ拒ミタル者ニ對シテハ市ニ在リテハ府縣知事町村ニ在リテハ郡長ハ二十五圓以下ノ過料ヲ科スルコト

ヲ得其ノ故ナク引繼ヲ遷延シタルカ爲市町村長ニ於テ期日ヲ指定シテ催告ヲ爲シ仍之ニ應セサル者ニ付亦同シ

第八條 本令ニ指定スルモノノ外必要ナル事項ハ府縣知事之ヲ定ム

附 則

本令ハ明治四十四年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

參照

町村制第百五十一條

町村吏員事務引繼ニ關スル細則

(明治四十四年十一月 埼玉縣令第六十六號)

町村吏員事務引繼ニ關スル細則左ノ通定ム

第一條 町村長更迭ノ場合ニ於テハ引繼實行ノ期日ヲ定メ豫メ郡長ニ報告スヘシ

第二條 明治四十四年^ル內務省令第十七號第一條第二項ノ書類、帳簿

目錄ハ第一號様式ニ依リ財産目錄ハ第二號様式ニ依リ調製スヘシ

第三條 退職ノ日ヨリ十日以内ニ引繼ヲ了スルコト能ハサル爲郡長ノ許可ヲ受ケントスルトキハ其事由ヲ具シ延期ノ期限ヲ定メ前任者後

任者連署シテ稟請スヘシ

第四條 町村長ノ事務ヲ引受クル者ニ於テ引繼ヲ受クヘカラスト認ムル事項アルトキハ其事由ヲ具シ速ニ郡長ノ指揮ヲ請フヘシ

第五條 前四條ノ規定ハ町村長闕員ノ場合ニ於ケル助役及分掌事務アル助役ノ引繼ニ之ヲ準用ス

第六條 町村長又ハ町村長闕員ノ場合ニ於ケル助役死亡其他ノ事故ニ因リ引繼ヲ爲スコト能ハサルトキハ町村吏員二名以上立會ノ上第二

條ノ例ニ依リ目錄ヲ調製シ助役若ハ後任者ニ於テ受繼クヘシ
前項ノ場合ニ於テ立會フヘキ町村吏員二名以上アラサルトキハ郡長ニ具狀シ其指揮ヲ受クヘシ

第七條 收入役更迭ノ場合ニ於テハ引繼實行ノ期日ヲ定メ町村長ヨリ郡長ニ報告スヘシ

第八條 明治四十四年^ル內務省令第十七號第三條第二項ノ書類、帳簿

目錄ハ第一號様式ニ準シ現金目錄ハ第三號様式ニ依リ明細書ハ第四

號様式ニ依リ調製スヘシ

第九條 收入役更迭ノ場合ニ後任者ニ於テ引繼ヲ受ケ難キ事項アルトキ又ハ前任者退職ノ日ヨリ十日以内ニ引繼ヲ了スルコト能ハサルト

キハ町村長ニ申出其指揮ヲ受クヘシ
 前項ノ場合ニ於テハ町村長ヨリ其事由ヲ具シ直ニ郡長ヘ報告スヘシ
 第十條 前三條ノ規定ハ收入役闕員ノ場合ニ於ケル副收入役、若ハ收入役代理者分掌事務アル副收入役ノ引繼ニ之ヲ準用ス
 第十一條 收入役死亡其ノ他ノ事故ニ因リ引繼ヲ爲スコト能ハサルトキハ副收入役又ハ收入役代理者ニ於テ第八條ノ例ニ依リ目錄及明細書ヲ調製シ町村長ノ檢閲ヲ得テ之ヲ受繼クヘシ
 第十二條 收入役闕員ノ場合ニ於ケル副收入役又ハ收入役代理者死亡其他ノ事故ニ因リ引繼ヲ爲スコト能ハサル場合ニ於テハ假ニ町村長若ハ町村長ノ指定シタル吏員ニ於テ金櫃及書類、帳簿ヲ保管シ後繼者定マルヲ俟テ引繼ヲ爲スヘシ
 第七條第八條第九條ノ規定ハ前項ノ引繼ニ之ヲ準用ス
 第十三條 引繼結了シタルトキハ町村長ヨリ直ニ郡長ニ報告スヘシ
 第十四條 第一條乃至第四條及第七條乃至第九條並前條ノ規定ハ町村ノ廢置分合ニ因リ新ニ町村ヲ置キタル場合ニ之ヲ準用ス町村ノ境界變更アリタルトキ亦同シ

附 則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
 (第一號様式ノ一)

帳簿及書類目錄

- 一 町(村)吏員名簿
- 一 町(村)會議員名簿
- 一 神社明細帳幅本
- 一 寺院明細帳幅本
- 一 在郷軍人名簿
- 一 明治何年度動員關係簿冊
- 一 官有地臺帳
- 一 肥料製造及販賣人臺帳
- 一 學齡簿
- 一 土地臺帳
- 一 地租名寄帳
- 一 縣稅納稅者臺帳
- 一 明治何年度國稅金收納簿
- 一 明治何年度縣稅定期徵收簿

何
 冊

町村吏員事務引繼ニ關スル細則

- 一 明治何年度町(村)徴收簿
 - 一 基本財産臺帳
 - 一 學校基本財産臺帳
 - 一 何々
 - 一 何々
- 何 何 何 何 何
括 冊 冊 冊 冊

右ノ通引繼ヲ了シ候也
年 月 日

前任 職 氏 名
後任 職 氏 名

備考 帳簿、書類ノ數多キ町村ニアリテハ帳簿ト書類ト各別ニ目錄ヲ調製スルモ妨ケナシ

(第一號様式ノ二)

證書類目錄

- 一 基本財産土地取得權利證書
 - 一 同田畑小作證書
- 何 何
通 通

- 一 同家屋賃貸證書
 - 一 何郡何村何某ト締結シタル造林地盤
 - 一 對スル地上權設定契約證書
 - 一 何々
- 何 何 何
通 通 通

右ノ通引繼ヲ了シ候也
年 月 日

前任 職 氏 名
後任 職 氏 名

(第二號様式)

財産目錄

基本財産ノ部

土地

地目	反別又ハ坪數	筆數	地目	反別又ハ坪數	筆數
田	何 程	何 筆	何々	何 程	何 筆
畑	何 程	何 筆	合計	何 程	何 筆

町村吏員事務引繼ニ關スル細則

家屋

合	何	木造瓦葺二階建	構造	坪	所在地	使用目的
計	々	何	何	何	大字何々字何々何番地	住家
何	何	程	程	何	々	何々
何	何	程	程	何	何	棟

有價證券

種	類	額	面	金額	證券	枚	數
帝國四分利公債證書	金	何	程	何	何	何	枚
第何回勸業債券	金	何	程	何	何	何	枚
何	々	金	何	程	何	何	枚
合	計	金	何	程	何	何	枚

現金

一金何程

内譯
金何程
金何程

郵便貯金
何々

右ノ通引繼ヲ了シ候也
年月日

前任 職氏名

後任 職氏名

備考 學校基本財産、罹災救助資金等ハ基本財産ノ例ニ依リ列記シ基本財産以外ノ財産
ハ土地、家屋、有價證券其他ニ區別シ列記スヘシ
(第三號様式)

現金目録

- 一金何程 國稅徵收金現在高
- 一金何程 縣稅徵收金現在高
- 一金何程 町(村)經濟收支差引現在高
- 一金何程 何々 現在高

町村吏員事務引繼ニ關スル細則

計	何々	役場費	科目		現在高
			豫算額	支拂濟額	

歳入歳出差引殘金何程

右ノ通引繼ヲ了シ候也

年月日

前任

職氏名

後任

職氏名

備考 國稅、縣稅ハ其徵收及納付完了セサルモノノミヲ掲クヘシ
 町村經濟ニ屬スルモノハ決算未濟ノ年度ヲ揚ケニケ年度分アルトキハ年度毎ニ掲
 記スヘシ
 町村組合費、水利組合等ニシテ自村長ノ管理ニ屬スルモノハ町村經濟ノ例ニ準シ
 勉ノ管理ニ屬スルモノハ國、縣稅ノ例ニ準シ掲記スヘシ

市町村會議員選舉人名簿及選舉錄書式

(明治四十四年九月
 內務省訓令第十號)

市町村會議員選舉人名簿及選舉錄ハ左ノ書式ニ依リ調製セシムヘシ

選舉人名簿書式

直明 接治 市(町村)	納 稅 額 度	市(町村) 公 民	住 所	出 生 年 月 日	氏 名	直明 接治 市(町村)	納 稅 額 度	市(町村) 公 民	住 所	出 生 年 月 日	氏 名

備考

市町村會議員選舉人名簿及選舉錄書式

一 第一欄

イ、選舉人名簿調製期日ノ屬スル會計年度ノ前年度ノ直接市町村稅賦課額ヲ記載ス

ロ、市制第十四條第一項乃至第三項町村制第十二條第一項乃至第三項ノ規定ニ依リ選舉權ヲ有スル者ニシテ直接市町村稅納額ノ多キ者ヨリ順次ニ列記シ納額同シキモノハ其ノ市町村内ニ住所ヲ有スル年數ノ多キ者ヨリ順次ニ列記シ住所ヲ有スル年數同シキモノハ年齡ニ依リ年齡ニ依リ難キモノハ市町村長抽籤ヲ以テ定ムル所ニ依リ記載ス

ハ、單ニ市制第七十六條第七十九條第二項町村制第六十三條第四項第六十七條第五項ノ規定ニ依リ公民タル者ニ付テハ記載ヲ省キ末尾ニ其ノ氏名ヲ記載ス

二 第二欄

イ、市制第十四條第二項第三項町村制第十二條第二項第三項ノ規定ニ依リ選舉權ヲ有スル者ニ付テハ「無」ト記載ス

ロ、市制第九條第二項町村制第七條第二項ノ規定ニ依ル者ニ付テハ「特免」ト記載ス

三 第三欄

ハ、市制第七十六條第七十九條第二項町村制第六十三條第四項第六十七條第五項ノ規定ニ依リ公民タル者ニ付テハ其ノ職名(市長、有給市參與、市ノ助役、收入役、有給町村長、町村ノ有給助役、收入役)ヲ記載ス

イ、住所ノ大字名(又ハ市内ノ町名)番地ヲ記載ス但シ公法人ニ付テハ之ヲ闕キ私法人ニ付テハ民法ニ依ルモノハ主タル事務所ノ所在地商法ニ依ルモノハ本店ノ所在地ニ依ル

ロ、市制第十四條第二項第三項町村制第十二條第二項第三項ノ規定ニ依リ選舉權ヲ有スル者ニシテ他市町村ニ住所ヲ有スルモノハ其ノ府縣郡市町村及大字名(又ハ市内ノ町名)番地ヲ記載ス

四、選舉人ノ納ムル直接市町村稅ヲ總計シ納額最多キ者ヨリ其ノ總額ヲ等級ノ數ニ分チタル額ニ當ル迄ノ者、若其ノ人員議員定數ヲ等級ノ數ニ分チタル數ヨリ少キトキハ納額最多キ者ヨリ其ノ數ト同數ニ至ル迄ノ者ヲ以テ一級選舉人トシ仍市ニ於テハ一級選舉人ヲ除クノ外直接市稅納額最多キ者ヨリ直接市稅ノ總額中一級選舉人ノ納ムル額ヲ除キ其ノ殘額ノ半ニ當ル迄ノ者、若其ノ人員議員定數ノ三分ノ

- 一ヨリ少キトキハ納額多キ者ヨリ其ノ數ト同數ニ至ル迄ノ者ヲ以テ
- 二級選舉人トシ爾餘ノ選舉人ヲ三級選舉人トス町村ニ於テハ一級選
- 舉人ヲ除キ爾餘ノ選舉人ヲ二級選舉人トス
- 選舉人ノ總數及直接市町村稅ノ納稅總額并各級ニ屬スル選舉人員及
- 其ノ直接市町村稅ノ納額ハ之ヲ名簿ノ末尾ニ附記ス
- 五 直接市町村稅ヲ賦課セサル市町村ニ於テハ其ノ市町村ニ於テ納ム
- ル直接國稅額ニ依ル
- 六 選舉人名簿ヲ調製シタルトキハ其ノ末尾ニ左ノ如ク記載ス
- 本名簿ハ明治 年 月 日ノ現在ニ依リ之ヲ調製シタリ
- 某 市(町村)長 氏 名 印
- 七 選舉人名簿ヲ縱覽ニ供シタルトキハ其ノ末尾ニ左ノ如ク記載ス
- 本名簿ハ明治 年 月 日ヨリ七日間市役所(町村役場又ハ何ノ場
- 所)ニ於テ之ヲ關係者ノ縱覽ニ供シタリ
- 某 市(町村)長 氏 名 印
- 八 選舉人名簿ヲ修正シタルトキハ其ノ年月日及事由ヲ欄外ニ記載シ
- 市町村長檢印ス
- 九 選舉人名簿ノ確定シタルトキハ其ノ末尾ニ左ノ如ク記載ス

本名簿ハ明治 年 月 日ヲ以テ確定シタリ

某 市(町村)長 氏 名 印

十 選舉ヲ終リタル後ニ於テ次ノ選舉ノ爲確定名簿ヲ修正シタルトキ

ハ八ノ取扱ヲ爲スノ外名簿ノ末尾ニ左ノ如ク記載ス

本名簿ハ明治 年 月 日迄ニ修正シタリ

某 市(町村)長 氏 名 印

十一 市ニ於テ選舉區アルトキハ前各項ニ準シ各選舉區毎ニ名簿調ヲ

製シ市町村ニ於テ選舉分會ヲ設ケタルトキハ別ニ分會ノ區劃毎ニ名

簿ノ抄本ヲ調製ス

選舉錄書式

某市(町村)會議員何級總選舉(補闕又ハ増員選舉)會選舉錄

一 某市(町村)會議員何級總選舉(補闕又ハ増員選舉)ニ付議員若干人

選舉ノ爲本市役所(町村役場又ハ何ノ場所)ニ選舉會場ヲ設ケタリ

二 左ノ選舉立會人ハ孰レモ投票時刻迄ニ選舉會場ニ參會シタリ

氏 氏 氏
名 名 名

氏名

投票時刻ニ至リ選舉立會人中何人參會セサルニ依リ市長(町村長)ハ臨時ニ選舉人中ヨリ左ノ者ヲ選舉立會人ニ選任シタリ

氏名

三 選舉會ハ明治何年何月何日年前(午後)何時ニ之ヲ開キタリ

四 選舉長ハ選舉立會人ト共ニ投票ニ先チ選舉會場ニ參集シタル選舉人ノ面前ニ於テ投票函ヲ開キ其ノ空虛ナルコトヲ示シタル後蓋ヲ鎖シ選舉長及選舉立會人ノ列席スル面前ニ之ヲ置キタリ

五 確定名簿登錄セラレタル何級選舉人ノ數ハ其ノ選舉スヘキ議員數ノ三倍ヨリ少キヲ以テ連名投票ノ法ヲ用タリ

六 選舉長及選舉立會人ノ面前ニ於テ選舉人ヲシテ逐次其ノ氏名ヲ自唱セシメ選舉人名簿ニ對照シタル後投票用紙ヲ交付シタリ

七 選舉立會人中氏名ハ一旦參會シタルモ午前(午後)何時何々ノ事故ヲ以テ其ノ職ヲ辭シタル爲其ノ定數ヲ闕キタルニ依リ市長(町村長)ハ臨時ニ選舉人中ヨリ午前(午後)何時左ノ者ヲ選舉立會人ニ選任シタリ

八 選舉立會人中氏名ハ一旦參會シタルモ午前(午後)何時何々ノ事故ヲ以テ其ノ職ヲ辭シタルモ尙選舉立會人ハ二人(又ハ三人)在リ而モ市長(町村長)ニ於テ其ノ闕員ヲ補フノ必要ナキニ至レルヲ認め特ニ其ノ補闕ヲ爲ササル旨ヲ宣言シタリ

九 左ノ選舉人ハ選舉人名簿ニ登錄ナキモ之ニ登錄セララルヘキ確定裁決書(又ハ判決書)ヲ所持シタルニ依リ之ヲシテ投票セシメタリ

十 左ノ選舉人ハ何々ノ事由ニ依リ(例ヘハ代人ヲ出シテ投票セントスルモ其代人ニ於テ委任狀又ハ代理ヲ證スル書面ヲ選舉長ニ示ササルニ依リノ如シ)選舉立會人(又ハ可否同數ナルカ爲選舉長)ノ決定ニ基キ其ノ投票ヲ拒否シタリ

十一 左ノ選舉人ハ選舉會場ニ於テ演說討論ヲ爲シ(喧擾ニ涉リ)(投票ニ關シ協議若ハ勸誘ヲ爲シ)(何々ニ因リ)選舉會場ノ秩序ヲ紊シ

氏名

タルニ依リ選舉長ニ於テ之ヲ制止シタルモ其ノ命ニ從ハサルヲ以テ
投票用紙ヲ取上ケ之ヲ選舉會場外ニ退出セシメタリ

氏名

十二 選舉長ハ午前(午後)何時選舉會場ノ秩序ヲ紊スノ虞ナシト認メ
(又ハ選舉會場ノ入口ヲ閉鎖スルニ先チ)選舉會場外ニ退出ヲ命シタ
ル選舉人ニ對シ入場ヲ許シタルニ左ノ選舉人入場シタルヲ以テ投票
セシメタリ

氏名

十三 午前(午後)何時ニ至リ選舉長ハ投票時間ヲ終リタル由ヲ告ケ選
舉會場ノ入口ヲ閉鎖シタリ

十四 午前(午後)何時選舉會場ニ在ル選舉人ノ投票終了シタルヲ以テ
選舉長ハ選舉立會人ト共ニ投票函ノ投票口ヲ鎖シタリ

十五 各選舉分會ヨリ投票函等左ノ如ク到著セリ

第一(又ハ何)選舉分會ノ投票函ハ分會長職氏名及選舉立會人氏名携
帶シ午前(午後)何時著之ヲ檢スルニ異狀ナシ

第二(又ハ何)選舉分會ノ投票函ハ何々

十六 選舉長ハ選舉立會人立會ノ上投票函ヲ開キ(本會及各選舉分會

ノ投票函ヲ開キ投票ヲ混同シ)其ノ投票ヲ點檢スルニ左ノ如シ

投票總數

何票

有効投票

何票

無効投票

何票

内

一 成規ノ用紙ヲ用キサルモノ 何票

二

三

四

五

六

連名投票ニ付テハ市制第二十八條第二項町村制第二十五條第
二項ノ規定ニ依リ其ノ無効又ハ投票中無効ト爲シタル部分ノ
事由及其ノ區分ヲ記載スヘシ

十七 有効投票ノ内得票者ノ氏名及其ノ得票數左ノ如シ

何票 氏名
何票 氏名
何票 氏名

市町村會議員選舉人名簿及選舉錄書式

十八 何級ニ於テ選舉スヘキ議員數何人ヲ以テ選舉人名簿ニ記載セラレタル何級ノ人員數何人ヲ除シテ得タル數ハ何人ニシテ此ノ七分ノ一ノ數ハ何票ナリ得票者中此ノ數ニ達スルモノヲ舉クレハ左ノ如シ

何票 氏名
何票 氏名

右ノ内有効投票ノ最多數ヲ得タル左ノ何人ヲ以テ當選者トス

氏名 氏名

但シ氏名及氏名ハ得票ノ數同シキニ依リ其ノ出生年月日ヲ調査スルニ氏名ハ何年何月何日生氏名ハ何年何月何日生ニシテ氏名年長者ナルヲ以テ則チ氏名ヲ以テ當選者ト定メタリ(同年月日ナルヲ以テ選舉長ニ於テ抽籤シタルニ氏名當籤セリ依テ氏名ヲ以テ當選者ト定メタリ)

十九 選舉長ハ投票ノ有効無効ヲ區別シ各別ニ之ヲ括束シ更ニ之ヲ封筒ニ入レ選舉立會人ト共ニ之ヲ封印シタリ

二十 左ノ者ハ選舉會場ノ事務ニ從事シタリ
職氏 名

二十一 選舉會場ニ臨監シタル官吏左ノ如シ
職氏 名

二十二 午前(午後)何時選舉事務ヲ了シ選舉會ヲ閉チタリ
官職氏名
選舉長ハ此ノ選舉錄ヲ作り之ヲ朗讀シタル上選舉立會人ト共ニ茲ニ署名ス

明治何年何月何日

選舉長

某市長(町村長) 氏名

選舉立會人

氏名 氏名

備考

- 一 選舉錄ハ各級毎ニ之ヲ調製スヘシ
- 二 選舉區アルトキ又ハ選舉分會ヲ設ケタルトキハ此ノ書式ニ準スヘシ但シ分會ノ選舉ニ在リテハ投票函ノ儘本會ニ送致スヘキヲ以テ開票ニ關スル事項ハ固ヨリ之ヲ記載スヘキニ非ス

市町村會議員選舉人名簿及選舉錄書式

三 書式ニ掲クル事項ノ外選舉長ニ於テ選舉ニ關シ緊要ト認ムル事項アルトキハ之ヲ記載スヘシ

參照

町村制第十八條同第二十八條

町村會議員選舉人名簿及選舉錄書式

(明治四十四年十月 埼玉縣訓令第三十九號)

町村會議員選舉人名簿及選舉錄ハ左ノ書式ニ依リ調製スヘシ

明治二十二年^三埼玉縣訓令第二十二號ハ廢止ス

選舉人名簿書式(用紙美濃全紙)(以下內務省訓令第十號ト同一ナルヲ以テ略ス)

町村會議錄樣式

(明治四十四年十一月 埼玉縣訓令第四十五號)

町村會議錄ハ左ノ樣式ニ依リ調製セシムヘシ

明治二十六年^三埼玉縣訓令第二百三十九號町村簿冊員數樣式準則中町村會議事錄ニ關スル部分ハ之ヲ廢止ス

(第一例)

何郡何町(村)會議錄

明治何年何月何日

招集ニ應シ參會シタル議員何名其ノ氏名左ノ如シ

不參議員何名其ノ氏名左ノ如シ

何 何 何 何
某 某 某 某

會議事件左ノ如シ

- 一、明治何年度歲入歲出豫算案
- 二、助役ヲ定ムル件
- 三、何區長選舉
- 四、何々委員選舉
- 五、何々^(官)聽^(官)ヨリ諮問ニ係ル何々ノ件意見答申案
- 六、何々

午前(後)何時町(村)長何某(代理トシテ助役何某)議場ニ臨ミ開會ノ旨

町村會議員選舉人名簿及選舉錄書式
町村會議錄樣式

午後何時散會

明治何年何月何日

午前(後)何時開議

出席議員何名其氏名左ノ如シ

何 何 何
某某某

町村制第四十六條ニ依リ議事ニ參與シタル者左ノ如シ

職 氏 氏
(職) 氏 名 名

一何々委員何名選舉

本件ハ本會ノ議決ヲ以テ指名推選ノ法ヲ用キ左ノ者ヲ推選セリ

何 何
某某

(本件ハ本會ノ議決ヲ以テ連名投票ノ法ヲ用キ投票シタルニ其結果左ノ如シ)

(何 點) (何 某)

(何 點) (何 點)

(何 某) (何 某)

(依テ有効投票ノ過半數ヲ得タル何某何某ヲ以テ當選トス)

一何々(廳)ヨリ諮問ニ係ル何々ノ件答申案

本案ハ何々ノ理由ニ依リ云々ノ意見ヲ答申スルコトニ決ス
午前(後)何時町(村)長何某代理助役何某閉會ノ旨ヲ告ケタリ
右會議ノ正當ナルヲ證スル爲メ議長及議員何名(二名以上)署名ス

議長 職 氏 名
議員 何 何 某
同 何 某

(第二例)

何郡何町(村)會議錄

明治何年何月何日

一 招集

告示第何號

本年何月何日町(村)會ヲ招集シ同日ヨリ町(村)會ヲ開ク(其會期ハ何日間トシ)會議事件左ノ如シ

町村會議錄樣式

- 年月日 何町(村)長 氏名
- 一 明治何年度本町(村)歳入歳出豫算案
 - 二 何々(官廳)ヨリ諮問ニ係ル何々ノ件ニ對スル意見答申案
 - 三 何々選舉
 - 四 何々
 - 二 參着シタル議員左ノ如シ

- 三 不參議員左ノ如シ
- 何 何 何 何
- 某某某 某某某 某某某

- 四 開會
- 午前(後)何時町(村)長(代理助役)何某議場ニ臨ミ開會ノ旨ヲ告ケ
タリ
- 五 抽籤ヲ以テ議員ノ席次ヲ左ノ通定ム
- 壹 番 何 何 某某
- 貳 番 何 何 某某

參 番

(五本日の議事日程)

- 1 歳出經常部第一款役場費
 - 2 同第二款土木費
- 出席議員何名其氏名左ノ如シ
- 何 番 何 何 何 同 第一讀會
- 某某 某某 某某

七町村制第四十六條ニ依リ議事ニ參與スル爲町(村)長ヨリ委任又ハ
囑託ヲ受ケタル者左ノ如シ

職 氏 職 氏
名 名

- 八 議員ノ異動
- 議員何某退職ニ付其補闕選舉ニ當選シタル者左ノ如シ
- 九 本會ノ書記左ノ如シ
- 何 某 何 某

十會議錄署名議員出納検査委員ノ選舉

何 某

本會ノ議決ニ依リ議長指名ヲ以テ左ノ者ヲ推選セリ

何 番 何 番 何 番 何 某

十一町村制第四十六條ニ依リ議事ニ參與シタル者左ノ如シ

職 氏 職 氏 名 名

十二會議ニ附シタル議題

1 歲出經常部第一款役場費 第一讀會

2 同第二款土木費 同

十三表 決 原案可決

1 歲出經常部第一款役場費 同

2 同第二款土木費 同

十四次日ノ議事日程 第二讀會

1 歲出經常部第一款役場費

2 何々選舉

3 何々

十五散會

午前(後)何時散會

明治何年何月何日

一會 議

午前(後)何時開議

出席議員何名其氏名左ノ如シ

何 番 何 何 番 何 何 番 何 某 某 某

二町村制第四十六條ニ依リ議事ニ參與シタル者左ノ如シ

職 氏 職 氏 名 名 (職) 氏 名

三會議ニ附シタル事件

1 何々選舉

2 何々(官廳)ヨリ諮問ニ係ル何々ノ件ニ對スル意見答申案

3何々

四動議

1何番「何々議員」ハ緊急動議トシテ日程ヲ變更シ歲出第一款役場費ノ第二讀會ヲ次日ニ繰下ケ何々選舉ヲ第一トシ以下順次議セントノ動議ヲ提出シ過半數ノ賛成アリ日程ヲ變更セリ

2何番「何々議員」ハ何々

五表決

1何々ノ選舉ハ投票ニ依リ之ヲ行ヒシニ其結果左ノ如シ

何點

何某

何點

何某

依テ有効投票ノ過半數ヲ得タル何某當選セリ

(右ノ如ク過半數ヲ得タル者ナキニ依リ最多數ヲ得タル何某何某ノ二名ヲ取リ「最多數ヲ得タル者二名ヲ取ルニ方リ何某ト何某トハ得點同數ナルヲ以テ年長ナル何某ヲ取リ」何某何某ノ二名ニ就キ決選投票ヲ爲シタルニ其結果左ノ如シ)

(何點)

(何某)

(何點)

(何某)

(依テ多數ヲ得タル何某當選セリ)

(右ノ如ク得點同數ナルヲ以テ議長抽籤シテ何某當選セリ)

2何々(官廳)ヨリ諮問ニ係ル何々ノ件ニ對スル意見答申案

第一、二、三讀會原案可決確定

3何々

何々

六次日ノ議事日程

1歲出經常部第一款役場費

第二、三讀會

2同第二款土木費

第二讀會

3何々

何々

七散會

午前(後)何時散會

明治何年何月何日

一會議

午前(後)何時開議

出席議員何名其氏名左ノ如シ

何番何某

二 町村制第四十六條ニ依リ議事ニ參與シタル者左ノ如シ
何 番 何 某
何 番 何 某

職 氏 名
職 氏 名
(職) 氏 名

三 會議ニ附シタル議題

1 歳出經常部第一款役場費

第二、三讀會

2 同第二款土木費

第一讀會

3 何々

何々

四 動議

1 何番ハ歳出經常部第二款土木費金何千何百圓トアルヲ金何千圓トシ第何項何費金何百何拾圓トアルヲ金何百圓トシ其理由ハ第何目ノ附記ニアル何々何程ヲ削除スルニ在リトノ動議ヲ提出シ過半数ノ賛成アリ修正ニ決ス

2 何々

五 表決

1 歳出經常部第一款役場費

第二、三讀會原案可決確定

2 同第二款土木費

第二讀會修正議決

3 何々

何々 何々

六 閉會

町(村)長ハ閉會ノ旨ヲ告ケ午前(後)何時一同退場ス
右會議ノ正當ナルヲ證スル爲メ議長及議員何名(二名以上)署名ス

議長 職 氏 名
議員 何 何 某 某
同 何 某

備考

一 此兩様式ハ其記載ヲ示シタルモノナレハ實際調製ノ場合ニハ開會閉會ノ顛末、會議始終ノ年月日及時刻、出席議員ノ氏名、町村長及其ノ委任又ハ囑託ヲ受ケ議事ニ參與シタル者ノ職氏名、會議ニ付シタル事件ノ題目、議決ノ要旨、選舉ノ顛末及當選者ノ氏名、法令若ハ會議規則ニ違ヒ又ハ議場ノ秩序ヲ紊リ若ハ妨害ヲ爲シタル者ノ處分ニ關スル事項、再議又ハ再選舉ニ付セラレタル事件ノ題目、町村長ノ代理者又ハ年長議員カ議長トナリタルトキハ其事由其他必要ト認ムル事項ハ洩ナク簡明ニ記載スヘシ
二 會議二日以上ニ亘リ毎日會議録ヲ調製スルトキハ其ノ日ノ議長タリシ者議員二名以上ト共ニ當日ノ會議録ノ末尾ニ署名スヘシ

參照

町村會議錄様式

町村制第五十八條

町村ニ於テ一時借入金ヲ爲ス場合認可ヲ受クルノ件

(明治四十四年十月 埼玉縣訓令第四十號)

町村ニ於テ町村制第一百十二條第三項ニ依リ一時ノ借入金ヲ爲サントスルトキハ町村會ニ附議以前ニ於テ町村長ヨリ議案及借入ノ事由ヲ具シ郡長ノ認可ヲ受クヘシ

明治四十一年^{五月}埼玉縣訓令第三十五號ハ廢止ス

町村會議規則準則 (第一例)

- 第一條 會議ハ午前(後)何時ニ始メ午後何時ニ終ル但時宜ニ依リ時間ヲ伸縮スルコトアルヘシ
- 第二條 議員ノ席次ハ每會之ヲ定ム
- 第三條 議員ハ會議中濫リニ議場ヲ退クコトヲ得ス但已ムヲ得サル事故アルトキハ議長ノ許可ヲ受クルモノトス

第四條 議題ノ外議事中ニ起リタル總テノ事件ハ議長直ニ之ヲ決シ又ハ會議ニ諮ヒ之ヲ決ス

第五條 自己若ハ父母祖父母妻子孫兄弟姊妹ノ一身上ニ關スル議事ニ參與セントスル議員ハ其議事ニ先チ會議ノ同意ヲ求ムヘシ此場合ニ於テハ討論ヲ用ヒス議長ハ會議ニ諮ヒ之ヲ決ス

第六條 議事ハ第一讀會第二讀會第三讀會トス
第一讀會ニ於テハ議案ニ付第二讀會ヲ開クヘキヤ否ヤヲ決シ第二讀會ニ於テハ逐次審議シ第三讀會ニ於テハ議案ノ全体ヲ審議確定ス

第七條 同一ノ議題ニ付數個ノ修正動議アルトキハ原案ノ旨趣ニ最モ遠キモノヨリ順次採決ス

第八條 修正案原案孰レモ過半数ノ賛成ヲ得サル場合ハ調査委員ヲ定メ之ニ附托シ其報告ニ依リ可否ヲ決ス

第九條 否決シタル修正ノ動議ハ同一會期內ニ於テ再ヒ提出スルヲ得ス
第十條 出席議員ハ可否ノ數ニ入ラサルコトヲ得ス
第十一條 採決セントスルトキハ議長ニ於テ其問題ヲ宣告シ可否ヲ表セシメ其結果ヲ宣告ス

町村ニ於テ一時借入金ヲ爲ス場合認可ヲ受クルノ件 (二二九)
町村會議規則準則

第十二條 會議錄署名議員ハ何名トシ每會之ヲ選舉ス

第十三條 議場ニ於テハ異様ノ服裝ヲ爲シ又ハ帽子、襟卷、外套等ヲ着スヘカラス

第十四條 町村制第五十四條第二項ノ規定ニ違背シタル者ハ會議ノ議決ニ依リ何圓以下ノ過怠金ヲ科ス

第十五條 正當ノ事由ナクシテ定刻ニ參會セサル者ハ會議ノ議決ニ依リ何十錢以下ノ過怠金ヲ科ス

町村會議規則準則 (第二例)

第一章 總則

第一條 會議ハ午前(後)何時ニ始メ午後何時ニ終ル但時宜ニ依リ時間ヲ伸縮スルコトアルヘシ此場合ニ於テハ議長直ニ之ヲ決シ又ハ會議ニ諮ヒ之ヲ決ス

(會議ノ始終ハ號鈴ヲ以テ之ヲ報ス)

第二條 議員席ハ番號ヲ付ス

議員ノ席次ハ定期改選ノアリタル會議ノ初ニ於テ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム但補闕議員ハ前任議員ノ席ニ着クモノトス

第三條 町(村)長及其委任又ハ囑託ヲ受ケ議事ニ參與スル者及書記ノ席及傍聽人席ハ別ニ之ヲ設ク

第四條 議員ハ會議中濫リニ議場ヲ退クコトヲ得ス但己ムヲ得サル事故アルトキハ議長ノ許可ヲ受クルモノトス

第五條 議員ハ會議ノ半ニシテ著席スル時ハ議長ノ許可ヲ受クル者トス
第六條 議題ノ外議事中ニ起リタル總テノ事件ハ議長直ニ之ヲ決シ又ハ會議ニ諮ヒ之ヲ決ス

第七條 議事ヲ始ムルトキハ議長ハ書記ヲシテ其案ヲ朗讀セシム但時宜ニ依リ朗讀ヲ省略スルコトヲ得

第八條 自己若ハ父母祖父母妻子孫兄弟姉妹ノ一身上ニ關スル議事ニ參與セントスル議員ハ其議事ニ先チ會議ノ同意ヲ求ムヘシ此場合ニ於テハ討論ヲ用キス議長ハ會議ニ諮ヒ之ヲ決ス

第九條 議事中ハ氏名ヲ唱ヘス議長ハ職名、議員ハ議席ノ番號ヲ呼フモノトス

第十條 此規則ノ疑義ハ議長之ヲ決ス若シ出席議員三分ノ一以上ノ異議アルトキハ會議ノ決スル所ニ依ル

第十一條 此規則ハ議長又ハ議員定數三分ノ一以上ノ發議ニアラサレ

ハ改正増補又ハ削除等ヲ議スルコトヲ得ス

第二章 議事日程

第十二條 議長ハ會議ノ終リニ於テ次日ノ議事日程ヲ會議ニ報告ス但初日ノ會議ニ於テハ議事ヲ始ムル前之ヲ報告ス

第十三條 議員中緊急事件ヲ議題トスル爲議事日程變更ノ動議ヲ提出シ議員二名以上ノ賛成アルトキハ議長ハ之ヲ會議ニ諮ヒ可否ヲ決ス議長自ラ緊急事件ト認ムルカ町(村)長又ハ其委任若ハ囑託ヲ受クル者ノ請求アルトキハ議長ハ之ヲ會議ニ諮ヒ討論ヲ用キス之ヲ決シ議事日程ヲ變更スルコトアルヘシ

第十四條 議事日程ヲ定メタルモ其當日會議ヲ開クコト能ハスシテ後日會議ヲ開クトキハ前ニ報告シタル日程ニ據ル

第十五條 議事日程ニ定メタル事件中當日議了ニ至ラサルトキハ議長ハ更ニ其日程ヲ定メ會議ニ報告ス

第三章 讀會

第十六條 會議ハ第一讀會第二讀會第三讀會ニ區別ス議長ニ於テ緊急議決ヲ要スルモノ又ハ簡易ノ議題ト認ムルトキハ(會議ニ諮ヒ)讀會ノ順序ヲ省畧スルコトヲ得

第十七條 第一讀會ニ於テハ其議案ニ就キ第二讀會ヲ開クヘキヤ否ヲ決スルモノトス

第二讀會ニ於テハ議案ノ條項ニ就キ逐次之ヲ議決スルモノトス

第三讀會ニ於テハ議案ノ全体ニ就キ審議確定ス但豫算ハ一款若ハ數款ニ對シ審議確定スルコトヲ得

第十八條 議案ノ説明ヲ求ムルモノハ第一讀會ニ於テ之ヲ爲スヘシ但已ムヲ得サル場合ニアリテハ第二讀會ニ於テ之ヲ爲スコトヲ得

第四章 動議及建議

第十九條 動議ハ第一讀會及第二讀會ニ於テハ議員一名ヲ以テ足ルモ第三讀會ニ於テハ議員二名以上ノ賛成アルニアラサレハ議題ト爲スコトヲ得ス

第二十條 建議ヲ爲サントスル者ハ文案ヲ具ヘテ議長ニ提出スヘシ但緊急事件ハ文案ヲ省畧シ之ヲ演フルコトヲ得

建議ハ議員貳名以上ノ賛成アルニアラサレハ議題ト爲スコトヲ得ス否決シタル建議ハ同一會期內ニ再ヒ提出スルコトヲ得ス

第五章 發言及討論

第二十一條 議員發言セントスルトキハ起立シテ議長ト呼ヒ自己ノ番

號ヲ告ケ議長ノ許可ヲ受クルヲ要ス

第二十二條 議題ニ付暫ク發言ナキトキハ議長ニ於テ異議ナキモノト認メ採決スルコトヲ得

第二十三條 討論ハ必ス議長ニ向テ之ヲ爲スヘシ 議員ハ互ニ相問答スルコトヲ得ス

討論ハ議題外ニ涉ルコトヲ得ス

第二十四條 討論未タ終ラスト雖モ議長ニ於テ論旨既ニ盡キタリト認ムルトキハ之ヲ會議ニ諮ヒ討論ヲ用キス採決スルコトヲ得

第六章 修正

第二十五條 議案ニ對スル修正ノ動議ハ第二讀會ニ於テ之ヲ提出スルモノトス

第二十六條 第三讀會ニ於テハ文字ヲ更正スル外修正ノ動議ヲ爲スコトヲ得ス但議案中互ニ抵觸スル事項又ハ法令ニ背ク事項アルコトヲ發見シタルトキ必要ノ修正ヲ爲スハ此限ニアラス

第二十七條 同一ノ議題ニ付數個ノ修正動議アル場合ニ於テハ原案ノ旨趣ニ最モ遠キモノヨリ順次採決ス

第二十八條 修正案原案孰レモ過半数ノ賛成ヲ得サル場合ハ調査委員

ヲ定メ之ニ附托シ其報告ヲ待テ可否ヲ決ス

第二十九條 否決シタル修正ノ動議ハ同一會期內ニ於テ再ヒ提出スルコトヲ得ス

第七章 表決

第三十條 出席ノ議員ハ可否ノ數ニ入ラサルコトヲ得ス

表決ノ際議席ニアラサル議員ハ表決ニ加ハルコトヲ得ス

第三十一條 採決セントスルトキハ議長ニ於テ其問題ヲ宣告シ之ヲ可トスル者ヲ起立セシメ其結果ヲ宣告ス

會議ノ議決ニ依リ記名又ハ無記名投票ヲ以テ表決スルコトヲ得

第八章 會議錄

第三十二條 會議錄ニハ左ノ事項ヲ記載スルモノトス

- 一 開會閉會ノ顛末
- 二 會議始終ノ年月日及時刻
- 三 出席議員ノ氏名
- 四 町村長及其委任ヲ受ケ議事ニ參與シタル者ノ職氏名
- 五 書記ノ氏名
- 六 會議ニ付シタル事件ノ題目

七 議決ノ要旨

八 選舉ノ顛末及當選者ノ氏名

九 法令若ハ會議規則ニ違ヒ又ハ議場ノ秩序ヲ紊リ若ハ妨害ヲ爲シタル者ノ處分ニ關スル事項

十 再議又ハ再選舉ニ付セラレタル事件ノ題目
其他必要ト認ムル事項

第三十三條 會議錄署名議員ハ何名トシ毎會期之ヲ選舉ス

第九章 議場内ノ秩序

第三十四條 議場内ニ於テハ異様ノ服裝ヲ爲シ又ハ外套、傘、杖ノ類ヲ携帯シ若ハ帽子襟卷ヲ著スヘカラス

第三十五條 議事中ハ喫咽スヘカラス

第三十六條 議事中ハ贊聲又ハ否聲ヲ發シ又ハ喧噪シテ他人ノ演說及朗讀ヲ妨クルコトヲ得ス

第三十七條 散會ニ際シテハ議員ハ議長退席ノ後ニアラサレハ退席スルコトヲ得ス

第十章 罰 則

第三十八條 町村制第五十四條第二項ノ規定ニ違背シタル者及本則第

三十四條乃至第三十六條ニ違背シタル者ハ會議ノ議決ニ依リ三日以内出席ヲ停止シ又ハ貳圓以下ノ過怠金ヲ科ス

第三十九條 正當ノ事由ナクシテ會議開始ノ時刻ニ參會セサル者ハ會議ノ議決ニ依リ何程以下ノ過怠金ヲ科ス

參照

町村制第五十九條

町村會傍聽人取締規則準則

第一條 會議ノ傍聽ヲ爲サントスル者ハ議員ノ紹介ニ依ルヘシ

傍聽人員ハ何人ヲ限リトス

第二條 議員傍聽人ヲ紹介スルトキハ(傍聽人紹介人共其氏名ヲ傍聽券ニ記入スヘシ)其氏名ヲ議長ニ通告スヘシ

第三條 傍聽人ハ(傍聽券ヲ受付掛ニ示シ控席ニ入ルヘシ又退場スルトキハ傍聽券ヲ受付掛ニ返付スヘシ)受付掛ノ指揮ニ從ヒ著席スヘシ

第四條 傍聽人ハ控席ニ憩ヒ號鈴ニ從ヒ著席スヘシ但會議ノ半ナルト

キハ受付掛ノ指揮ニ依リ著席スヘシ

第五條 傍聽席ニ於テハ左ノ事項ヲ遵守スヘシ

一 會議ニ對シ公然可否ヲ表シ又ハ喧騒ニ涉リ其他會議ノ妨害ヲ爲スヘカラス

二 會議中濫リニ傍聽席ヲ離ルヘカラス

三 私語又ハ飲食喫煙スヘカラス

四 帽子襟卷又ハ外套ヲ著スル等不敬ノ所爲ヲ爲スヘカラス

五 傘杖ノ類ヲ携帯スヘカラス

六 一定ノ出入口ノ外出入スヘカラス

第六條 戎器兇器其ノ他危險ノ虞アル物品ヲ携帯シタルモノ及酔酲シタルモノハ傍聽ヲ許サス

第七條 何等ノ事由アルモ傍聽人ハ議席ニ入ルコトヲ得ス

第八條 議場内ニ於テ議員ニ文書物品ノ類ヲ差出サントスルモノハ受付掛ニ差出シ届ケ方ヲ請フヘシ傍聽人自ラ差出スコトヲ得ス

議場内ニ於テ議員ニ面會ヲ求メントスルモノハ受付掛ニ申出指揮ヲ受クヘシ

第九條 左ノ場合ニ於テハ速ニ退場スヘシ

一 傍聽ヲ禁止シタルトキ

二 退場ヲ命セラレタルトキ

第十條 前各條ノ外掛員ヨリ指揮スルコトアラハ其ノ指揮ニ從フヘシ
参照

町村制第五十九條

附

錄

町村制改正要領

町村及其區域

一 町村事務ノ範圍

舊法ニ於テハ町村ノ法人タルコトヲ認メ又官ノ監督ノ下ニ自ラ其公共事務ヲ處理スヘキコトヲ規定セリト雖其ノ事務ノ範圍ニ付テハ規定周密ヲ缺クモノアリシヲ以テ新制ニ於テハ町村ニ屬スル事務ハ從來法令ノ規定ニ依ルノミナラス慣例ニ依ルモノアルコトヲ規定シ又將來町村ニ對シ新ニ事務ノ負擔ヲ命スルニ當リテハ必ス法律又ハ勅令ニ依ルヘキコトヲ明示シ以テ其事務負擔ノ範圍ヲ明確ナラシメラレタリ(第二條)

一 町村ノ廢置分合

舊法ニ於テハ町村會及郡參事會ノ意見ヲ聞キ縣參事會之ヲ議決シ內務大臣ノ許可ヲ受ケシモ新制ニ於テハ知事ニ於テ町村會ノ意見ヲ徵シ縣參事會ノ議決ヲ經テ內務大臣ノ許可ヲ受クルコト、ナレリ(第三條)

一 町村ノ境界變更

舊法ニ於テハ町村及地主ノ意見ヲ聞キ郡參事會ニ於テ議決セシモ境界變更ノコトタル區域ノ狹少ナル場合ハ格別其ノ廣大ナルモノニ至テハ其關係スル所敢テ廢置分合ノ場合ト差異ナキヲ以テ廢置分合ト同一ノ手續ヲナスコト、ナレリ(第三條)

一 町村ノ廢置分合ニ伴フ財產處分
舊法ニ於テハ町村會及郡參事會ノ意見ヲ聞キ縣參事會之ヲ議決スルニ過キサリシモ此場合ニ於ケル處分ハ團體ノ基礎ニ影響ヲ及ホスヘキ重要事項ナルヲ以テ廢置分合ト同一ノ手續ヲナスコト、ナレリ(第三條)

一 町村ノ境界變更ニ伴フ財產處分
舊法ニ於テハ町村會ノ意見ヲ聞キ郡參事會之ヲ議決セシモ前項同様重要事項ナルヲ以テ同シク廢置分合ト同一ノ手續ヲナスコト、ナレリ(第三條)

一 町村ノ境界ニ關スル爭論
舊法ニ於テハ郡參事會之ヲ裁決シ其ノ數郡又ハ市ノ境界ニ涉ルモノハ縣參事會之ヲ裁決セシモ新制ニ於テハ單ニ町村ノミニ止マルモノト數郡又ハ市ノ境界ニ涉ルモノト問ハス縣參事會之ヲ裁定スルコト、ナレリ(第四條)

一 町村ノ境界判明ナラサル場合ニ於テ爭論ナキトキノ處分
舊法ニ於テハ別段ノ規定ナカリシモ新制ニ於テハ知事ニ於テ縣參事會ノ決定ニ付スルコト、ナレリ(第四條)

一 町村ノ名稱變更又ハ村ヲ町トシ若クハ町ヲ村ト爲ス場合
從來ニ於テハ明治二十三年法律第七十七號第一條ニ依リ町村會及郡參事會ノ意見ヲ聞キ縣參事會之ヲ議決シ內務大臣ノ許可ヲ受ケシモ新制ニ於テハ町村ニ於テ內務大臣ノ許可ヲ受クルコト、ナレリ(第五條)

一 町村役場ノ位置變更
從來ニ於テハ明治二十三年法律第七十七號第二條ニ依リ町村會議決ニ對シ知事ノ認可ヲ受クシモ新制ニ於テハ町村ニ於テ知事ノ許可ヲ受クルコト、ナレリ(第五條)

町村住民及其權利義務

一 町村住民
舊法ニ於テハ住居ヲ以テ町村住民ノ要件ト爲セシモ住居ハ住所トハ異ニシテ固ヨリ生活ノ本據ト云フニ在ラサルヲ以テ一人ニシテ二個

以上ノ住居ヲ有スル場合ナキニアラス然レトモ住民ナルモノハ團體
存立ノ要素ニシテ其町村ニ對シ權利ヲ有シ義務ヲ負フ等重大ナルヲ
以テ新制ニ於テハ住所即チ生活ノ本據ヲ有スルヲ適當トシ住所ヲ以
テ其要件トセラレタリ(第六條)

一 公民權ノ一要件

舊法ニ於テハ公民權ノ一要件トシテ一戸ヲ構フル者タルヲ要セシカ
故ニ其一戸ヲ構フルヤ否ヤ事實ノ認定困難ニ陥リ爲メニ解釋區々ニ
岐レ訴願訴訟ヲ惹起スルニ至リシヲ以テ新制ニ於テハ獨立ノ生計ヲ
營ム者タレハ一戸ヲ構フルト否トニ關セサルコトヲ明ニセラレタリ
(第七條)

一 公民權ノ擴張

舊法ニ於テハ公民權ノ得喪ニ關シ往々規定ノ不備タルヲ免カレサル
モノアリシモ新制ニ於テハ左ノ規定ヲ設ケ以テ權利ヲ擴張セラレタ
リ(第七條)

一 家督相續ニ依リ財產ヲ取得シタル者ニ對シ其ノ納稅年限ヲ被相
續人ノ分ト通算スルコト

二 町村ノ廢置分合又ハ境界變更アルモ公民ノ要件中年限ニ關スル

モノハ中斷セラレサルコト

三 町村稅ヲ賦課セサル町村ニ在テハ公民ノ要件中町村ノ負擔分任
ニ關スル規定ヲ適用セサルコト

四 僻村等ニ於テ直接國稅ヲ納ムル者少ナク隨テ町村公民ノ過少ナ
ル場合ニハ町村公民ノ要件ニ關シ町村條例ヲ以テ特例ヲ設ケ得
ルコト

一 公民ノ義務不履行ノ制裁

舊法ニ於テハ名譽職ヲ擔任セサル公民ニ對スル制裁ヲ三年以上六年
以下ノ公民權停止及同年期間町村稅ノ八分ノ一乃至四分ノ一ヲ增課
スルコト、爲セシモ範圍ノ狭少ナルノミナラス其程度亦適切ナラサ
ルモノアルニ依リ新制ニ於テハ期間ヲ輕減シテ一年以上四年以下ト
シ增課額ヲ變更シテ十分ノ一以上四分ノ一以下トナレリ(第八條)

一 公民權ノ停止

舊法ニ於テハ公權ノ剝奪若クハ停止ヲ附加スヘキ重罪輕罪ノ爲メ公
判ニ附セラレタルトキハ直ニ公民權ヲ停止スルノ規定ナリシモ公判
ニ附セラレタルノ一事ヲ以テ直ニ公民權ヲ停止スルハ酷ニ失スルノ
感アリタリ是ヲ以テ新制ニ於テハ禁錮以上ノ刑ノ宣告ヲ受ケタルト

キヨリ起算シ其執行ヲ終リ若クハ其執行ヲ受クルコトナキニ至ル迄ノ外公民權ヲ停止セザルコト、爲レリ但租稅滯納處分中ノ停止ハ舊法ト異ナルナシ又家資分散若クハ破産ノ宣告ヲ受タル者ニ關シテハ舊法ニ於テハ宣告ヲ受ケタルトキヨリ復權ノ決定アル迄ノ間停止シタルモ新制ハ宣告ノ確定シタルトキヨリ復權ノ決定確定スルニ至ルマテノ間停止スルコト、ナレリ(第九條)

町村會ノ組織及選舉

一人口ニ伴フ議員ノ増減

舊法ニ於テハ別段ノ規定ナカリシモ新制ニ於テハ著シク人口ノ増減アリタルトキハ總選舉ノ場合ニアラサルモ内務大臣ノ許可ヲ得テ増減シ得ヘキコト、ナレリ(第十一條)

一多額納稅者ノ資格

帝國臣民ニシテ直接町村稅ヲ納ムルモノハ其納額町村公民ノ最多ク納稅スル者三人中ノ一人ヨリモ多キ者ノ選舉資格ニ關シテハ舊法ニ於テハ六年ノ懲役又ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者ト雖選舉權ヲ有セシメタルモ新制ニ於テハ之ヲ改メテ無資格者トセリ(第十二條)

一町村稅ヲ附加セサル町村ノ選舉人ノ納稅額

舊法ニ於テハ本件ニ關ルノ規定ヲ缺キシモ新制ニ於テハ此場合ニ於ケル納稅額ヲ直接國稅トセリ(第十二條)

一選舉人ノ納稅年度及納稅額

舊法ニ於テハ納稅年度ニ關シ別段ノ規定ナク又納稅額ハ賦課額ナルヤ將タ徵收額ナルヤ明瞭ナラス爲ニ其解釋區々ニ涉リシモ新制ニ於テハ納稅額ノ年度ヲ選舉人名簿調製期日ノ屬スル會計年度ノ前年度トシ又其ノ納稅額ハ賦課額ト明定セラレタリ(第十三條)

一級選舉人ノ數議員定數ノ二分ノ一ヨリ少ナキ場合

舊法ニ於テハ特ニ多額ノ納稅ヲ爲ス者アルトキハ町村條例ヲ以テ選舉ノ特權ヲ設クルノ外僅々二人ノ一級選舉人ニシテ議員全數ノ二分ノ一ヲ選出スルノ奇觀ヲ呈スル場合ナキニアラサリシモ新制ニ於テハ此場合ニハ納稅額最多キ者議員定數五分ノ一ト同數ヲ以テ一級選舉人トセリ(第十二條)

一選舉分會

舊法ニ於テハ町村會ノ議決ニ依リ之ヲ設クルコトヲ得シモ新制ニ於テハ郡長ノ許可ヲ得ルヲ要スルコト、ナレリ(第十四條)

一被選舉權ニ對スル缺格ノ種類

舊法ニ於テハ代言人ニ非スシテ他人ノ爲メニ裁判所又ハ其他ノ官廳ニ對シテ事ヲ辨スルヲ以テ業ト爲ス者ヲ以テ被選舉權缺格ノ一トセシモ新制ニ於テハ之ヲ除キ所屬府縣郡ノ有給吏員、收稅官吏、神職町村ニ對シ請負ヲ爲ス者及其ノ支配人又ハ主トシテ同一ノ行爲ヲ爲ス法人ノ無限責任社員重役及支配人ヲ以テ被選舉權ノ缺格ニ加ヘタリ(第十五條)

一 議員ノ改選及任期

舊法ニ於テハ任期ヲ六年トシ毎三年ニ其半數ヲ改選スルノ制ナリシモ町村ハ區域廣濶ナラス隨テ議員ニ選舉セラル、所ノ者概テ重任相及ホシ殆ント半數改選ノ制度ニ依ルヘキノ必要ヲ認メス殊ニ選舉ヲ屢々スルノ勞費ヲ要スルヲ免カレサルヲ以テ新制ニ於テハ其ノ任期ヲ四年トシ全數改選ノコト、ナレリ(第十六條)

一 議員ノ定數ニ異動ヲ生シタルカ爲メ議員改任ノ場合

舊法ニ於テハ別段ノ規定ナキモ新制ニ於テハ每級各別ニ町村長抽籤シテ之ヲ定ムルコト、ナレリ而シテ其ノ解任ヲ要スル等級ニ若シ缺員アルトキハ其缺員ヲ以テ之ニ充ツヘキコト、ナレリ(第十六條)

一 選舉人名簿

舊法ニ於テハ定期改選ト補缺選舉トヲ問ハス總テ議員ノ選舉ヲ行フ毎ニ選舉期日ノ六十日前ニ於テ選舉期日ノ事實ヲ豫想シ新ニ之ヲ調製スルノ法ナリシモ勞費ヲ要スルノミナラス選舉ノ當時ニ至リ事實ニ相違ヲ生シ不便尠カラサルヲ以テ新制ニ於テハ是等ノ不便ヲ除キ選舉期日前六十日ヲ期トシ其ノ日現在ノ事實ニ基キ調製シ且一旦調製シタル名簿ハ其確定ノ日ヨリ一年以内ニ於テ行フ選舉ニ之ヲ用フコト、ナリ又舊法ニ於テハ選舉人名簿ノ外選舉原簿ノ調製ヘキヲ要セシモ新制ニ於テハ之ヲ調製セサルコト、ナレリ(第十八條)

一 選舉人名簿縦覽ノ時期及場所

舊法ニ於テハ縦覽ノ期日ヲ七日トシ且其場所ヲ町村役場ノ外特ニ規定スルモノナカリシカ新制ニ於テハ縦覽ノ時期ヲ選舉ノ期日前四十日ヲ期トシ其日ヨリ七日間毎日午前八時ヨリ午後四時迄ト定メ且縦覽ノ場所ハ町村役場又ハ告示シタル場所ト改メラレタリ(第十八條)

一 選舉人名簿ニ關スル異議

異議申立期間ハ新舊兩制共縦覽期間内トセルモ其町村會ノ決定ニ關スル時期ハ舊法ニ於テハ別段ノ規定ナカリシモ新制ニ於テハ縦覽期間滿了後三日以内ニ町村長ハ町村會ノ決定ニ付シ町村會ハ其送付ヲ

受ケタル日ヨリ七日以内ニ之ヲ決定スヘキコト、ナレリ(第十八條)

一 選舉人名簿確定期日

舊法ニ於テハ修正ヲ加フヘキ事項ヲ選舉前十日ヲ限リテ修正ヲ加ヘ確定名簿トナスノ規定ナリシモ新制ニ於テハ選舉期日前三日ヲ以テ確定トセリ(第十八條)

一 選舉人名簿ニ登録セラレサル選舉人

舊法ニ於テハ確定名簿ニ登録セラレサル者ハ選舉ヲ行ハシメサルノ規定ナリシカ名簿ニ登録セラレヘキ確定裁決書又ハ判決書ヲ所持シ選舉ノ當日選舉場ニ到リタル者ニ對シテハ選舉ヲ行ハシムルヲ至當ニシ新制ニ於テハ此規定ヲ設ケ且其ノ屬スヘキ等級ハ其者ノ納稅額ニシテ名簿ニ登録セラレタル一級選舉人中ノ最少額ヨリ多キトキハ一級ニ於テ選舉ヲ行ハシムルコト、ナレリ(第十八條)

一 選舉人名簿無効又ハ喪失ノ場合

舊法ニ於テハ異議申立ノ結果名簿ノ無効ト爲リ又ハ名簿喪失ノ場合ニ關シ別段ノ規定ナカリシカ新制ニ於テハ郡長ノ定ムル所ノ調製、縦覽、修正、確定及異議ノ決定ニ關スル期日、期限及期間ニ基キ更ニ之ヲ調製スルコト、ナレリ(第十八條)

一 選舉ニ關スル告示其他

舊法ニ於テハ選舉ニ關スル場所、日時等ノ告示ニ付テハ其期間ノ定ナク又天災時度等ニ依リ選舉本會ト分會ト同日時ニ選舉ヲ行フコトシ別段ノ規定ナカリシモ新制ハサル場合等ニ關制ニ於テハ告示期間ヲ七日トシ又選舉ヲ行フコト能ハサル場合ニハ選舉ヲ終ラサル本會若クハ分會ノミニ關シ更ニ場所其他ノ告示ヲ爲シ以テ選舉ヲ行フヘキコトヲ規定セラレタリ(第十九條)

一 選舉會場ノ取締

舊法ニ於テハ選舉會場ノ取締ニ關シ特ニ明示スル所ナカリシモ新制ニ於テハ選舉長又ハ分會長ハ其制止ニ從ハサルトキハ選舉場外ニ退出セシムヘキコト、シ其退出セシメラレタル者ハ最後ニ投票ヲ爲スコトヲ得又ハ選舉長、分會長ニ於テ秩序紊亂ノ虞ナシト認ムル場合ニハ最後ニ至ラサルモ投票ヲ爲サシムルヲ妨ケサルノ規定ヲ設ケラレタリ(第二十一條)

一 投票ノ方法

舊法ニ於テハ投票ハ一切連名ノ法ヲ用ヒ且其ノ投票ハ必スシモ自書スルヲ要セス又必スシモ選舉會場ニ於テ之ヲ作ルコトヲ要セサリシ

カ故奸詐ノ其ノ間ニ入ルコトヲ得セシメ選舉ノ公正ヲ害スルコトアリシヲ以テ新制ニ於テハ原則トシテ單記ノ法ヲ取り唯選舉人ノ數其ノ選舉スヘキ議員數ノ三倍ヨリ少ナキ場合ニ於テノミ連名ノ法ヲ用フルコト、シ且其投票用紙ハ町村長ノ定メタ一定様式ノモノヲ用ヘシ又其投票ハ總テ選舉會場ニ於テ自書セシメ之ヲ自書スルコト能ハサル者ハ投票ヲ爲スコトヲ得サルコト、ナレリ(第二十二條)

一 同時ニ行フヘキ増員選舉ト補缺選舉
舊法ニ於テハ同時ニ増員選舉ト補缺選舉トヲ行フヲ要スル場合ニ於テモ各別ニ之ヲ行ハサルヲ得サリシカ新制ニ於テハ此ノ場合ニ於テハ一ノ選舉ヲ以テ合併シテ之ヲ行フヘキコト、ナレリ(第二十二條)

一 無効投票ノ種類
選舉ノ方法改マルト共ニ無効投票中ニ成規ノ用紙ヲ用ヒサルモノ現ニ町村會議員ノ職ニ在ル者ノ氏名ヲ記載シタルモノ一票中二人以上ノ被選舉人ノ氏名ヲ記載シタルモノ、三種ヲ加ヘ而シテ被選舉人氏名以外他事ノ記入中爵位、職業、身分、住所又ハ敬稱ノ類ハ妨ケサルコト、ナレリ(第二十五條)

一 連名投票ノ法ヲ用フル場合ノ無効投票

每級選舉人ノ數其選舉スヘキ議員數ノ三倍ヨリ少ナキ場合ニ於テハ舊法ニ於ケル一般選舉ト同シク連名投票ノ法ヲ用フルモ其投票ニ記載ノ人員選舉スヘキ定數ニ過キタルモノハ舊法ニ於テハ末尾ニ記載シタル人名ヲ棄却シ其ノ投票ヲ有効トセシモ新制ニ於テハ全部ヲ無効トシ又舊法ニ於テ全部ヲ無効トシタル被選舉人ノ何人タルカヲ確認シ難キモノ被選舉權ナキ者ノ氏名記載シタルモノハ其ノ部分ヲ無効トシ其他ハ有効トスルコト、ナレリ(第二十五條)

一 當選者得票數ノ最少限度

舊法ニ於テハ議員ノ選舉ハ單ニ有効投票ノ多數ヲ得タル者ヲ以テ當選者トナスニ在リシニ依リ極メテ少數ノ得票者ト雖當選スルコトナキニアラス殊ニ新制ノ如ク單記ノ法ニ依ルトキハ其ノ弊一層甚シキヲ以テ新制ニ於テハ選舉人ノ總數ニ比例シテ其ノ得票數ノ最少限度ヲ定メラレタリ即チ當選者ハ各級ニ於テ選舉スヘキ議員ノ數ヲ以テ選舉人名簿ニ登載セラレタル各級ノ人員數ヲ除シテ得タル數ノ七分ノ一以上ノ得票アルコトヲ要スルノ規定ナリ然レトモ議員ノ定數ニ足ル當選者ヲ得ルコト能ハスシテ其ノ不足員數ニ付更ニ選舉ヲ行フ場合ニハ右ノ規定ヲ適用セス(第二十七條 第二十四條)

一人ニシテ兩級ニ於テ當選シタル場合ノ當選決定

舊法ニ於テハ一人ニシテ兩級ノ選舉ニ當選シタル場合ニ於テ何レノ當選ニ應スヘキカラ五日以内ニ申出サルトキハ其當選ヲ辭シタル者トシ直ニ處分スルノ制ナリシモ新制ニ於テハ町村長抽籤シテ之ヲ定ムルコト、ナレリ又所屬府縣郡ノ官吏以外ノ官吏ニシテ當選シタルモノハ舊法ニ於テハ當選ヲ辭セサル限りハ特ニ申出ツルヲ要セサリシモ新制ニ於テハ當選ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ二十日以内ニ當選ニ應スヘキ旨ヲ町村長ニ申出テサルトキハ當選ヲ辭シタルモノト見做スコト、ナレリ(第二十九條)

一次點者當選

舊法ニ於テハ議員當選者其當選ヲ辭シタルトキハ更ニ選舉ヲ行ハサルヘカラサリシモ新制ニ於テハ更ニ選舉ヲ行フナク直ニ其次點者ヲ以テ當選者ト爲スヲ得ルナリ而シテ此方法ニ依リ得ヘキハ制第廿九條ニ於テ當選ヲ辭シタル者アル場合ニ限ルハ勿論ナリ(第卅條)

一選舉ノ全部又ハ一部無効

舊法ニ於テハ選舉ノ規定ニ違反スルコトアルトキハ其選舉ヲ取消シ又當選ノ無効ニ歸シタルトキハ更ニ選舉ヲ行フノ制ナリシモ新制ニ

於テハ選舉ノ結果ニ異動ヲ生スル虞アル場合ニ限リ其選舉ノ全部又ハ一部ヲ無効トシ以テ選舉ヲ屢々スルノ煩累ヲ避クルコト、ナレリ

(第三十二條)

一選舉ノ訴願訴訟期間ノ起算點

舊法ニ於テハ町村會議員選舉ニ關シテ訴願訴訟ヲ提起スルコトヲ得ル期間ハ特定ノ場合ノ外裁決書ヲ交付シタル日ヨリ起算スルノ規定ナリシカ故ニ其交付ヲ受ケタル者以外ニ訴願訴訟ノ權利ヲ有スル者ハ其ノ交付ヲ受ケタルヲ知ラサル爲メ往々法定ノ期間ヲ空過スルコトアリ此ノ如キハ權利保護ノ方法ニアラサルヲ以テ新制ニ於テハ選舉ニ關スル決定又ハ裁決處分ハ總テ之ヲ告示スルノ規定ヲ設ケラレタリ(第二十一條、第二十二條、第二十六條)

一議員選舉ニ關スル罰則

舊法ニ於テハ議員選舉ニ關スル罰則ハ明治二十三年法律第三十九號市町村會議員選舉罰則ニ依ルモ其規定スル所實際ニ適切ナラスシテ緩嚴其度ヲ得ス動モスレハ處罰ノ目的ヲ達スルコト能ハサルノ憾アリシヲ以テ新制ニ於テハ衆議院議員選舉ニ關スル罰則ヲ準用スルノ規定ヲ設ケ面シテ其ノ準用ノ範圍ハ之ヲ本法又ハ本法ニ基キテ發ス

ル勅令ニ依リ設置スル議會ノ議員ノ選舉ニ及ホサシムルコト、ナレリ(第三十七條)

一 町村公民總會

舊法ニ於テハ郡參事會ノ議決ヲ經町村條例ノ規定ニ依リ町村公民ノ總會ヲ以テ町村會ニ充ツルコトヲ得タルモ新制ニ於テハ郡長ハ知事ノ許可ヲ得テ選舉權ヲ有スル公民ノ總會ヲ以テ之ニ充テシムルコトヲ得ルノ規定トナレリ(第二十八條)

職務權限

一 町村會ノ議決權限ノ範圍

舊法ニ於テハ町村會ハ其町村ヲ代表シト規定セラレタル爲メ其町村ヲ代表シテ外部ニ行動スルノ權限ヲ有スル執行機關タルカ如キ誤解ヲ招クノ虞ナキニアラサリシカ新制ニ於テハ斯ル規定ヲ設ケス以テ議決機關タルノ性質ヲ明瞭ナラシメラレタリ(第二十九條)

一 町村會ノ議決スヘキ事項ノ概目

舊法ニ於テハ加人金ノ賦課徵收不動産ノ管理、基本財産ノ設置及管理並ニ訴願ニ關シ明文ヲ缺キタルヲ以テ新制ニ於テハ之レヲ加ヘ尙舊法ニ於テハ町村條例及規則ヲ設ケ並ニ改正スル事ニ就テ規定セラ

レタルモ(第三十三條第百二十五條)之レカ廢止ニ關シ何等ノ規定ナカリシヲ以テ新制ニ於テハ之ヲ補ハレタリ(第四十條)

一 町村會ニ於テ行フ選舉

舊法ニ於テハ法律勅令ニ依リ其職權ニ屬スル町村吏員ノ選舉ヲ行フヘシト規定セラレタルモ新制ニ於テハ法律勅令ニ依リ其權限ニ屬スル選舉ヲ行フヘシト規定セラレタルヲ以テ町村吏員以外其權限ニ屬スル凡テノ選舉ヲ包含スルコト、ナレリ(第四十一條)

一 町村會ノ町村事務檢閲及其出納檢査

町村會自体カ町村ノ事務ニ關スル書類ヲ檢閲シ町村長ノ報告ヲ請求シ事務ノ管理議決ノ執行及出納ヲ檢査スルコトヲ得ルハ舊法ト異ナル所ナシト雖モ新制ニ於テハ右ノ外町村會ハ議員中ヨリ委員ヲ選舉シ町村長又ハ其指名シタル吏員立會ノ上實地ニ付町村會ノ權限ニ屬スル事務ノ檢閲及出納檢査ヲ行フコトヲ得ヘキ規定ヲ設ケラレタリ(第四十二條)

一 町村會ノ意見書

舊法ニ於テハ單ニ町村會ハ町村ノ公益ニ關スル事件ニ付意見書ヲ監督官廳ニ提出スルコトヲ得ト規定セラレタルモ新制ニ於テハ監督官

廳ノ外ニ町村長ヲモ加ヘラレタリ(第四十三條)

一 行政廳ノ諮問ニ對スル町村會ノ意見答申

舊法ニ於テハ町村會ノ意見ヲ徵シテ處分ヲナスヘキ場合ニ於テ町村會成立セス招集ニ應セス若クハ意見ヲ提出セス又ハ町村會ヲ招集スルコト能ハサル場合ニ處スル規定ヲ欠キタルモ新制ニ於テハ府縣制ノ規定ヲ斟酌シ當該行政廳ハ右ノ如キ場合ハ其意見ヲ俟タスシテ直ニ處分スルコトヲ得ヘキ規定ヲ設ケラレタリ(第四十四條)

一 町村會議長

舊法ニ於テハ町村長及其代理者共ニ故障アルトキハ年長ノ議員ヲ以テ議長ト爲スヘク規定シ年長者二人以上同年齡ナル場合ニ處スルノ明文ヲ欠キタルモ新制ニ於テハ年齡同シキトキハ抽籤ヲ以テ之ヲ定ムヘキ旨規定セラレタリ(第四十五條)

一 町村會議事參與者

舊法ニ於テハ町村長及助役ノ會議ニ列席シテ議事ヲ辨明スルコトヲ得トアリタルモ新制ニ於テハ町村長ノ外其委任又ハ囑託ヲ受ケタル者ハ會議ニ列席シテ議事ニ參與スルコトヲ得ルコトナレリ(第四十六條)

一 町村會ノ招集

舊法ニ於テハ議長之ヲ招集スヘキ規定ナリシモ新制ニ於テハ之ヲ町村長ニ更メラレタルノ外舊法ニ議員四分ノ一以上ノ請求アルトキハ必ス之ヲ招集スヘシ(第四十一條)トアリタルヲ新制ハ議員定數三分ノ一以上ノ請求ニ改メ尙町村長ハ必要アル場合ニ於テハ會期ヲ定メテ招集シ得ルノ規定並開會中急施ヲ要スル事件アルトキハ直ニ之ヲ其會議ニ付スルコトヲ得(三日前迄ニ告知ヲ爲シタル事件ニ付亦同シ)ヘキ規定ヲ加ヘラレタリ(第四十七條)

一 町村會ノ出席議員定足數

舊法ニ於テハ町村會ハ議員半數以上出席スルニ非サレハ如何ナル場合ト雖モ議決スルヲ得ス(但同一ノ議事ニ付招集再回ニ至ルモ議員猶半數ニ滿タサル場合ハ此限リニアラス)爲ニ實際上ノ不便尠ナカラサリシカ新制ニ於テハ右舊法ノ定足數ニ關スル規定ヲ原則トシ尙其除外例ノ外第五十條ノ除外ノ爲メ半數ニ滿タサルトキ(舊法ハ本件ノ如キ場合ニ於テハ郡參事會代テ之ヲ議決スルノ規定ナリシ第四十五條)又ハ招集ニ應スルモ出席議員定數ヲ闕キ議長ニ於テ出席ヲ催告シ仍ホ半數ニ滿タサルトキハ會議ヲ開クコトヲ得ヘキ旨規定セ

ラレタリ(第四十八條)

本項定足數ニ滿タサル會議ニ於ケル議員數ノ最小極限ハ無論二人以上ノ場合ナリトス其二人ニ滿タサル場合ニ關シテハ町村長ノ職務權限中町村會ノ議決スヘキ事件ニ關スル特別處置ノ部ニ詳記ス

一 町村會ニ於ケル議決方法

舊法ニ於テハ町村會ノ議決ハ可否ノ多數ニ依リ之ヲ定メ可否同數ナルトキハ再議々決シ猶同數ナルトキハ議長ノ可否スル所ニ依ル規定ナリシモ新制ニ於テハ過半數ヲ以テ之ヲ決シ可否同數ナルトキハ直ニ議長ノ決スル所ニ依ラシメ再議決ノ煩ヲ省カレタリ(第四十八條)

一 町村會議員ノ議事參與除外

舊法ニ於テハ議長及議員ハ自己及父母兄弟若クハ妻子ノ一身上ニ關スル事件ニ付議長ニアリテハ故障アルモノトシテ其代理者之ニ代リ議員ニアリテハ其議決ニ加ハルコトヲ得サリシカ(第四十四條)新制ハ人情ノ自然ニ鑑ミ府縣制ノ規定ヲ斟酌シテ右父母、兄弟、妻子ノ外其祖父母、孫、姉妹ノ一身上ニ關スル事件ニ就テモ其議事ニ參與スルコトノ得サルコト、ナレリ但シ町村會ノ同意ヲ得タルトキハ會議ニ出席シ發言スルハ妨ケナシ(第五十條)

一 町村會ニ於テ行フ選舉方法

舊法ニ於テハ有効投票ノ過半數ヲ得タル者ナキトキ最多數ヲ得タル者三名ヲ取リ之ニ就テ投票セシメ若最多數ヲ得タル者三名以上同數ナルトキ(町村長及助役ノ選舉ニ於テハ投票同數ナルトキハ抽籤ノ法ニ依ラス郡參事會之ヲ決ス第五十四條)ハ議長自ラ抽籤シテ其名ヲ取リ更ニ投票セシムルノ規定ナリシモ新制ニ於テハ其最多數ヲ得タル者二名ヲ取ルニ當リ同數者アルトキハ年長者ヲ取リ年齡同シキトキ初メテ議長抽籤シテ之ヲ定ムルコト、ナシ尙舊法ニ於テハ此再投票ニ於テモ過半數ヲ得タル者ナキトキハ抽籤ヲ以テ其當選ヲ定ムヘキ旨規定セラレタルモ新制ニ於テハ決選投票ニ於テハ多數ヲ得タル者ヲ以テ當選者トシ同數ナルトキハ年長者ヲ取リ年齡同シキトキ抽籤ノ方法ニ依ルヘク規定シ投票ノ効力ニ關シ異議アルトキハ町村會之ヲ決定スヘキ規定並ニ町村會ノ議決ヲ以テ指名推薦ノ外連名投票ノ法ヲ用アルコトヲ得ヘキ規定ヲ加ヘラレタリ(第五十一條)

一 町村會議ノ傍聽禁止

舊法ニ於テハ議長ノ意見ヲ以テ傍聽ヲ禁スルコトヲ得ルノ外何等ノ規定ナカリシモ新制ニ於テハ右ノ外府縣制ノ規定ヲ斟酌シ議員ニ

人以上ノ發議ニ依リ傍聽禁止ヲ可決シタルトキ（此場合ニハ議員ノ發議ハ討論ヲ須ヒス其可否ヲ決スルコト）モ同様公開セサルコト、ナレリ（第五十二條）

一 町村會議長ノ職務權限

舊法ニ於テハ町村會ハ議長之ヲ招集スルノ規定ナリシヲ以テ其開會閉會及延會ヲ命スルハ當然議長ノ職權ニ屬シタルモ新制ニ於テハ町村會ノ招集ハ町村長ノ職權ニ屬スルヲ以テ（第四十七條）其開閉モ從テ町村長ニ屬シ議長ハ單ニ其日ノ會議ヲ開閉シ其他會議ノ總理及其順序ヲ定メ議場ノ秩序ヲ保持スルノ職權ヲ有スルニ止マリ其權限ヲ縮少セラレタリ（第五十三條）

一 町村會議員ニ對スル禁制

舊法ニ於テ規定セラレタルモノ、外新制ニ於テハ議員ハ會議中無禮ノ言ヲ用ヒ又ハ他人ノ身上ニ涉リ言論スルコトヲ得サル旨規定セラレタリ（第五十四條）

一 議長ノ議員ニ對スル取締權

舊法ニ於テハ議員ニ對スル取締ニ關シ別段ノ規定ナカリシモ新制ニ於テハ府縣制ノ規定ヲ斟酌シ會議中本法又ハ會議規則ニ違ヒ其他議

場ノ秩序ヲ紊ス議員アルトキハ議長ハ之ヲ制止シ又ハ發言ヲ取消サシメ命ニ從ハサルトキハ當日ノ會議ヲ終ル迄發言ヲ禁止シ又ハ議場外ニ退出セシメ必要アル場合ニ於テハ警察官吏ノ處分ヲ求ムルコトヲ得セシメ議場騷擾ニシテ整理シ難キトキハ議長ハ當日ノ會議ヲ中止シ又ハ之ヲ閉ツルコトヲ得ヘキ規定ヲ設ケラレタリ（第五十五條）

一 議長ノ傍聽人ニ對スル取締權

舊法ニ於テハ傍聽者ニ於テ公然贊成又ハ擯斥ヲ表シ若クハ喧擾ヲ起ス者アルトキハ議長ハ之ヲ議場外ニ退出セシムルコトヲ得ルノ規定ナリシモ新制ニ於テハ府縣制ノ規定ヲ斟酌シ舊法ニ定ムルモノ、外會議ノ妨害ヲ爲ストキハ議長ハ之ヲ制止シ命ニ從ハサルトキハ之ヲ退場セシメ必要アル場合ニ於テハ警察官吏ノ處分ヲ求ムルコトヲ得ヘキ旨規定シ尙傍聽人ノ多數カ喧擾ヲ極メ爲メニ傍聽席騷擾ナルトキハ議長ハ總テノ傍聽人ヲ退場セシメ必要ナル場合ニ於テハ警察官吏ノ處分ヲ求ムルコトヲ得ヘキ規定ヲ加ヘラレタリ（第五十六條）

一 町村會書記

舊法ニ於テハ町村會ノ書記ハ議長之ヲ選任スト規定セラレタルノミニシテ其權限ニ關シ明文ヲ缺キタルモ新制ニ於テハ右ノ外書記ハ議

長ニ隸屬シテ庶務ヲ處理スヘキ旨規定セラレタリ(第五十七條)

一 町村會ノ會議錄

舊法ニ於テハ議事錄トアリタルヲ新制ニ於テハ會議錄ト改メ尙會議錄ニ署名スヘキ議員ノ選出ニ就テハ舊法中特ニ規定ナカリシモ新制ニ於テハ其議員ハ町村會ニ於テ之ヲ定ムヘキ旨規定セラレタリ(第五十八條)

一 町村會ノ會議規則及傍聽人取締規則

舊法ニ於テハ會議細則ヲ設クヘキ規定ナリシモ新制ハ會議規則及傍聽人取締規則ヲ設クヘキ旨ヲ規定シ尙舊法ニハ其細則ニ違背シタル議員ニ科スヘキ過怠金貳圓以下ノ罰則ヲ設クルコトヲ得トアリタルヲ新制ハ會議規則ニハ本法及會議規則ニ違反シタル議員ニ對シ町村會ノ議決ニ依リ三日以内出席ヲ停止シ又ハ貳圓以下ノ過怠金ヲ科スル規定ヲ設クルコトヲ得ト規定セラレタリ(第五十八條)

町 村 吏 員

組織選舉及任免

一 町村長及助役ノ地位

舊法ニ於テハ町村長及助役ヲ有給ト爲スニ就テハ抽象的ニ町村ノ情

況ニ依リ或ハ大ナル町村ニ於テハ等ノ文字ヲ用ヒラレタルモ新制ニ於テハ何等制限的ノ規定ナシ又舊法ハ有給助役ヲ一人ニ限リタルモ新制ハ特別ノ明文ナシ然レトモ町村長及助役ハ名譽職ヲ以テ原則トナスニ依リ不得已場合ノ外ハ有給トナスヲ得サルハ勿論ナリトス尤モ町村ノ情況ニ依リ餘儀ナキ場合ハ舊法ト同様町村條例ヲ以テ之ヲ規定スヘキモノトス(第六十條及第六十一條)

一 町村長及助役ノ選舉若クハ選定

町村長及助役ハ其町村公民中選舉權ヲ有スル者タルコトヲ以テ被選舉權ノ要件トシ舊法ニ於テ規定セラレタル滿三十歲以上ノ制限ハ新制ニ於テ之ヲ除カレタリ尙舊法ハ町村長及助役共町村會ニ於テ之ヲ選舉スヘキ規定ナリシモ助役ニ關シテハ町村長其職ニ在ラサル場合ヲ除クノ外町村長ノ推薦ニ依リ町村會之ヲ定ムルコト、ナレリ(第六十三條)

一 町村長及助役ノ認可並ニ退職

町村長及助役ノ選舉若クハ選定ニ就テ府縣知事ノ認可ヲ受クヘキハ舊法ノ規定ト異ナル所ナシト雖モ舊法ニ於テハ府縣知事認可ヲ與ヘサルトキハ府縣參事會ノ意見ヲ聞クコトヲ要シ若シ府縣參事會同意

セサルモ猶府縣知事ニ於テ認可スヘカラスト爲ストキハ自己ノ責任ヲ以テ之ニ認可ヲ與ヘサルコトヲ得ヘキ旨規定シアリタルモ新制ニ於テハ之ヲ除カレタリ

有給町村長及有給助役ノ任意退職ニ關スル規定中舊法ニ於テハ此場合ニ於テハ退隱料ヲ受クルノ權ヲ失フモノトストアリタルモ右ハ其町村有給吏員退隱料條例中ニ規定スヘキ條項ナルヲ以テ新制ニ於テハ之ヲ除カレタリ(第六十四條)

一 町村長及助役ノ兼職其他

町村長及助役ハ第十五條第二項ニ掲ケタル職ト兼ヌルヲ得サルハ舊法ノ規定ト異ナル所ナシト雖モ(新制ハ第十五條第二項第一號中所屬府縣郡ノ官吏ノ外有給吏員ヲ加ヘ同第二號中舊法ハ單ニ有給ノ町村吏員トアリタルヲ新制ハ其町村ノ有給吏員トナシ同第三號中檢察官及警察官吏トアリタルヲ新制ハ檢察警察官吏及收稅官吏トセラレタリ)新制ハ町村長及助役カ其地位ヲ利用シテ私曲ヲ圖ルノ弊ヲ防カンカ爲メ其町村ニ對シ請負ヲ爲シ及同一ノ行爲ヲ爲ス者ノ支配人又ハ主トシテ同一ノ行爲ヲ爲ス法人ノ無限責任社員重役及支配人タルコトヲ得サル規定ヲ加ヘタリ

舊法ニ於テハ父子兄弟タル緣故アルモノハ同時ニ町村長及助役ノ職ニ在ルコトヲ得ス若シ其緣故アル者助役ノ選舉ニ當ルトキハ其當選ヲ取消シ其町村長ノ選舉ニ當リテ認可ヲ得ルトキハ其緣故アル助役ハ其職ヲ退クヘキ規定ナリシモ新制ニ於テハ町村長ト父子兄弟タル緣故アル者ハ助役ノ職ニ在ルコトヲ得スト規定セラレタルヲ以テ若シ右ニ該當スル者助役ニ選舉セラレタルトキハ其選舉ハ無効ニ屬スルモノトス又舊法ニ於テハ父子兄弟タル緣故アル者同時ニ助役ノ職ニ在ルコトヲ禁止シタル明文ナカリシカ新制ニ於テハ之ヲ明記シ助役トナリタル後ニ於テ父子兄弟ノ緣故ヲ生シタルトキハ年少者其職ヲ失フ旨規定セラレタリ(第六十五條)

有給町村長及有給助役ノ職業上ノ制限ニ關スル規定ハ新制ニ於テ著シク其範圍ヲ擴大セラレタリ舊法ニ於テハ他ノ有給ノ職務ヲ兼任シ又ハ株式會社ノ社長及重役トナルコトヲ得スト規定セラレタルニ對シ新制ニハ會社ノ重役又ハ支配人其他ノ事務員タルコトヲ禁シ又郡長ノ許可ヲ受クルニアラサレハ從事スルコトヲ得サル業務中舊法ハ其他ノ營業ト規定シアリタルモ新制ニ於テハ他ノ報償アル業務ト規定セラレタリ(第六十六條)

一 町村收入役及副收入役

新制ニ於テ特別ノ事情アル町村ニ於テハ町村條例ヲ以テ副收入役一人ヲ置クコトヲ得ルノ規定ヲ設ケラレ舊法ニ於テ收入役ノ選任ニ對シ郡長ニ於テ認可ヲ與ヘサルトキハ郡參事會ノ意見ヲ聞クコトヲ要シ郡參事會同意セサルモ猶郡長ニ於テ認可スヘカラスト爲ストキハ自己ノ責任ヲ以テ認可ヲ與ヘサルコトヲ得ルノ規定アリシモ新制ハ之ヲ設ケサルト共ニ第六十五條第一項町村長及助役ノ兼職其他ニ關スル禁止規定並ニ第六十六條有給町村長及有給助役ノ職業上ノ制限ニ關スル規定ヲ收入役及副收入役ニ準用シ第六十三條第四項有給町村長及有給助役ノ公民權得喪ニ關スル規定ヲ收入役ニ準用シ尙町村長又ハ助役ト父子兄弟タル緣故アル者ハ收入役又ハ副收入役ノ職ニ在ルコトヲ得ス收入役ト父子兄弟タル緣故アル者ハ副收入役ノ職ニ在ルコトヲ得サル規定ヲモ加ヘラレタリ(第六十七條)

一 區長及其代理者

舊法ニ於テハ町村ノ區域廣濶ナルトキ又ハ人口稠密ナルトキハ處務便宜ノ爲メ町村會ノ議決ニ依リ區ヲ分チ區長及其代理者各一名ヲ置クコトヲ得ヘキ旨規定セラレタルモ新ニ於テハ町村ノ區域及人口等ノ制限ヲ撤シ其規定ハ一般的トナレリ又舊法ハ財産及營造物ニ關スル事務ノ爲メ區會ヲ設クル區ニ於テハ其區會ニ於テ區長及其代理者ヲ選舉スヘキ規定ナリシモ新制ハ右ノ如キ特例ヲ設ケス等シク町村會ニ於テ選舉スルコト、ナレリ(第六十八條)

一 町村長及助役其他ノ吏員失職及職務停止

名譽職町村長及名譽助役其他町村公民ニ限リテ擔任スヘキ職務ニ在ル吏員ニシテ公民權ヲ喪失シ若クハ停止セラレタルトキ又ハ第九條第三項ノ場合ニ當ルトキ其職ヲ失フヘキ規定ハ舊法ト異ナル所ナシト雖モ職ニ就キタルカ爲メ町村公民タル者ニ關シテハ舊法ニ規定セラレタルモノ、外禁治産若クハ準禁治産ノ宣告ヲ受ケタルトキハ其職ヲ失フヘキ規定ヲ設ケ尙舊法ニ於テハ公權剝奪若クハ停止ヲ附加ス可キ重罪輕罪ノ爲メ豫審ニ付セラレタルトキハ監督官廳ハ其職ヲ停止スルコトヲ得ト規定セラレタルモ新制ハ禁錮以上ノ刑ニ當ルヘキ罪ノ爲メ豫審又ハ公判ニ付セラレタルトキハ同様職務ノ執行ヲ停止スルコトヲ得ヘク規定シ尙此場合ニハ其停止期間報酬又ハ給料ヲ支給スルコトヲ得サル規定ヲモ加ヘラレタリ(第七十條)

一 有給町村長有給助役收入役及副收入役以外ノ有給吏員

舊法ニ於テハ書記其他ノ附屬員ハ町村長ノ推薦ニ依リ町村會之ヲ選任スルノ規定ナリシモ新制ニ於テハ町村長之ヲ任免スヘク規定シ又舊法ハ町村長ニ相當書記料ヲ給與シテ書記ノ事務ヲ委任スルコトヲ得ヘキ規定アリタルモ新制ニハ之ヲ省カレタリ(第七十一條)

職務權限

一 町村長ノ職務權限

舊法ニ於テハ町村長ハ町村ヲ統轄シ其行政事務ヲ擔任スト規定セラレタルモ新制ニ於テハ町村長ハ町村ヲ統轄シ町村ヲ代表スト更メ其擔任スル事務ノ概目中舊法ニ於テハ單ニ町村會ノ議事ヲ準備シト規定シアリタルモ新制ニ於テハ町村會ノ議決ヲ經ヘキ事件ニ其議案ヲ發シト明記シ尙舊法ニ於テ町村ノ權利ヲ保護シ又外部ニ對シテ町村ヲ代表シ町村ノ名義ヲ以テ其訴訟並和解ニ關シ又ハ他廳若クハ人民ト商議スル事ヲ規定シアリタルモ右ノ如キハ其町村ヲ代表スヘキ權限ヲ有スル町村長ノ職務トシテ當然ノ事ニ屬スルヲ以テ新制ニ於テハ之ヲ削除セラレタルノ外舊法ニ於テ其他法律命令又ハ上司ノ指令ニ依テ町村長ニ委任シタル事務ヲ處理スル事ト規定シアリタルモ新制ニ於テハ其他法令ニ依リ町村長ノ職權ニ屬スル事項ト規定セラレ

タリ其他舊法ニ於テハ町村會ノ議決ニ依リ加入金ヲ賦課徵收スル事ニ就テ其規定ヲ缺キタルモ新制ニ於テハ之ヲ加ヘラレタリ(第七十二條)

一 議決機關ニ對スル匡正權

舊法ニ於テハ町村會ノ議決其權限ヲ越ヘ法律命令ニ背キ又ハ公衆ノ利益ヲ害スト認ムルトキ(公衆ノ利益ヲ害スト認ムル議決ニ就テハ新制ハ別項ニ之ヲ規定ス)ト規定シアリタルモ新制ニ於テハ町村會ノ議決ノミナラス其選舉ニ加フルト共ニ其權限ヲ越ヘ法律命令ニ背ク場合ノ外會議規則ニ背クト認ムル場合ヲモ加ヘ町村長カ再議ニ付シタル場合ニ於テ町村會其議決ヲ改メサルトキハ舊法ニ於テハ郡參事會ノ裁決ヲ請フヘキ旨ヲ規定シアリタルモ新制ニハ府縣參事會ノ裁決ヲ請フヘキモノトシ特別ノ事由アルトキハ再議ニ附セスシテ直ニ裁決ヲ請フコトヲ得セシメ監督官廳ハ町村長ヨリ府縣參事會ヘ裁決ノ申請アリタル場合ノ外其議決又ハ選舉ヲ取消スコトヲ得ルノ規定ヲ設ケ尙舊法ニ於テ府縣參事會ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得タル規定ニ對シ新制ハ郡長ノ處分ニ不服アル町村長又ハ町村會ハ府縣參事會ニ訴願スルコトヲ得其裁決及再議ニ付

シタル場合ニ於テ尙其議決ヲ改メサルトキハ町村長ノ裁決申請及特別ノ事由アリテ再議ニ付セス直ニ裁決ヲ申請シタル場合ニ於ケル府縣參事會ノ裁決並ニ府縣知事ノ爲シタル議決又ハ選舉ノ取消處分ニ不服アル町村長又ハ町村會ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得セシメ府縣參事會ノ裁決及府縣知事ノ處分ニ付テハ府縣知事ヨリモ訴訟ヲ提起スルコトヲ得セシメラレタリ

舊法中ニ規定セラレタル公衆ノ利益ヲ害スト認ムル議決ニ就テハ新制ハ公益ヲ害シト更メ尙新ニ其議決カ町村ノ收入ニ關シ不適當ナリト認ムル場合ノ規定ヲ加ヘラレタリ其再議ニ付シ執行ヲ停止スル場合ハ舊法ト異ナル所ナシト雖モ再議ニ付シタル場合ニ於テ町村會其議決ヲ改メサルトキハ町村長ハ郡長ノ處分ヲ請ヒ其處分ニ不服アル町村長又ハ町村會ハ府縣參事會ニ訴願シ其裁決ニ不服アルトキハ內務大臣ニ訴願スルコトヲ得セシメ尙府縣參事會ノ裁決ニ付テハ府縣知事ヨリモ訴訟ヲ提起スルコトヲ得セシメラレタリ(第七十四條)

一町村會ノ議決スヘキ事件ニ對スル町村長ノ特別處置
舊法ニ於テハ町村會ニ於テ議決スヘキ事件ヲ議決セサルトキハ郡參事會之ニ代テ議決スルノ規定ナリシカ新制ニ於テハ右ノ外町村會成

立セサルトキ又ハ第四十八條但書ノ場合ニ於テ仍會議ヲ開クコト能ハサルトキ(出席議員二人ニ滿タサル場合ヲ指ス、二人以上ナルトキハ第四十八條但書ニ依テ會議ヲ開クコトヲ得)及町村會ノ決定スヘキ事件ニ關シ右各事項ノ爲メ決定スルニ至ラサルトキハ町村長ハ郡長ニ具狀シテ指揮ヲ請ヒ町村會ノ議決又ハ決定スヘキ事件ヲ處置スルコトヲ得セシメ(町村會ノ規定スヘキ事件ニ對スル町村長ノ處置ニ關シテハ各本條ノ規定ニ準シ訴願又ハ訴訟ヲ提起スルコトヲ得)尙町村長ノ處置ニ就テハ次回ノ會議ニ於テ之ヲ町村會ニ報告スヘキ規定ヲ設ケラレタリ(第七十五條)

一町村長ノ專決處分
町村會ニ於テ議決又ハ決定スヘキ事件ニ關シ臨時急施ヲ要スル場合ニ於テ町村會成立セサルトキ又ハ町村長ニ於テ之ヲ召集スルノ暇ナシト認ムル場合ニ關シ舊法ニ於テハ其處置方法ニ關シ何等ノ規定ナカリシカ新制ニ於テハ右ノ如キ場合ハ町村長ハ之ヲ專決シ(町村長ノ爲シタル此處分ニ對シテハ各本條ノ規定ニ準シ訴願又ハ訴訟ヲ提起スルコトヲ得)次回ノ會議ニ於テ之ヲ町村會ニ報告スヘキ規定ヲ設ケラレタリ(第七十六條)

一 町村長其他町村吏員ノ國府縣及公共團體ノ事務管掌並其費用負擔
 舊法ニ於テハ其管掌事務ノ概目ヲ掲クルト共ニ國ノ行政並ニ府縣郡
 ノ行政ニシテ町村ニ屬スル事務ト規定シ其他ノ公共團體ノ事務ニ就
 テハ明文ヲ缺キタルヲ以テ新制ニ於テハ之ヲ加ヘラレタルノ外舊法
 ハ其管掌者ハ町村長及助役（但助役ハ分掌セシメラレタル場合ノミ
 ニ限ル）ニ限ラレタルモ新制ハ町村長ノ外其他ノ町村吏員ト規定シ
 其管掌者ノ範圍ヲ擴メラレタリ而シテ其事務執行ニ要スル費用ハ法
 令中別段ノ規定アルモノヲ除キ舊法ト同様其町村ノ負擔トセラレタ
 リ（第七十七條）

一 町村長ニ屬スル事務分掌及臨時代理

舊法ニ於テハ其管掌ヲ命セラレタル國府縣郡ノ行政事務ヲ助役ニ分
 掌セシムル場合ノ外監督官廳ノ許可ヲ要セサリシモ新制ニ於テハ町
 村ノ事務ヲ分掌セシムル場合ニ於テモ同様其許可ヲ要スルコト、シ
 （町村事務ノ分掌ニ就テ町村會ノ同意ヲ得ルコトヲ要スルハ舊法一
 同一ナリ）又舊法ハ單ニ助役ニノミ分掌セシムルコトヲ認メタルモ
 新制ハ助役ノ外區長ヲモ加ヘラレタリ
 舊法ニ於テハ町村吏員ヲシテ町村長ニ屬スル事務ノ一部ヲ臨時代理

セシムルノ規定ヲ缺キタルモ新制ハ特ニ之ヲ加ヘラレタリ（第七十
 八條）

一 助役ノ職務權限

舊法ニ於テハ町村長故障アルトキ之ヲ代理スヘキ助役數名アルトキ
 ハ上席者ニ於テ其代理ヲ爲スヘキ規定ナリシモ新制ニ於テハ豫メ町
 村長ノ定メタル席順ニ依リ代理スヘキ旨規定セラレタリ（第七十九
 條）

一 收入役及副收入役ノ職務權限

舊法ニ於テハ收入役ノ職務權限ハ町村出納其他會計事務ニ限定セラ
 レタルモ新制ニ於テハ第七十七條ニ國府縣其他公共團體ノ事務ヲ町
 村長ノ外其他ノ町村吏員ニ管掌セシムヘキ規定ヲ設ケラレタルノ結
 果收入役ハ舊法ニ規定セル職務ノ外第七十七條ノ事務即チ國府縣其
 他公共團體ノ出納其他ノ會計事務（但シ法令中別段ノ規定アルモノ
 ハ此限ニアラス）ヲ掌ルヘキ旨規定セラレタリ
 舊法ニ於テハ收入役故障アル場合ニ於テ其職務ヲ代理スヘキ者ニ關
 シ何等ノ規定ナカリシカ新制ニ於テハ副收入役ヲ置カサル町村ニ於
 テハ收入役故障アルトキ之ヲ代理スヘキ吏員ヲ定メ郡長ノ認可ヲ受

クヘキ規定ヲ設ケラレタリ副収入役ノ職務權限ニ就テハ收入役ノ事務ヲ補助シ收入役故障アルトキハ之ヲ代理スヘキ旨規定セラレタリ又町村長ハ郡長ノ許可ヲ得テ收入役ノ事務ノ一部ヲ副収入役ニ分掌セシムルコトヲ得ヘキ規定（但シ町村ノ出納其他ノ會計事務ニ付テハ豫メ町村會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス）ヲ設ケラレタリ（第八十條）

一 委員ノ職務權限

舊法ニ於テハ委員ハ町村行政ノ一部ヲ分掌シト規定シアリタルモ新制ニ於テハ斯ル規定ヲ設ケス又舊法ハ營造物ヲ管理シ若クハ監督シ又ハ一時ノ委託ヲ以テ事務ヲ處辨スルモノトストアリタルモ新制ハ町村長ノ指揮監督ヲ承ケ財産又ハ營造物ヲ管理シ其他委託ヲ受ケタル町村ノ事務ヲ調査シ又ハ之ヲ處辨スト更メ其他舊法ニハ委員長ハ委員ノ議決ニ加ハルノ權ヲ有ス助役ヲ以テ委員長ト爲ス場合ニ於テモ町村長ハ隨時委員會ニ出席シテ其委員トナリ其議決ニ加ハルノ權ヲ有スト規定シアリタルモ新制ニハ之ヲ省カレタリ（第八十二條）

一 第七十一條ノ有給吏員ノ職務權限

舊法ニ於テハ書記ハ町村長ニ屬シ庶務ヲ分掌スト規定セラレタルモ新制ニハ第七十一條ノ吏員（町村長、助役、收入役、副収入役、區

長、區長代理者及委員ヲ除ク）ハ町村長ノ命ヲ承ケ事務ニ従事スト規定セラレタリ（第八十三條）

給料及給與

一 町村會議員ノ費用辨償

舊法ニ於テハ名譽職員ハ職務ノ爲メニ要スル費用ノ辨償ヲ受クルコトヲ得ルノ規定アリシモ所謂名譽職員中ニハ議員ヲ包含スルヤ否ニ付主務省ト行政裁判所ト意見ヲ異ニシ之レカ爲メ事務取扱上支障ヲ感スルコトナキニアラサリシカ新制ニ於テハ特ニ町村會議員等ト明記シアルヲ以テ疑義ヲ容ルノ、ノ餘地ナキニ至レリ（第八十四條）

一 費用辨償額及報酬額ノ支給方法

舊法ニ於テハ費用辨償額及報酬額ノ支給方法ニ關シテハ明記セル條文ナカリシモ新制ニ於テハ町村會ノ議決ヲ經テ之ヲ定ムヘキ旨明カニ規定セラレタリ（第八十四條第三項）

一 町村吏員ノ給料額

舊法ニ於テハ町村吏員給料額中有給町村長及助役並ニ收入役ニ關スルモノハ郡長ノ認可ヲ受クルコトヲ要スル規定ナリシモ新制ニ於テハ之ヲ町村會ノ議決ニ任セリ然レトモ其趣旨ハ絶對的ニ町村ノ自由

ニ委シタルニアラス監督官廳ハ常ニ注意ヲ拂ヒ其給與ハ相當ナリヤ否ヤヲ監視シ甚シク不當ナルニ於テハ之ヲ矯正スルコトヲ得ヘシ要スルニ舊法ニ於ケル事前ノ監督ヲ事後ニ移シタルモノト見テ可ナリ
(第八十五條、第四百十一條)

一 有給吏員ノ退職給與金、死亡給與金、遺族扶助料

舊法ニ於テハ町村條例ノ規定ヲ以テ有給吏員ノ退職料ヲ設クルコトヲ得トノ規定アリシモ退職給與金、死亡給與金、遺族扶助料ニ關シテハ法文上ニ見レタルモノナカリシヲ以テ是等ノ給與ニ關シテハ退隱料ニ關スル條例中ニ之レカ規定ヲ設ケタル例ナリシカ新制ニ於テハ法文中ニ之ヲ加ヘ以テ其意ノアル處ヲ明ニセラレタリ(第八十六條)

舊法ニ於テハ第七十九條ニ於テ退隱料ヲ受クル者官職又ハ公共團體ノ職務ニ就キ給料ヲ受クルトキハ其間之ヲ停止スルノ規定ヲ置キタリシカ新制ニ於テハ是等規定ナキヲ以テ如上ノ停止ヲ必要トスル向ハ町村條例中ニ規定スルヲ要ス

一 費用辨償、報酬、給料、旅費、退隱料、退職給與金死亡給與金、遺族扶助料ノ給與ニ關スル異議

舊法ニ於テハ有給吏員ノ給料、退隱料其他ノ給與ニ關シ異議アルトキハ關係者ノ申立ニ依リ郡參事會之ヲ裁決シ其裁決ニ不服アル者ハ府縣參事會ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得ル規定ナリシカ新制ニ於テハ是等給與ニ關スル異議ハ之ヲ町村長ニ申立ツルコトヲ得ルコト、ナレリ而シテ其異議ハ町村會ノ決定ニ付シ其決定ニ不服アルトキハ府縣參事會ニ訴願シ其裁決又ハ町村長ヨリ提起シタル訴願ノ裁決ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得且其ノ町村會ノ決定ニ付テハ町村長ヨリモ訴願訴訟ヲ提起スルコトヲ得又其ノ府縣參事會ノ裁決ニ付テハ府縣知事ヨリモ訴訟ヲ提起シ得ルコト、ナレリ(第八十七條)

町村ノ財務

財産營造物及町村税

一 基本財産及積立金額

舊法ニ於テハ町村ノ有スル不動産及積立金額ハ必ス之ヲ基本財産ト爲スヘキ規定ナリシヲ以テ役場、學校及病院、病舎等ノ敷地及建物ノ如キ收益ノ目的ニアラサルモノマテモ之ヲ基本財産ト爲シタルカ爲メ財産收益ノ狀況輒ク之ヲ知ルヘカラスシテ財務整理上不便尠シ

トセス是ヲ以テ新制ニ於テハ收益ノ爲メニスル町付ノ財産ハ基本財産トシテ之ヲ維持スヘキ制ニ改メラレ又舊法ニ於テハ町村ニ於テ特別ノ基本財産若クハ基本財産ニ非ラサル金額等ヲ積立ツルコトヲ得ルノ明文ナカリシモ町村ノ狀況ニ依リテハ或ル事業例ヘハ水道ノ布設、道路ノ修築、公園ノ維持等ニ關シ特別ノ基本財産ヲ蓄積シ又或ハ罹災救助等ノ爲メ一定ノ期間特別ノ積立金ヲ設クル必要ヲ見ルコトアルヘシ是ヲ以テ新制ニ於テハ町村ニ監督官廳ノ許可ヲ受ケ特定ノ目的ノ爲メニ特別ノ基本財産ヲ設ケ若クハ金額等ヲ積立ツルコトヲ得ルノ規定ヲ設ケラレタリ(第八十九條)

一 財産ノ使用方法ニ關スル町村規則

舊法ニ於テハ營造物ニ關シテハ町村規則ヲ設クルコトヲ得ノ規定アリシモ財産ニ付テハ何等規定ナカリシカ新制ニ於テハ舊來ノ慣行ニ依リ町村住民中特ニ使用權ヲ有スル者アル財産ノ使用方法ニ關シ町村規則ヲ設クルコトヲ得ノ規定ヲ設ケラレタリ(第九十一條)

一 寄附及補助

舊法ニ於テハ町村カ寄附又ハ補助ヲ爲スヲ得ルノ權能ヲ認メタル規定明瞭ナラサルカ爲メ主務省ト行政裁判所ト解釋ヲ異ニシ疑議ヲ生

シタルコトアリシト雖モ元來町村ハ其團體ノ公益ヲ增進スルコトヲ目的トシテ存在スルモノナレハ其目的ヲ達スルニハ或ハ他ノ事業ヲ補助シテ其結果自己ノ公益ヲ企圖スルノ方法ニ依ルモ敢テ不可ナリトセス故ニ新制ニ於テハ町村ハ他ノ團體ノ事業タルト將タ一私人ノ事業タルトヲ問ハテ直接其町村ノ公益ニ關係アルニ於テハ之ニ對シ監督官廳ノ許可ヲ受ケ寄附又ハ補助ヲ爲スヲ得ルノ規定ヲ設ケラレタリ然レトモ茲ニ最モ注意ヲ要スルハ寄附又ハ補助ヲ爲スニハ直接其町村ノ公益ニ關係アル事業ナルヲ要シ且又其町村自体ノ財政狀態如何ヲ顧慮セサル可カラサルコト是ナリ(第九十五條、第四百十七條)

一 物件又ハ行爲ニ對スル課稅

舊法ニ於テハ町村内ニ住居ヲ構ヘス又三箇月以上滞在スルコトナシト雖トモ町村内ニ土地家屋ヲ有シ又ハ店舗ヲ定メテ營業ヲ爲ストキハ之ヲ以テ納稅義務者トナスノ規定アリシモ町村内ニ於テ土地、家屋ヲ使用シ若ハ占有シ又ハ土地家屋以外ノ物件ヲ所有シ使用シ若クハ占有シ又ハ特定ノ行爲ヲ爲ス者ニ對シテハ町村稅ヲ賦課シ得ノ明文ナリシ然レトモ舊來ノ慣行上是等ノ物件又ハ行爲ニ對シ課稅スルハ町村ニ於テ重要ナル財源ナリト認メラル、場合ナキニアラサルノ

ミナラス、輓近町村ノ費用漸次増加シ之カ財源擴充スルノ必要アルヲ以テ新制ニ於テハ右等ノ物件又ハ行爲ニ對シ課稅ノ途ヲ開カレタリ
(第九十九條)

一 町村外ニ於テ所有、使用、占有スル土地、家屋、物件若ハ其ノ收入又ハ町村外ニ設ケタル營業所ノ營業若クハ其ノ收入ニ對スル町村稅舊法ニ於テハ是等ニ關シ明瞭ナル規定ナカリシカ故ニ疑ヲ容ル、餘地ナキニアラサリシカ新制ニ於テハ明カニ之ヲ規定シ課稅スルコトヲ得サルコト、ナレリ(第百條第一項)

一 町村ノ内外ニ涉ル營業又ハ收入ニ對スル町村稅

舊法ニ於テハ所得ニ對スル規定アルニ過キサリシカ新制ニ於テハ是レカ規定ヲ設ケ其細目ニ至リテハ之ヲ勅令ノ規定ニ讓レリ而シテ其勅令ハ明治四十四年九月二十一日勅令第二百四十一號ヲ以テ發布セラレタリ(第百條第二項)

一 町村稅ヲ賦課スルヲ得サルモノ、限界

舊法ニ於テハ其第九十六條及第九十七條等ニ列記シアリタルモ或ル點ニ付テハ明瞭ナラサルモノアリシモ新制ニ於テハ明瞭ナル規定ヲ設ケ其限界ヲ明ニセリ今舊法ト異ナル點ヲ列記セハ左ノ如シ

舊法ニ於テハ教會所說教所ノ用ニ供スル建物及其構内地ニ對シテハ何等規定ナカリシモ新制ニ於テハ之等ニ對シ課稅スルコトヲ得サルモノトセリ又舊法ニ於テハ社寺、政府、府縣、郡、市、町村及公共組合ニ屬スル土地、營造物及家屋ニシテ之ヲ有料ニテ使用セシムルモノ及使用收益者ニ對シテハ課稅外ニ置クモノナリヤ否ヤ明瞭ナラサリシカ新制ニ於テハ是等ノモノニ對シテハ課稅スルヲ得ルコト、セリ其ノ他舊法ニ於テハ國有ノ土地ニ對シテハ直接ノ公用ニ供スル土地及山林又ハ荒蕪地ニ對スル規定アリト雖トモ明瞭ナラサル點アリシカ新制ニ於テハ國ノ事業又ハ行爲及國有ノ土地、家屋、物件ニ對シテハ國ニ對シ課稅スルコトヲ得スト規定セラレタリ(第百一條)

舊法ニ於テハ學校、病院其他學藝美術及慈善ノ用ニ供スル土地、營造物及家屋ハ課稅外ニ措キタリシカ新制ニ於テハ是等ノモノニシテ國、府縣、郡、市町村其他ノ公共團體ノ施設ニ係ルモノ、外ハ別段ノ規定ヲ見サルニ至レリ(第百一條第二項第三項)
以上ノ外課稅スルコトヲ得サルモノハ別ニ法律勅令ノ定ムル所ニ依ルハ勿論ナリ(第百一條第五項)

一 數人ヲ利スル營造物及財産並ニ町村ノ一部ヲ利スル營造物及財産ノ設置維持

舊法ニ於テハ數箇人ニ於テ專ラ使用スル處ノ營造物及町村内ノ一部ニ於テ專ラ使用スル營造物ノ修理保存ノ費用ハ必ス之ヲ關係者ニ賦課スヘキ規定ナリシカ新制ニ於テハ維持其他必要ナル費用ハ「郡長ノ許可ヲ得テ」其關係者ニ負擔セシムルコトヲ得ト規定シ又財産ニ付テモ營造物ノ例ニ依ルコト、ナレリ（第百二條第一項第二項第四項第百四十七號）

一 町村税及其ノ賦課徵收ノ方法

舊法ニ於テハ本法ニ規定シタルモノ、外命令ヲ以テ町村税及其ノ賦課徵收ノ方法ヲ定メ得ルノ規定ナカリシカ新制ニ於テハ勅令ヲ以テ之ヲ定メ得ルノ規定ヲ設ケラレ明治四十四年九月二十一日勅令第二百四十二號ノ如キ此規定ニ基キ發セラレタルモノナリ（第百二條）

一 夫役、現品ノ賦課

舊法ニ於テハ町村カ夫役、現品ヲ賦課スルニ急迫ノ場合ニハ直接町村税ヲ準率ト爲スヲ要セサリシヲ以テ勢ヒ賦課ノ公平ヲ失シ且弊害ノ之ニ伴フノ虞ナキ能ハサリシカ新制ニ於テハ急迫ノ場合ト雖モ現

品ノ賦課ニ付テハ郡長ノ許可ヲ受ケタル場合ノ外總テ直接町村税ヲ準率ト爲スヲ要スルコト、ナレリ（第百五條）

一 非常災害ノ場合ニ於ケル土地、物品ノ使用、收用及防禦從事

舊法ニ於テハ是等ニ關スル規定ナカリシモ新制ニ於テハ非常災害ノ爲メ必要アルトキハ町村ハ他人ノ土地ヲ一時使用シ又ハ其土石竹木其他ノ物品ヲ使用シ若ハ收用スルコトヲ得ト規定シ又非常災害ノ場合ニ於テ危險防止ノ爲メ必要アルトキハ町村長、警察官吏又ハ監督官廳ハ町村内ノ居住者ヲシテ防禦ニ從事セシムルコトヲ得ル規定ヲ設ケ以テ應急ノ處置ニ便スルコト、ナレリ而シテ此使用若クハ收用ハ賦課ニアラサルヲ以テ其損失ノ補償ヲ要スルパ勿論ナリ（第百六條第一項第二項）

新制ニ於テハ前述ノ如ク應急處置ノ便法ヲ設ケタルト同時ニ其補償金額及土地ノ一時使用ノ處分ニ對シ被用者又ハ被處分者ノ訴願權ヲ認メ補償金額ノ協議整ハサル場合ニ於テ府縣知事カ鑑定人ノ意見ヲ徵シ決定シタルニ對シ不服アルトキハ內務大臣ニ訴願スルコトヲ得又土地ノ一時使用ノ處分ニ對シ不服アルトキハ郡長ニ訴願シ其裁決ニ不服アルトキハ府縣知事ニ訴願シ其裁決ニ不服アルトキハ內務大

臣ニ訴願スルコトヲ得ルコト、ナレリ(第六條第三項第五項)

一 町村税ノ賦課ニ關スル臨檢及検査

舊法ニ於テハ臨檢及検査ニ關スル規定ナカリシカ新制ニ於テハ之レカ規定ヲ設ケラレタリ是レ町村税ノ逋脱ヲ防キ公正ヲ保持スル上ニ於テ必要ナル權力ニシテ適切ナル規定ト云フヘシ而シテ臨檢及検査ニ付必要ナル事項ヲ畧述スレハ左ノ如シ(第七條)

一 町村吏員カ臨檢及検査ヲ爲スニハ町村税ノ賦課ニ關シ必要ナル場合ナルヲ要ス

二 一定ノ時間(日出ヨリ日没マテ營業者ニ關シテハ其營業時間内)ニ於テ爲サ、ルヘカラス

三 臨檢及検査ヲ爲ス吏員ハ其身分ヲ證明スヘキ證票ヲ携帯スルヲ要ス

四 臨檢シ得ル場所ハ家宅若クハ營業所ニシテ其倉庫納屋等ヲ含ム一町村税ノ延期及減免

舊法ニ於テハ納税延期ヲ許スコトヲ得ヘキハ無資力ナル者ニ限リタリシカ新制ニ於テハ特別ノ事情アル者ト改定セラレタリ然レトモ其趣旨ノアル處ハ格別ノ變更アリシニアラスシテ特別ノ事情トハ罹災

其他ノ事情ニ依リ納期マテニ税金ヲ納付シ難キモ一時延期スルトキハ納税スルコトヲ得ル者ヲ云フ義ナリ(第八條第一項)

舊法ニ於テハ町村税ノ減免ニ關シテハ明瞭ナル規定ナカリシヲ以テ之カ減免ヲ爲スニハ權利放棄ノ例ニ依ラサルヲ得サリシカ新制ニ於テハ特別ノ事情アル者ニ限リ減免スルコトヲ得ト規定セラレタリ然レトモ茲ニ云フ特別ノ事情トハ貧困ニシテ税金ノ全部若クハ一部ヲ負擔スルニ堪ヘサルカ如キ境遇ニアル者ヲ云フ義ニシテ罹災其他ノ爲メ一時困難ヲ來シタルカ如キ者ハ含マサルナリ尙ホ一言ヲ要スルハ舊法第百四條ノ減税免稅トハ全ク其性質ヲ異ニシ不當不法ノ賦課ニ對スル減税免稅ヲ云フニアラスシテ當然納付ノ義務アル税金ヲ減免スルノ謂ナルコト是ナリ(第八條第二項)

一 使用料、手数料及特別税並營造物、財産ノ使用ニ關スル條例舊法ニ於テハ使用料、手数料及特別税ニ關スル細則ハ必ス町村條例ヲ以テ定ムヘキモノナルモ其額ヲ定ムルハ必スシモ町村條例ニ依ルヲ要セス又其條例ニハ科料壹圓九拾五錢以下ノ罰則ヲ設クルコトヲ得ルニ過キサリシカ新制ニ於テハ苟モ使用料、手数料及特別税ニ關スル事項ハ必ス町村條例ヲ以テ規定スルヲ要シ且其條例ニハ五圓以

下ノ過料ヲ科スル規定ヲ設クルコトヲ得ルコト、ナレリ（第九條第一項）

舊法ニ於テハ財産又ハ營造物ノ使用ニ付罰則ヲ設クルコトヲ得ル規定ナリシカ新制ニ於テハ町村條例ヲ以テ五圓以下ノ過料ヲ科スル規定ヲ設クルコトヲ得ルコト、ナレリ（第九條第二項）

一 使用料、手數料及過料等ニ對スル訴願訴訟

舊法ニ於テハ使用料、手數料、加入金ノ徵收、夫役現品ノ賦課ニ關シテハ訴願訴訟ヲ提起シ得ル規定ナカリシカ新制ニ於テハ是等ノ事件ニ付訴願訴訟ヲ提起シ得ルノ規定ヲ設ケタリ又舊法ニ於テハ其訴願訴訟ヲ許セル事件ニ付テモ概シテ被處分者ニ之ヲ許スノ外町村長ヨリ訴願スルコトヲ許サス隨テ町村會ノ決定ニシテ法令ニ違ヒ又ハ公益ヲ害スト認メタル場合ト雖トモ進テ之カ救濟ヲ求ムルニ由ナカリシモ新制ニ於テハ町村會ノ決定ニ就テハ町村長ヨリモ亦訴願スルコトヲ得ルコト、ナレリ（第十條）

舊法ニ於テハ科料ノ處分ニ對スル不服ニ付テハ司法裁判所ニ出訴スヘキモノト爲セシモ新制ニ於テハ科料ヲ過科ト改メタルト同時ニ其處分ヲ受ケタル者不服アルトキハ府縣參事會ニ訴願シ其裁決ニ不服

アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得又府縣知事町村長ヨリモ訴願ヲ提起シ得ルコト、ナレリ（第九條第二項第四項）

一 町村税ノ賦課及財産又ハ營造物ヲ使用スル權利ニ關スル異議

舊法ニ於テハ町村税ノ賦課ノ財産又ハ營造物ヲ使用スル權利ニ關シ異議アルモノハ訴願トシテ之ヲ町村長ニ申立町村長之ヲ裁決シ其裁決ニ不服アルモノハ郡參事會ニ訴願シ郡參事會ノ裁決ニ不服アルモノハ府縣參事會ニ訴願シ其裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得ル規定ナリシカ新制ニ於テハ是等ニ關スル異議ハ之ヲ町村長ニ申立町村會ノ決定ニ付スルコト、ナリ其決定ニ不服アルトキハ府縣參事會ニ訴願シ其裁決又ハ町村長ヨリ提起シタル訴願ノ裁決ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得且又町村長ヨリモ訴願訴訟ヲ提起シ得又府縣知事ヨリモ訴願訴訟ヲ提起シ得ルコト、ナレリ（第十條）

一 急迫ノ場合ニ賦課シタル夫役ノ換金徵收

舊法ニ於テハ急迫ノ場合ニ際シ賦課シタル夫役ニ付定期内ニ之カ履行ヲ爲サ、ル旨アルトキ之ニ處スルノ規定ナカリシ蓋シ急迫ノ場合ニ於ケル夫役ハ其場合ニ於テ必要アルモノニシテ既ニ其時機ヲ過ク

レハ之ヲ用ユル所ナカルヘシト雖モ等シク賦課ヲ受ケタル者ニシテ
或ハ履行シ或ハ履行セサルモノアルヲ其儘ニ措クハ不公平ノ甚シキ
モノナルヲ以テ新制ニ於テハ其履行ヲ爲サ、ルトキハ之ヲ金額ニ換
算シ期限ヲ定メテ其納付ヲ命スヘシトノ規定ヲ設ケラレタリ（第百
十一條第二項）

一 町村税、使用料、手数料、加入金、過料、過怠金、其他町村ノ收入
ニ對スル滯納處分ニ關スル訴願

舊法ニ於テハ是等ノ滯納處分ニ對シテハ別段ノ規定ナカリシヲ以テ
訴願法第一條第一項及明治二十三年法律第六號ニ該當スルモノニ
限リ訴願又ハ訴訟ヲ提起スルヲ得タルモ新制ニ於テハ是等處分ニ不
服アルトキハ府縣參事會ニ訴願シ其裁決ニ不服アルトキハ行政裁判
所ニ出訴スルコトヲ得又其裁決ニ付テハ府縣知事又ハ町村長ヨリモ
訴訟ヲ提起シ得ルコト、ナレリ（第百十一條第六項第七項）

一 町村ノ起債

舊法ニ於テハ公債ヲ募集スルハ從前ノ公債元額ヲ償還スル爲メ又ハ
天災事變等己ムヲ得サル支出若クハ町村永久ノ利益トナルヘキ支出
ヲ要スルニ當リ通常ノ歳入ヲ増加スルトキハ其町村住民ノ負擔ニ堪

ヘサル場合ニ限ルノ規定ナリシカ新制ニ於テハ負債ヲ償還スル爲メ
町村永久ノ利益トナルヘキ支出ヲ爲ス爲メ又ニ天災事變等ノ爲メ必
要アル場合ニ限リト規定セラレ字句ノ上ヨリ見ルトキハ多少ノ相違
アリト雖トモ其實ニ至リテハ從來ノ例ト異ナラス唯一ノ注意スヘキ
ハ舊法ニ於テハ償還期限三年以内ノ起債ハ内藏兩大臣ノ許可ヲ要セ
サリシカ新制ニ於テハ年度内ノ一時借入金ノ外悉ク内藏兩大臣ノ許
可ヲ要スルコト、ナリタルコト是ナリ（第百十二條第一項）
又舊法ニ於テハ償還ノ初期ハ三年以内ト爲シ募集ノ時ヨリ三十年以
内ニ還了スルヲ要シタリシカ新制ニ於テハ此制限ヲ撤シタリ然レト
モ町村ノ起債ハ萬己ムヲ得サル場合ノ外之ヲ爲スヘキニ非サルト同
時ニ常ニ負債ノ償却ニ努メ累ヲ後年ニ及ホサ、ランコトヲ圖ルヘキモ
ノナレハ實際起債ノ場合ハ其町村ノ財力ニ鑑ミ適切ノ償還方法ヲ定
ムルヲ要ス

歳入出豫算及決算

一 豫算議定ノ時期

舊法ニ於テハ豫算ハ年度前二ヶ月ヲ限リ之ヲ調製シ會計年度前町村
會ノ議決ヲ取ルヘキ規定ナリシモ新制ニ於テハ遅クモ年度開始ノ